

東京都の水産

令和元年版



東京都産業労働局

まえがき

東京都には、東京湾から伊豆諸島・小笠原諸島など南北約2千キロにわたる広大な海域があります。この海域には、南鳥島（日本最東端）や沖ノ鳥島（日本最南端）があり、東京都に接する排他的経済水域（200海里）は、日本の水域の約38%を占めています。また、伊豆諸島・小笠原諸島は、複雑な海底地形と黒潮の流れにより、日本有数の好漁場となっており、漁業は地域の基幹産業となっています。

一方、都内を流れる多摩川などの河川は、マス類の養殖や、アユ、ヤマメなどの釣りをはじめとしたレクリエーションの場として、都民に潤いや安らぎを創出するなど、重要な役割を果たしております。

しかし、東京の水産業は、海や河川の環境変化や燃油高騰などの厳しい要因から、漁獲量の低迷や偏りがみられるとともに、漁業者の高齢化や減少が進行しています。

東京都では、これら水産業を取り巻く課題や情勢の変化に対して、より有効な施策を展開するために、平成26年3月に「水産業振興プラン」を改定し、持続可能な水産業を実現するため様々な施策を推進しております。

本書は、東京都の漁業動向を令和元年の水産統計や、令和元年度の事業結果を中心にとりまとめたものです。本書が関係方面に広く利用され、東京都の水産業振興の一助となれば幸いです。

令和2年9月

東京都産業労働局農林水産部
水産課長 藤井大地

目 次

I	水産業の概要	1
1	令和元年の都の水産業をめぐる主な動き	3
2	我が国の排他的経済水域と東京都の水産行政区域	4
3	現況	6
II	漁業調整対策	15
1	事業概要	17
2	漁業権	18
3	漁業許可	26
4	内水面漁業	28
5	海洋生物資源の保存と管理	32
6	自主的資源管理支援対策事業	34
7	遊漁船業の登録	38
8	漁業取締	38
III	水産業基盤整備	39
1	事業概要	41
2	水産経営構造改善事業	41
3	島しょ漁業振興施設整備事業	42
4	水産物供給基盤整備事業	45
5	内水面振興対策事業	48
6	小笠原漁業振興施設整備事業	51
7	硫黄島関連漁業対策事業	52
8	漁村地域防災力強化事業	53
9	栽培漁業	54
10	沖ノ鳥島総合対策事業	56
IV	漁業経営改善対策	59
1	水産業協同組合の育成	61
2	漁業金融	67
3	ぎょしょく普及事業	73
4	水産物加工・流通促進対策事業	74
5	離島漁業再生支援事業	75
6	水産物認証取得支援事業	76
V	漁業補償対策	77
1	漁業共済	79
2	漁船保険	83

3	漁業公害	8 6
4	東京産水産物の放射性物質検査	8 9
5	演習補償	9 0
VI	行政委員会	9 1
1	海区漁業調整委員会	9 3
2	内水面漁場管理委員会	9 7
VII	島しょ農林水産総合センター	9 9
1	島しょ農林水産総合センターの概要	1 0 1
2	漁業調査指導船	1 1 2
3	分掌事務	1 1 3
VIII	水産行政	1 1 7
1	組織	1 1 9
2	分掌事務	1 2 0
IX	資料	1 2 3
1	経営体・就業者	1 2 5
2	生産量・生産額	1 2 6
3	漁船	1 4 3
4	漁業制度と都の漁業	1 4 6

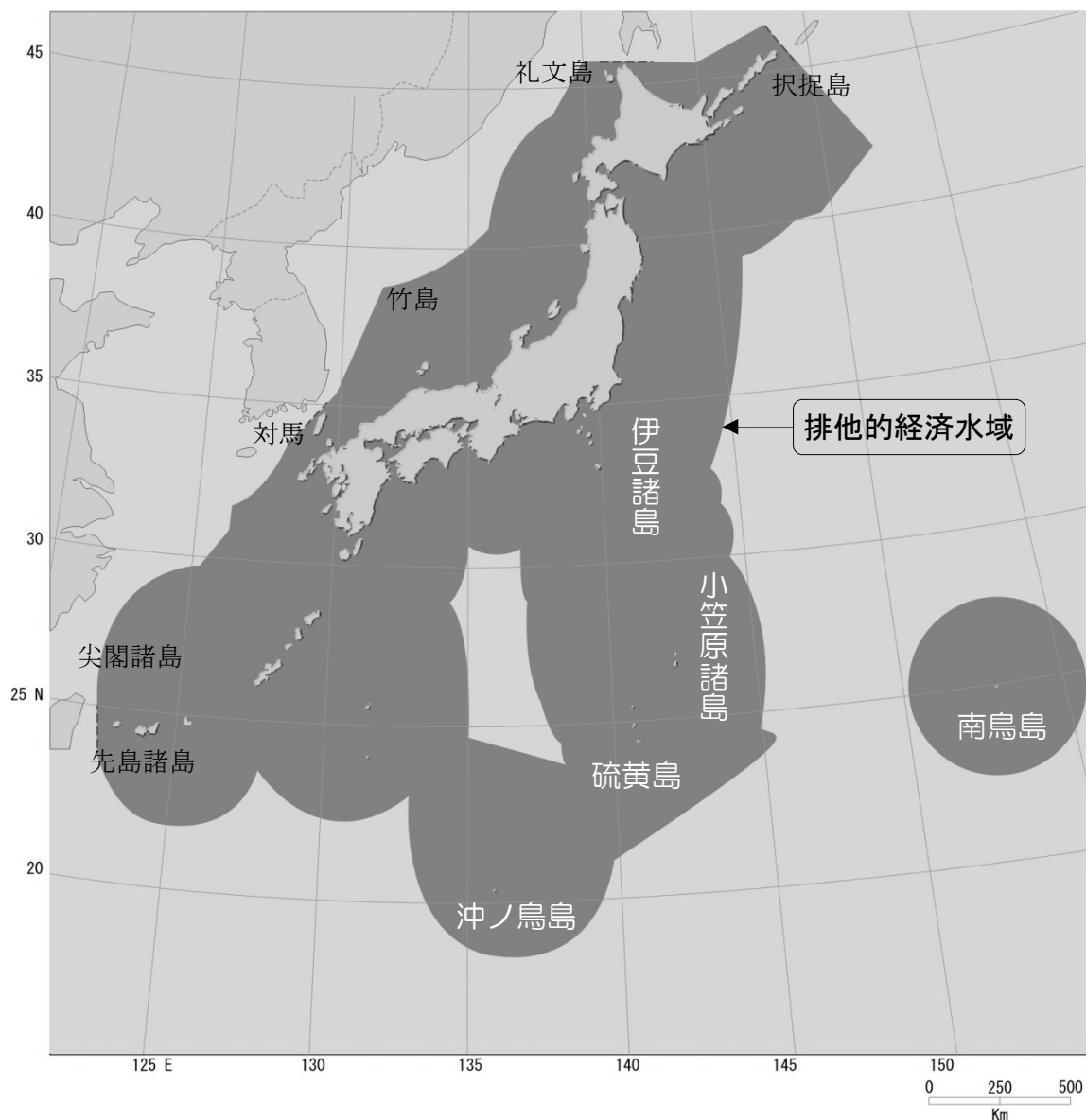
I 水産業の概要

1 令和元年(平成31年)の都の水産業をめぐる主な動き

- 平成30年のキンメダイ生産量が1,252トンを記録 (1月)
5年連続で過去最高の生産量を更新
- 第13回沖ノ鳥島フォーラムの開催 158人参加 (1月)
- 漁業調査指導船 「やしお」竣工 (2月)
- 江戸前アユ遡上推計尾数 約333万尾 (6月)
・14年連続100万尾以上の遡上を記録
- クロマグロのTAC管理開始 (7月)
- 台風19号災害 (10月)
- お台場の船の科学館で沖ノ鳥島パネル展を実施 (10月)
延べ6日間で1,244人が来場

2 我が国の排他的経済水域と東京都の水産行政区域

(1) 我が国の200海里水域（概念図）



排他的経済水域とは

国連海洋法条約に基づき、沿岸国が主権的権利を行使することができる海域。

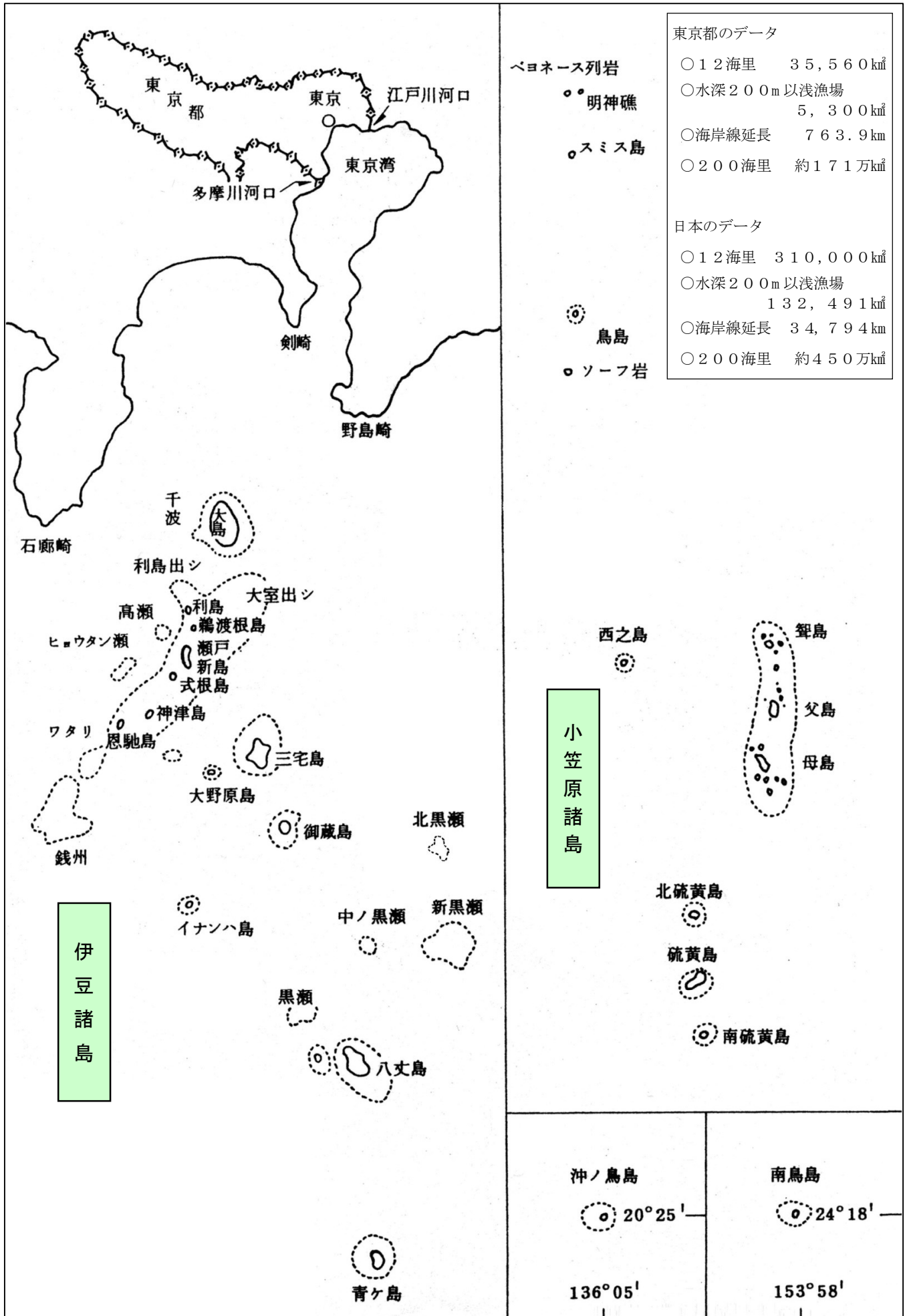
200海里（約370km）を超えない範囲で設定され、排他的に漁業を営む権利（外国人は許可を得なければ漁業を行うことができない）を得る一方、生物資源を保存・管理する義務を負う。

領海とは

領海の基線から、その外側12海里（約22km）の線までの海域。

沿岸国の主権は、領海の上空並びに領海の海底及びその下にも及ぶ。

(2) 都の水産行政区域



3 現 況

東京都の水産業は、伊豆諸島及び小笠原諸島周辺海域を主漁場とする島しょ漁業、東京湾で行う内湾漁業、多摩川・江戸川を主な漁場とする内水面漁業がある。

また、都内の企業が行う遠洋・沖合漁業もある。

各漁業の特徴は、次のとおりである。

【島しょ漁業】

島しょ周辺海域は、複雑な海底地形と黒潮などの海流と相まって、我が国有数の好漁場が形成され、多種多様な魚種が生息している。このため、漁業は伊豆・小笠原諸島における主要産業として発展してきた。しかし、近年では資源減少による漁獲量の低迷や輸入魚の増大による魚価の下落など、漁業を取り巻く厳しい情勢を背景に、漁業者は苦しい経営を余儀なくされている。

大島海域では、テングサやトコブシ、サザエを対象とした採介藻漁業やイセエビの刺網漁業を主体に、キンメダイやイサキ等の底魚一本釣り漁業やタカベの刺網漁業などの漁船漁業が営まれている。

利島海域では、トサカノリやイセエビ、サザエ等を対象とした採介藻漁業が主体的に営まれている。

新島・式根島海域では、タカベの刺網、イサキの建切網、キンメダイ等の底魚一本釣り漁業、イカ釣り漁業、定置網漁業等、多様な漁船漁業が営まれているほか、トサカノリ等の採介藻漁業も営まれている。

神津島海域では、タカベの建切網、キンメダイ・メダイ等の底魚一本釣り漁業、テングサ・トサカノリなどの採藻漁業、イカ釣り漁業、イセエビ刺網漁業の他、定置網漁業等、多様な漁業を組み合わせ、活発な漁業が営まれている。

三宅島海域では、平成12年の噴火による磯根漁場の被害が大きく、テングサやトサカノリ、イセエビなどの漁獲量が伸び悩んでいる。このため、マグロ・カツオを対象としたひき縄漁業、メダイ・キンメダイ等を対象とした底魚一本釣り漁業が主に営まれている。また、平成18年には定置網漁業も再開されている。

八丈海域では、カツオ・マグロを対象としたひき縄漁業、ムロアジの棒受網漁業、トビウオの流し刺網漁業、キンメダイ・メダイ・アオダイ等の底魚一本釣り漁業が盛んに営まれている。

小笠原海域は、ハタ類などの底魚一本釣り漁業やマグロ・カジキ類の立てはえ縄漁業などの漁船漁業が盛んに営まれている。また、シマアジ等の養殖用種苗の生産も行われている。

【内湾漁業】

東京内湾には、かつて5,000人を超える漁業者が存在したが、昭和37年の漁業権等の廃止以降は、湾内の埋め立てや漁場環境の悪化などにより、多くの漁業者が転業を余儀なくされた。最近では、公害規制の強化や埋め立て工事の減少等によって湾内の水質も徐々に改善されたこと

から、スズキ・カレイ類を対象とした刺網漁業やアサリの採貝漁業、アナゴのせん漁業（かごや筒を使用する漁業）などが自由漁業として営まれ、漁獲した魚介類は江戸前ものとして人気が高い。

【内水面漁業】

首都圏を流れる多摩川や江戸川などには漁業権が設定されており、漁業協同組合がアユやマス類などを放流して資源の維持増加に努めながら、遊漁の振興を通じた地域活性化に貢献している。最近では水質改善等により天然アユの遡上が確認されており、かつて多摩川の特産品として江戸幕府へ上納された「献上鮎」のような美味しい「江戸前アユ」の復活に、漁業関係者から大きな期待が寄せられている。また、下流域や河口部ではウナギ筒漁業やシジミ漁業が営まれている。

多摩地域では、山間部を中心にニジマスやヤマメ等の養殖が行われており、特に、平成10年に東京都水産試験場が開発した「奥多摩やまめ」は、さまざまな活用方法が試行され、特産品としての定着化が進んでいる。

(1) 漁業生産構造

①漁業経営体（平成30年）

区分	漁船非使用	漁船使用							小型定置網	海面養殖	内水面養殖	合計
		無動力漁船	船外機付漁船	1ト未満	1ト3ト	3ト5ト	5ト以上	小計				
区部	6	0	24	4	29	12	16	85	0	0	3	94
市町村部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
大島	26	0	44	0	25	37	101	207	2	2	0	237
大島	21	0	28	0	5	14	7	54	1	1	0	77
利島～ 神津島	5	0	16	0	20	23	94	153	1	1	0	160
三宅島	1	0	4	4	3	5	28	44	1	0	0	46
三宅島	1	0	0	4	3	5	27	39	1	0	0	41
御蔵島	0	0	4	0	0	0	1	5	0	0	0	5
八丈島	2	0	3	2	4	10	62	81	0	0	0	83
八丈島	2	0	3	2	2	7	62	76	0	0	0	78
青ヶ島	0	0	0	0	2	3	0	5	0	0	0	5
小笠原	0	0	1	0	1	13	40	55	0	0	0	55
合計	35	0	76	10	62	77	247	472	3	2	19	531

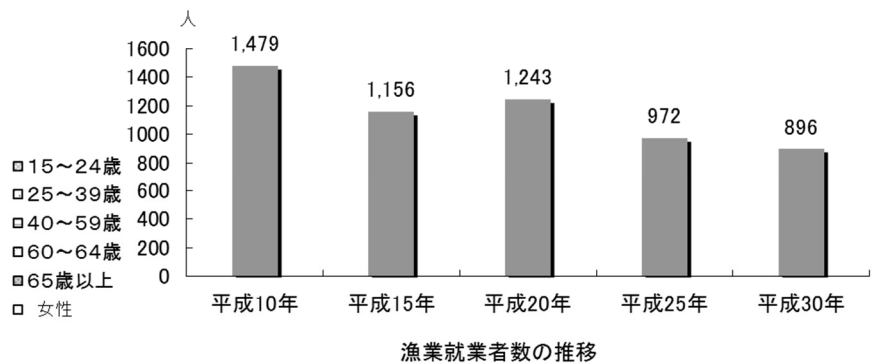
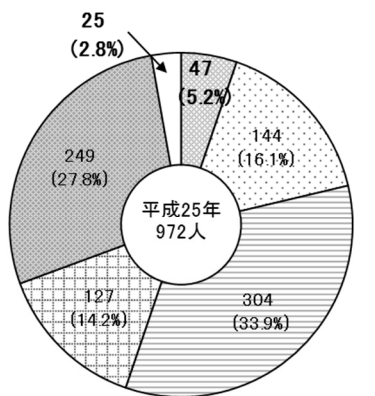
資料：2018年漁業センサス

漁業経営体：調査期日（平成25年10月31日）前1年間に海面において30日以上漁業を行った世帯または事業所をいう。

※船外機付漁船：これまでは動力漁船の1ト未満に含まれていたが、平成20年より別階層として集計

②漁業就業者数

漁業就業者は、896人で5年前に比べ76人減少した。就業者内訳では、男性が871人、女性25人であり、男性就業者の43.2%が60歳以上と高齢化が進んでいる。



③漁船（小型漁船を含む）

漁船は、その所有者が東京都を主たる根拠地とする場合、漁船法に基づき、都に登録しなければならない。

平成30年12月末現在、内湾で188隻、島しょで729隻、会社等で5隻、計960隻が東京都に登録されている。

所属別登録漁船状況

(平成30年12月末現在)

漁船 所属	動 力 漁 船									合 計		
	100トン以上			5トン～100トン			5トン未満			隻数	トン数	馬力数
	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数			
内 湾	0	0.00	0	19	179.26	3,424	169	316.69	10,368	188	495.95	13,792
島 しょ	0	0.00	0	272	2,616.02	69,037	457	889.17	29,964	729	3,505.19	99,001
会 社	5	12,106.00	7,912	0	0.00	0	0	0.00	0	5	12,106.00	7,912
官 公 庁	32	35,634.70	57,998	4	169.00	2,437	2	5.17	210	38	35,808.87	60,645
そ の 他	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
合 計	37	47,740.70	65,910	295	2,964.28	74,898	628	1,211.03	40,542	960	51,916.01	181,350

④漁港

伊豆諸島には、第1種漁港が16港、第2種漁港が1港、第4種漁港が6港ある。また、小笠原諸島には、第4種漁港が2港ある。

また、地方港湾は16港湾あり、小型船係留施設で漁船を係留している。

臨海部には、漁港はない。

東京都の漁港位置図



漁港・港湾一覧

島名	種類	漁 港			港湾	
		漁港種類	漁港名	管理者	漁港指定年月日	地方港湾
大 島	第1種	泉 津	都	S 26. 7. 10	元 町 岡 田 波浮港	
		差木地	都	30. 10. 21		
		野 増	都	27. 6. 23		
		元 町	都	26. 7. 10		
		岡 田	都	27. 7. 29		
利 島	—	—	—	—	利 島	
新 島	第1種	羽 伏	都	27. 7. 29	新 島	
		若 郷	都	27. 6. 23		
式根島	第1種	野 伏	都	26. 7. 10	式根島	
		小 浜	都	27. 6. 23		
神津島	第4種	三 浦	都	30. 10. 21	神津島	
三宅島	第1種	大久保	都	27. 7. 29	三 池 大久保	
		湯の浜	都	30. 10. 21		
		伊ヶ谷	都	27. 6. 23		
	第2種	坪 田	都	26. 7. 10		
	第4種	阿 古	都	26. 7. 10		
御蔵島	—	—	—	—	御蔵島	
八丈島	第1種	出 鼻	町	29. 10. 30	神 湊 八重根 (洞輪沢)	
		洞輪沢	都	27. 6. 23		
		中之郷	都	27. 6. 23		
		ナズマド	町	27. 6. 23		
	第4種	神 湊	都	26. 7. 10		
八重根		都	26. 7. 10			
青ヶ島	—	—	—	—	青ヶ島 大千代	
小笠原	父島	第4種	二 見	都	45. 6. 15	二 見
	母島		母 島	都	63. 3. 31	沖
計		都営21漁港(第1種14港、第2種1港、第4種6港) 町営 2漁港(第1種2港)			町営16港	

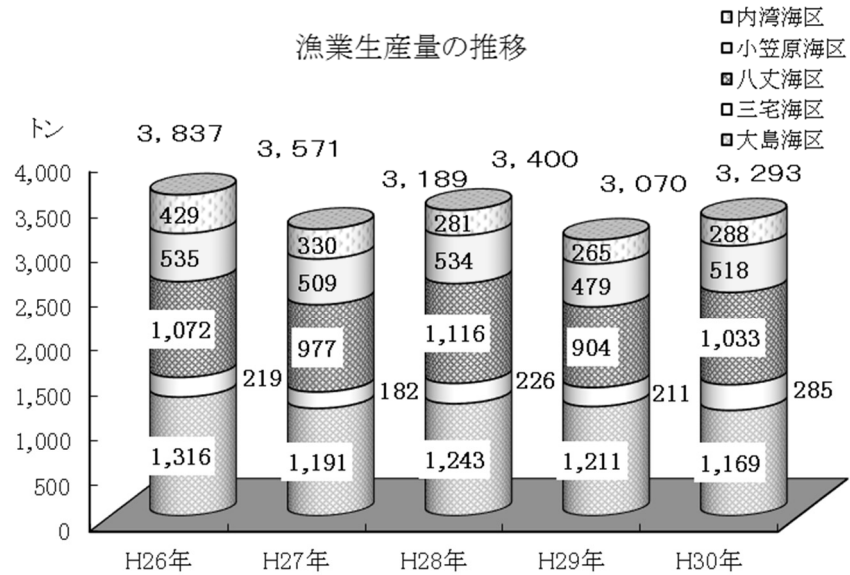
注:漁港種類

- 第1種 : その利用範囲が地元の漁業を主とするもの。
- 第2種 : その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。
- 第3種 : その利用範囲が全国的なもの。
- 第4種 : 離島その他辺地にあつて漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの。

(2) 漁業生産

①沿岸漁業

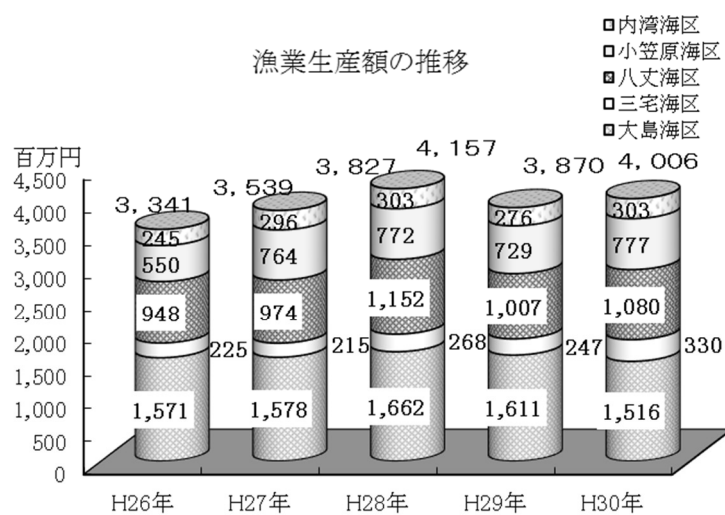
ア 生産量



生産量の多い上位3魚種

第1位 きんめだい 第2位 かじき類 第3位 めだい

イ 生産額

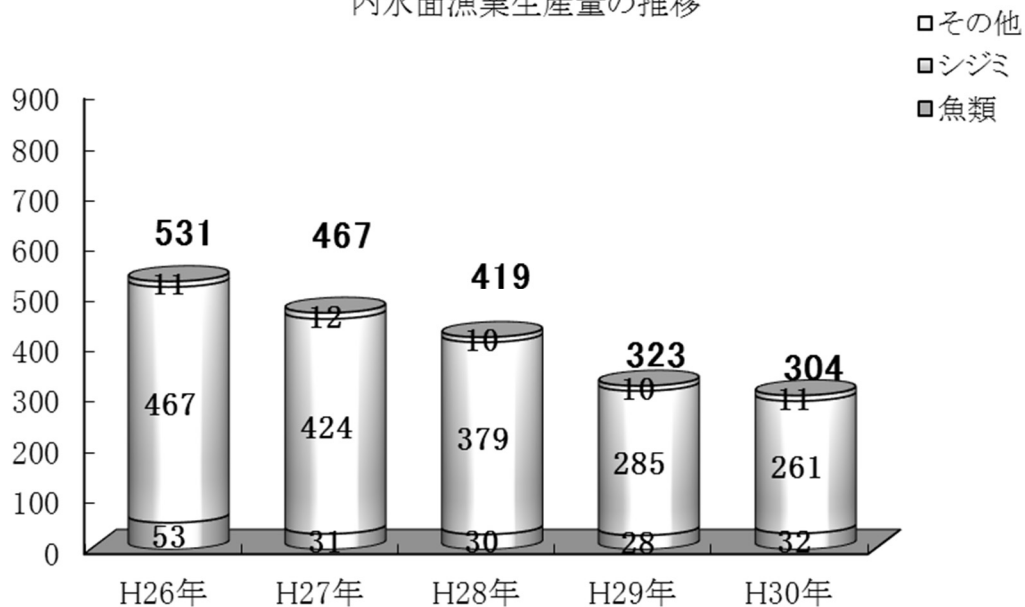


生産額の多い上位3魚種

第1位 きんめだい 第2位 かじき類 第3位 まぐろ類

②内水面漁業

内水面漁業生産量の推移

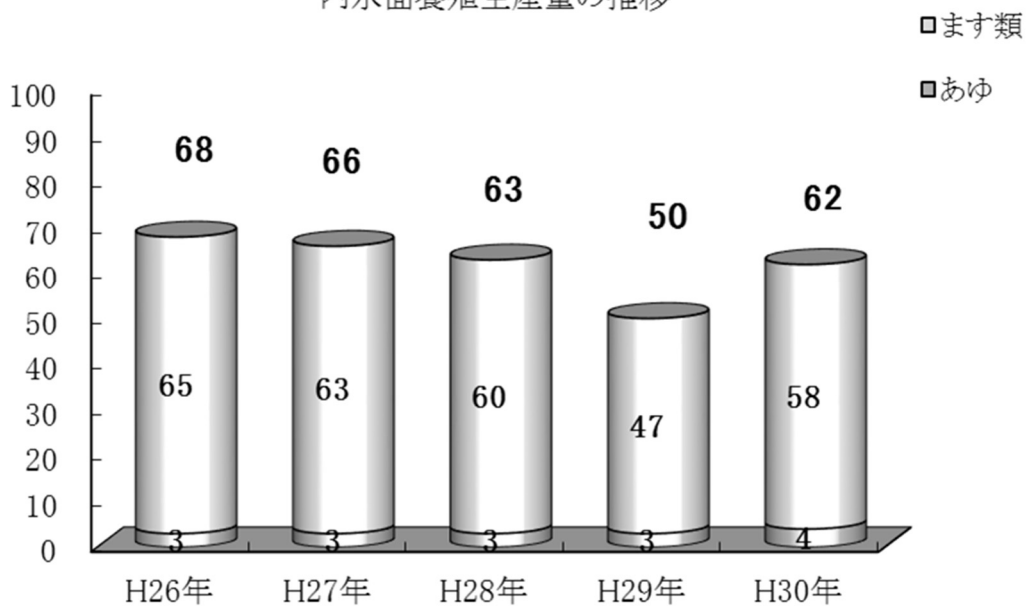


資料：東京農林水産統計年報（関東農政局東京農政事務所）
内水面漁業生産統計調査(水産庁)

③養殖漁業

ア 内水面養殖

内水面養殖生産量の推移



資料：水産課調べ

Ⅱ 漁業調整対策

1 事業概要

【伊豆諸島】

伊豆諸島では、てんぐさ等を対象とする採介藻漁業やたかべ建切網漁業等の漁業権漁業、あじ・さば等を対象とする知事許可漁業及び底魚一本釣り漁業等の自由漁業が行われている。

漁業権は、各島周囲 1,000～2,000メートル以内の海域に第1種、第2種共同漁業権を設定している。

知事許可漁業のうち、火光利用さば漁業とあじ・さば棒受網漁業は、静岡県等4都県の漁業者が入会いで操業している。そのため、関係都県の漁業者による漁業調整の場として、一都三県（東京、千葉、神奈川、静岡）連合海区漁業調整委員会を設置し、漁業の許可隻数等の協議を行っている。

伊豆諸島海域では、他県漁船による入会操業が多く、漁業間での漁場競合もあるため、都は関係者の意見を聞きながら調整を行っている。

【小笠原諸島】

小笠原諸島では、いせえびを対象とするかご漁業等の漁業権漁業、底魚一本釣り漁業、かつお・まぐろ釣り漁業、さんご漁業等の知事許可漁業等が行われている。

返還後の昭和47年に小笠原海区漁業調整委員会（平成16年に東京海区に統合）が設置され、漁業権も同年から設定している。現在では、聳島列島、父島列島、母島列島、火山列島の各島周囲 2,000メートル以内の海域に、第1種、第2種共同漁業権を設定している。

【内湾漁業】

内湾には漁業権や漁業許可による漁業はなく、自由漁業のみが行なわれている。しかし、内湾は都民が自然とふれ合うレクリエーションの場でもあるため、資源と漁場の有効利用を図り、漁業秩序の確立に努める必要がある。

【内水面漁業】

内水面の漁業権は、多摩川水系、中川・荒川水系、江戸川水系に計15件免許している。第5種共同漁業権漁場では、あゆ等の放流増殖を行なっている。遊漁者は、知事が認可する「遊漁規則」に基づいて遊漁を行なっている。また、第1種はしじみ等を内容とするものである。

【漁業と遊漁の調整】

近年、遊漁者の増加に伴い、漁場利用をめぐる漁業と遊漁の紛争が多発している。このため、水産基本法、沿岸漁場整備開発法及び遊漁船業の適正化に関する法律等の主旨に基づき、海面の合理的な利用を図るための調整指導等を行なっている。

2 漁業権

(1) 海面漁業権一覧

(平成31年4月1日)

区分	免許番号	共同漁業権の種別		漁業権者の名称 (漁業協同組合名略)	漁場の区域	漁業の種類	面積 (ha)
		第一種	第二種				
大島支庁管内	共1	○		伊豆大島、元町	大島地先距岸1,500m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外7	6,450
	2		○	"	"	たかべ刺網外2	6,450
	3	○		利島村	利島地先距岸1,200m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外7	1,308
	4		○	"	"	たかべ建切網外3	1,308
	5	○		こいじま	鵜渡根島地先距岸1,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外7	680
	6		○	"	"	たかべ建切網外3	680
	7	○		"	新島、式根島及び地内島の地先距岸 2,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外8	9,593
	8		○	"	"	たかべ建切網外3	9,593
	9	○		神津島	神津島、祇苗島地先距岸2,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外10	5,685
	10		○	"	"	たかべ建切網外2	5,685
	11	○		"	恩馳島地先距岸2,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外10	1,720
	12		○	"	"	たかべ建切網外2	1,720
	13	○		神津島、こいじま	神津島村銭洲地先距岸2,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外3	2,396
	14		○	神津島	"	たかべ建切網外3	2,396

(平成31年4月1日)

区分	免許番号	共同漁業権の種別		漁業権者の名称 (漁業協同組合名略)	漁場の区域	漁業の種類	面積 (ha)
		第一種	第二種				
三宅支庁管内	共15	○		三宅島	三宅島地先距岸1,500m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外8	5,127
	16		○	三宅島、御蔵島村	〃	たかべ建切網外2	5,127
	17	○		三宅島	大野原島地先距岸1,500m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外8	1,027
	18		○	三宅島、御蔵島村	〃	たかべ建切網外2	1,027
	19	○		御蔵島村	御蔵島地先距岸1,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外6	2,135
	20		○	御蔵島村、三宅島	〃	たかべ建切網外2	2,135
八丈支庁管内	21	○		八丈島	八丈島地先距岸1,200m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外10	5,119
	22		○	〃	〃	いそ魚底刺網	5,119
	23	○		〃	八丈小島地先距岸1,200m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外10	1,374
	24		○	〃	〃	いそ魚底刺網	1,374
	25	○		青ヶ島村	青ヶ島地先距岸1,000m	いせえび、とこぶし、てんぐさ外2	1,350
	26		○	〃	〃	いそ魚底刺網	1,350
計		13	13				

免許年月日 平成25年9月1日 免許存続期間 10年(平成35年8月31日)

(平成31年4月1日)

区分	免許番号	共同漁業権の種類		区画漁業権	漁業権者の名称 (漁業協同組合名略)	漁場の区域	漁業の種類	面積 (ha)
		第一種	第二種					
小笠原支庁管内	共62	○			小笠原島	一ノ岩、北之島、中之島、笹魚島、聳島、針之岩及び媒島地先距岸2,000m	いせえび、しやこがい外6	7,817
	63		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	7,817
	64	○			"	嫁島、前島及び後島地先2,000m	いせえび、しやこがい外6	2,113
	65		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	2,113
	66	○			"	孫島、弟島、兄島、西島、東島、父島及び南島地先距岸2,000m	いせえび、しやこがい外6	15,662
	67		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	15,662
	68	○			小笠原母島	母島、向島、平島、姉島、妹島及び姪島地先距岸2,000m	いせえび、しやこがい外6	19,174
	69		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	19,174
	70	○			小笠原島、小笠原母島	北硫黄島地先距岸2,000m	いせえび、まるさざえ、しやこがい	3,088
	71		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	3,088
	72	○			"	硫黄島地先距岸2,000m	いせえび、まるさざえ、しやこがい	5,527
	73		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	5,527
	74	○			"	南硫黄島地先距岸2,000m	いせえび、まるさざえ、しやこがい	2,746
	75		○		"	"	たかべ建切網、たかべ寄網	2,746
	計		7	7	1			

免許年月日 平成24年2月2日

免許存続期間 共同漁業 10年 (平成34年2月1日)

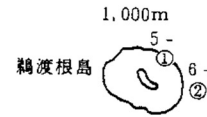
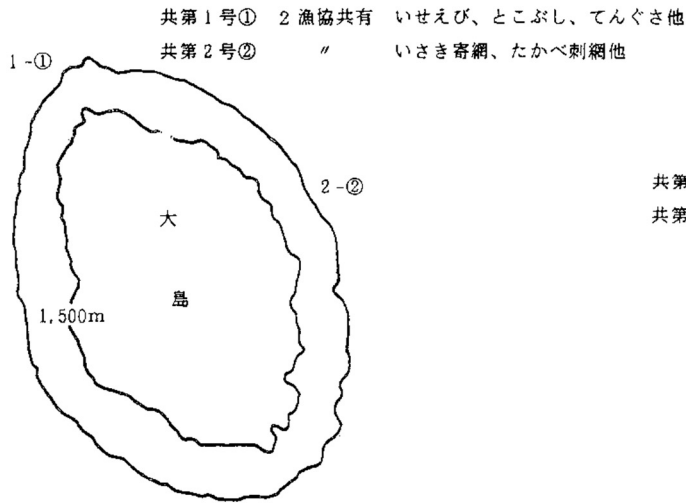
(2) 内水面共同漁業権一覧

(平成31年4月1日現在)

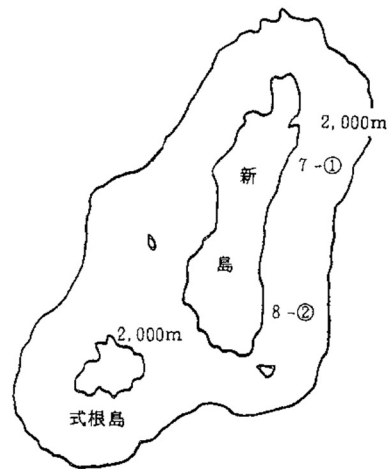
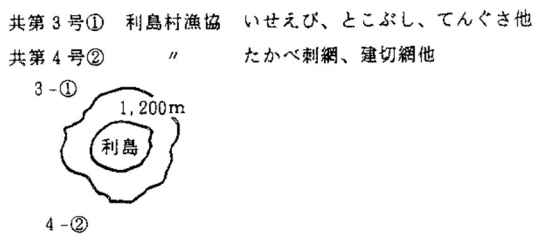
免許番号	種別		漁業権者		免許年月日	免許期間	漁業権魚種
	第一種	第五種	数	名称 (◎印・・・代表者)			
内共第1号		○	2	◎奥多摩、氷川	25.9.1	10年	あゆ、にじます、やまめ、いわな、こい、ふな、うぐい
2		○	1	秋川	〃	〃	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい、うなぎ、おいかわ、かじか
3		○	1	多摩川	〃	〃	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ
4		○	1	奥多摩	〃	〃	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい
5		○	2	◎多摩川、恩方	〃	〃	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい、うなぎ、かじか
6		○	1	東京東部	〃	〃	こい、ふな、うなぎ
7	○		6	◎東京東部、大田、芝、港、佃島、中央隅田	〃	〃	えむし、しじみ
8	○		1	東京東部	〃	〃	えむし、しじみ
9		○	1	小河内	〃	〃	にじます、やまめ、いわな、うぐい
10		○	1	小河内	〃	〃	にじます、やまめ、いわな、うぐい
11	○	○	5	◎東京東部、埼玉東部、市川市、松戸市	〃	〃	しじみ、えむし、こい、ふな、うなぎ
12		○	2	◎多摩川、川崎河川	〃	〃	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ
13	○		3	◎多摩川、大田、川崎河川	〃	〃	えむし、しじみ
14	○		7	◎大田、芝、港、佃島、中央隅田、東京東部、川崎河川	〃	〃	えむし、しじみ
15		○	1	小河内	〃	〃	やまめ、いわな
埼玉県共第5号		○	4	◎埼玉東部、埼玉中央、埼玉南部、埼玉県北部	26.1.1	10年	おいかわ、こい、ふな、うなぎ、どじょう、わかさぎ、なまず
6		○	2	◎入間、奥多摩	〃	〃	あゆ、ます類、うぐい、おいかわ、こい、ふな、うなぎ
7		○	2	◎埼玉南部、東京東部	〃	〃	こい、ふな、うなぎ、なまず
計	5	14	43				

(3) 海面漁業権漁場図 (略図)

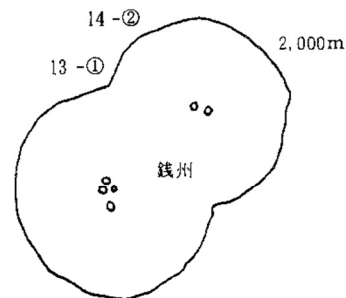
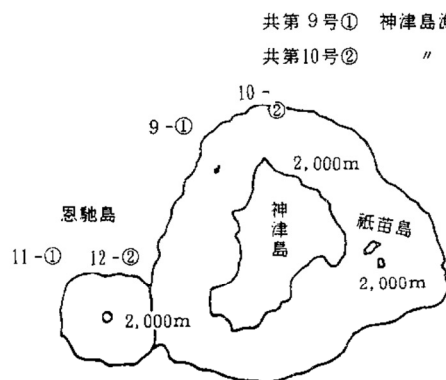
(大島支庁管内)



共第5号① にいじま漁協 いせえび、てんぐさ、とこぶし他
共第6号② にいじま漁協 たかべ刺網、建切網他



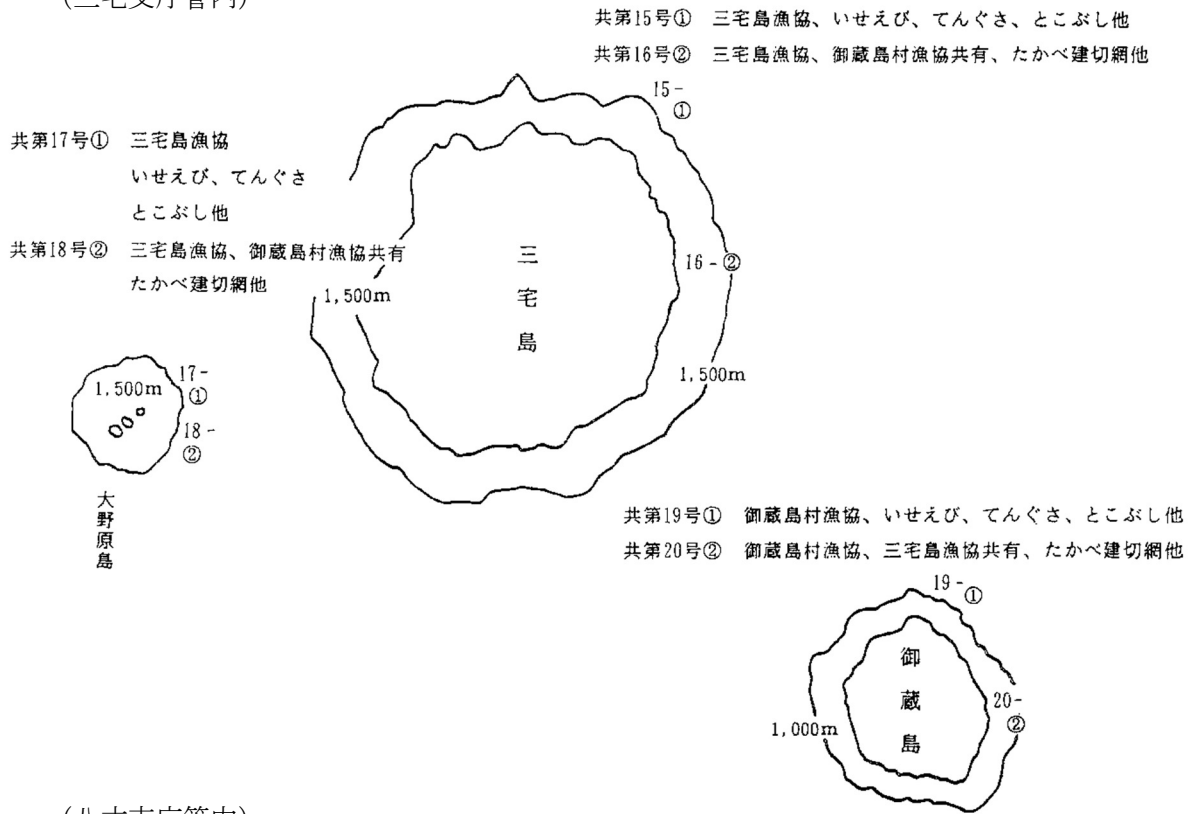
共第7号① にいじま漁協 いせえび、てんぐさ、とこぶし他
共第8号② にいじま漁協 たかべ建切網他



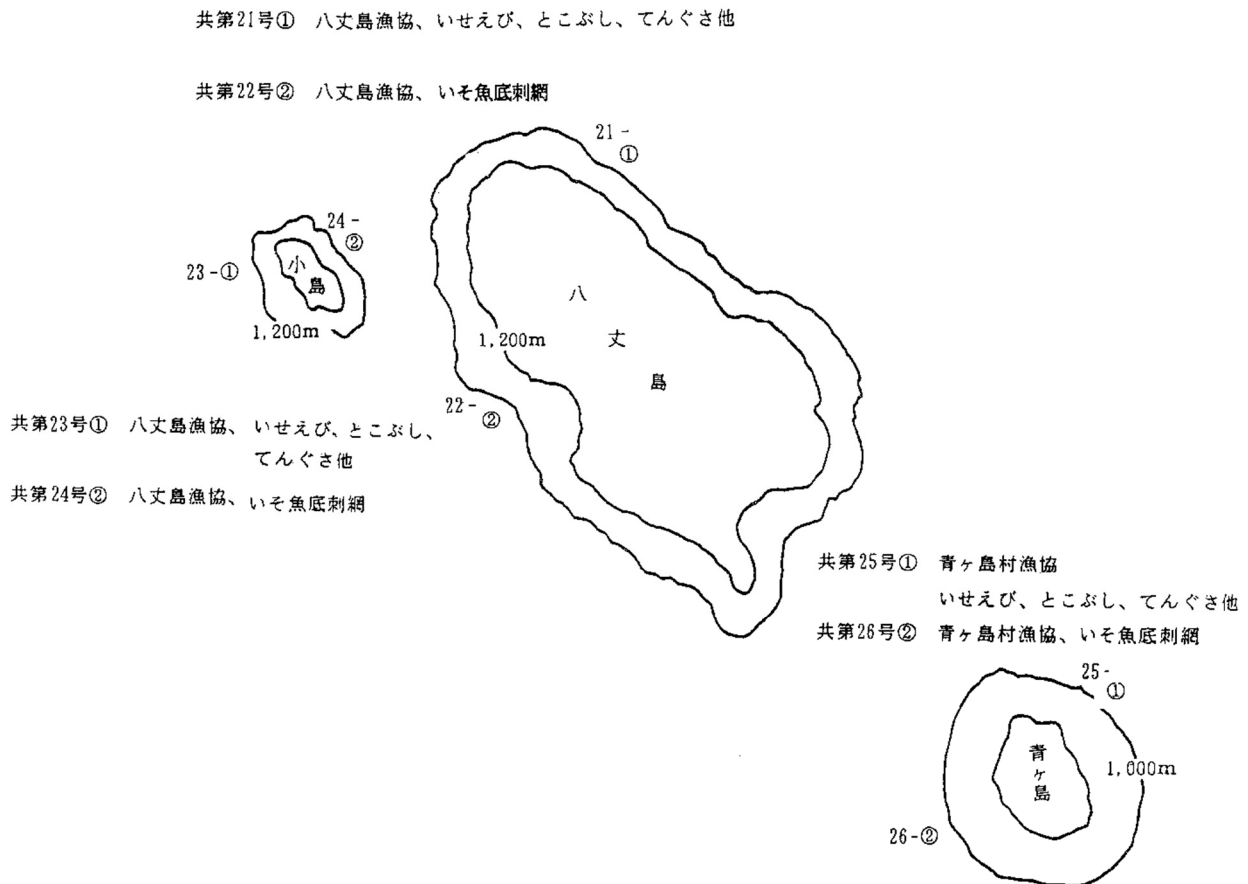
共第11号① 神津島漁協 いせえび、とこぶし、てんぐさ他
共第12号② " たかべ建切網他

共第13号① 2漁協共有
いせえび、とこぶし、てんぐさ他
共第14号② 神津島漁協
たかべ建切網他

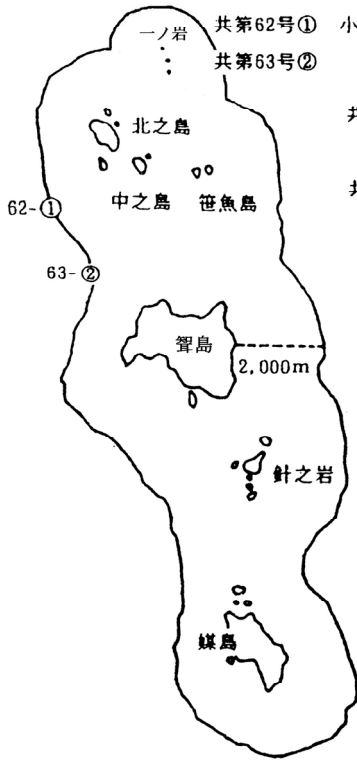
(三宅支庁管内)



(八丈支庁管内)



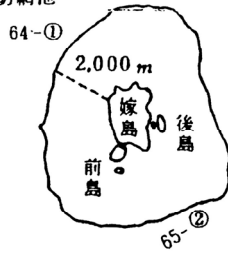
(小笠原支庁管内)



共第62号① 小笠原島漁協 いせえび、しゃこ貝他
共第63号② " たかべ建切網他

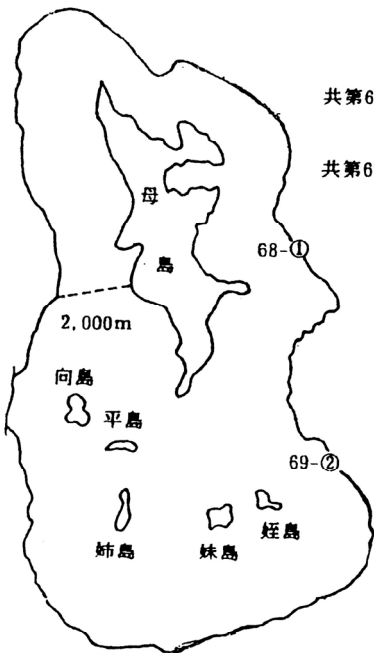
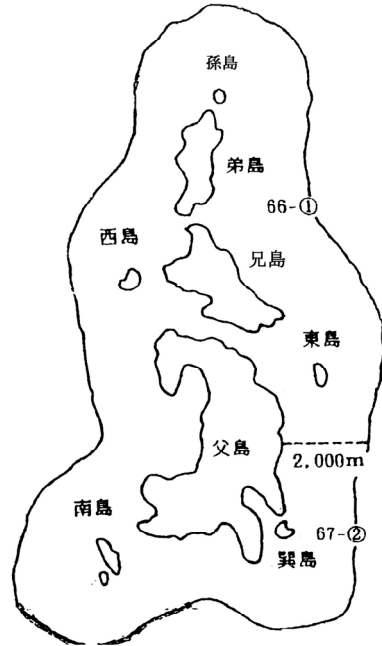
共第64号① 小笠原島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第65号② 小笠原島漁協
たかべ建切網他



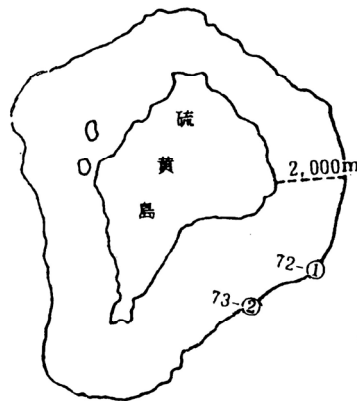
共第66号① 小笠原島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第67号② 小笠原島漁協 たかべ建切網他



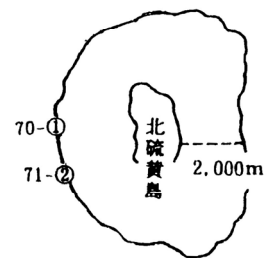
共第68号① 小笠原母島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第69号② 小笠原母島漁協
たかべ建切網他



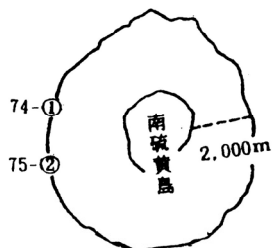
共第72号① 小笠原島漁協、小笠原母島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第73号② 小笠原島漁協、小笠原母島漁協
たかべ建切網、他



共第70号① 小笠原島漁協、小笠原母島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第71号② 小笠原島漁協、小笠原母島漁協
たかべ建切網他

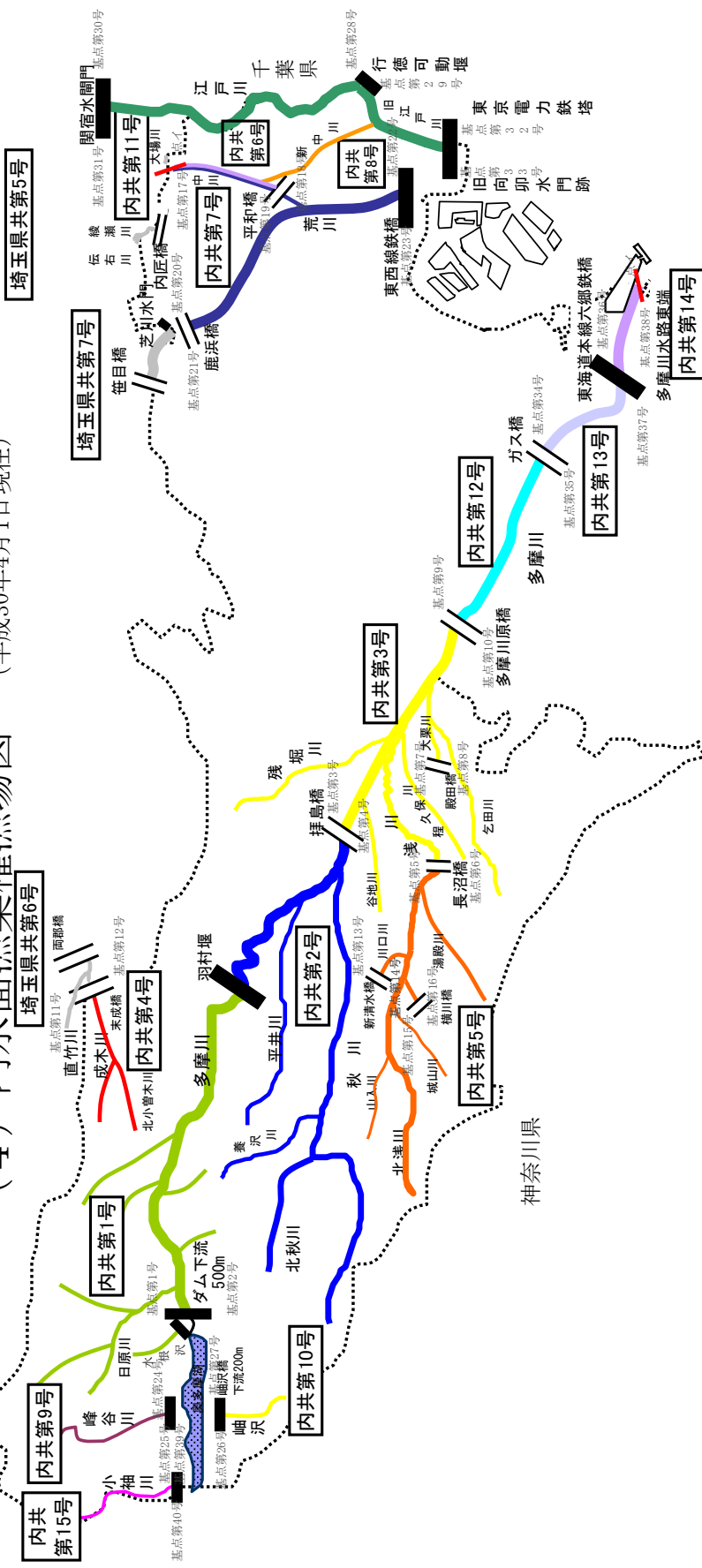


共第74号① 小笠原島漁協、小笠原母島漁協
いせえび、しゃこ貝他

共第75号② " たかべ建切網他

(4) 内水面漁業権漁場図

(平成30年4月1日現在)



免許番号	種類	漁業協同組合名 (◎印は代表)	魚種	免許期間
内共第1号 2号 3号 4号 5号 6号 7号 8号 9号 10号 11号 12号 13号 14号 15号	第5種共同	◎奥多摩 水川	あゆ、にじます、やまめ、いわな、こい、ふな、うなぎ、うぐい	平成25年9月1日 ～ 令和5年8月31日
	"	◎秋川	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ	
	"	◎多摩川	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ	
	"	◎奥多摩	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい	
	"	◎多摩川	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい	
	"	◎東京東部	こい、ふな、うなぎ	
	第1種共同	◎東京東部 大田 芝 港 佃島 中央隅田	えむし、しじみ	
	"	◎東京東部	えむし、しじみ	
	第5種共同	◎小河内	にじます、やまめ、いわな、うぐい	
	"	◎小河内	しじみ、うなぎ	
	第1種共同	◎東京東部 市川市 松戸市	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ	
	第5種共同	◎多摩川 川崎河川	あゆ、こい、ふな、うぐい、おいかわ、うなぎ	
	第1種共同	◎多摩川 大田 芝 佃島 中央隅田 東京東部 川崎河川	えむし、しじみ	
	第1種共同	◎大田 芝 佃島 中央隅田	えむし、しじみ	
	第1種共同	◎小河内	やまめ、いわな	
埼玉県共第5号	第5種共同	◎埼玉東部 埼玉中央 埼玉南部 埼玉県北部	あゆ、にじます、やまめ、いわな、こい、ふな、うなぎ、どじょう、わかさぎ、なまず	平成26年1月1日 ～ 令和5年12月31日
埼玉県共第6号	第5種共同	◎入間 奥多摩	あゆ、ます類、うぐい、おいかわ、こい、ふな、うなぎ	
埼玉県共第7号	第5種共同	◎埼玉南部 東京東部	こい、ふな、うなぎ、なまず	

3 漁業許可

(1) 漁業許可件数

(平成30年3月31日現在)

漁業種類	支庁	大島	三宅	八丈	小笠原	その他	合計
中型まき網		4	0	0	0	0	4
本さんご		4	1	13	9	0	27
造礁さんご		0	0	0	2	0	2
かめ		0	0	3	33	0	36
あじさば棒受け網		1	0	5	0	7	13
火光利用さば		0	0	0	0	26	26
小型まき網		0	0	0	0	0	0
機船船びき網		0	0	0	0	0	0
とびうお流し刺し網		8	3	12	0	0	23
とびうお流しまき網		0	0	3	0	0	3
刺し網		0	0	0	0	0	0
潜水器		24	0	0	0	0	24
いそ魚寄せ網		0	0	0	0	0	0
建て切り網		1	0	0	0	0	1
固定式刺し網		2	0	0	0	0	2
四そう張り網		0	0	0	0	0	0
地びき網		0	0	0	0	0	0
小型定置		0	0	0	0	0	0
底はえ縄		0	0	0	0	0	0
底魚一本釣り		0	2	2	41	14	59
ひき縄		0	1	0	43	15	59
まぐろはえ縄		0	0	0	3	23	26
かつお・まぐろ釣り		0	1	0	41	14	56
底立てはえ縄		1	3	3	0	17	24
合計		45	11	41	172	116	385

(2) 他県入会漁業の都県別許可状況

(平成30年3月31日現在)

漁業種類	地域	東京	千葉	神奈川	静岡	その他	合計
あじさば棒受け網		6	3	0	4	0	13
火光利用さば		0	12	7	6	1	26
底魚一本釣り		45	0	0	0	14	59
ひき縄		44	0	0	0	15	59
まぐろはえ縄		3	0	0	0	23	26
かつお・まぐろ釣り		42	0	0	0	14	56
底立てはえ縄		7	0	2	11	4	24
合計		147	15	9	21	71	263

(3) 農林水産大臣指定漁業等進達状況

(30. 4. 1～31. 3. 31)

漁業種類	進達内容	許可	転載	試験	認可	承認	書換え 変更	その他	合計
遠洋底びき網									0
以西底びき網				2					2
沖合底びき網				1					1
大中型まき網									0
北太平洋さんま				3	2				5
いか釣り		1		3	1		1	2	8
遠洋かつお・まぐろ				8	1			2	11
近海かつお・まぐろ									0
中型さけ・ます流し網									0
試験操業		18							18
特定大臣許可漁業等		3		2				28	33
沿岸くろまぐろ漁業						448			448
合計		22	0	19	4	448	1	32	526

その他は、廃業届、漁獲成績報告、大西洋くろまぐろ年間漁獲割当、出漁届等
 特定大臣許可漁業等は、大西洋等はえ縄等漁業、太平洋底刺し網等漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業
 沿岸くろまぐろ漁業は、太平洋広域漁業調整委員会指示第19号による承認

4 内水面漁業

(1) 主要河川・魚種別放流実績の推移

単位：尾

魚類名	年度					
	水系名	26	27	28	29	30
あゆ	多摩川・秋川	稚 0 成 487,941	稚 0 成 570,822	稚 27,500 成 642,900	稚 728,760 成 137,000	稚 768,718 成 162,318
にじます	多摩川・秋川 浅川	稚 0 成 123,720	稚 0 成 123,017	稚 0 成 124,150	稚 0 成 124,725	稚 0 成 114,200
こい産卵場	多摩川・秋川 江戸川・中川	稚 0 56カ所	稚 0 56カ所	稚 0 54カ所	稚 0 44カ所	稚 0 56カ所
ふな	多摩川・秋川 江戸川・中川	稚 172,600 成 2,500	稚 162,700 成 2,600	稚 162,000 成 3,275	稚 152,000 成 13,000	稚 152,000 成 13,100
うなぎ	多摩川・秋川 江戸川・中川	稚 8,700 成 0	稚 8,200 成 0	稚 7,840 成 0	稚 7,575 成 0	稚 7,575 成 0
やまめ	多摩川・秋川	稚 220,000 成 123,583 卵 311,000	稚 220,000 成 124,900 卵 176,500	稚 220,000 成 117,720 卵 361,500	稚 220,000 成 127,745 卵 371,500	稚 234,000 成 126,940 卵 371,780
いわな	多摩川・秋川	稚 30,000 成 3,150 卵 10,000	稚 30,000 成 3,150 卵 10,000	稚 20,000 成 3,600 卵 10,000	稚 30,000 成 3,200 卵 10,000	稚 30,000 成 2,450 卵 10,000
うぐい等産卵場	多摩川・秋川 浅川	稚 0 成 4,500 152カ所	稚 0 成 3,000 152カ所	稚 0 成 6,000 144カ所	稚 0 成 6,000 145カ所	稚 0 成 6,000 154カ所
かじか	秋川・浅川	35カ所	35カ所	40カ所	35カ所	35カ所
そうぎよ	江戸川	稚 0	稚 0	稚 0	稚 0	稚 0
れんぎよ	江戸川	稚 0	稚 0	稚 0	稚 0	稚 0

※「稚」は稚魚、「成」は成魚数((1)～(3)共通)

※「卵」は発眼卵の埋設数(単位:粒)

※こい産卵場欄の下段、うぐい等産卵場欄の下段及びかじか欄は産卵場造成数

※コイについては、コイヘルペスウィルス病のまん延防止策のため放流を中止している

(2) 漁業協同組合別、産地別、あゆ放流実績

単位：尾

区分	組合 年度 産別	奥多摩漁業協同組合		秋川漁業協同組合		多摩川漁業協同組合	
		29	30	29	30	29	30
義務 放流	人工産 (宮城)	—	—	稚 338,700 成0	稚 133,352 成16,250	—	—
	人工産 (岐阜)	—	—	—	—	稚 0 成 16,000	稚 0 成 16,000
	人工産 (富山)	—	—	稚 58,340 成0	稚 52,600 成0	—	—
	人工産 (栃木)	稚 98,890 成0	稚 160,000 成0	稚 135,200 成11,000	稚 246,666 成17,308	—	—
	人工産 (愛知)	稚 0 成20,000	稚 0 成19,960	—	—	—	—
	琵琶湖産	稚 0 成90,000	稚 66,700 成92,800	—	—	—	—
多摩川 天然遡上		稚 46,800	稚 58,900	稚 50,830	稚 50,500	—	—
計		稚 145,690 成 110,000	稚 285,600 成 112,760	稚 583,070 成 11,000	稚 483,118 成 33,558	稚 0 成 16,000	稚 0 成 16,000

(3) 漁業協同組合別、にじます・こい・ふな等放流実績

単位：尾

魚類	組合 年度	奥多摩漁業協同組合		秋川漁業協同組合		多摩川漁業協同組合		東京東部漁業協同組合		小河内漁業協同組合	
		29	30	29	30	29	30	29	30	29	30
にじます		- 成 89,375	- 成 78,950	- 成 15,000	- 成 15,000	- 成 14,350	- 成 15,250	-	-	-	成 6,000
こい (産卵場)		稚0 3カ所	稚0 16カ所	稚0 18カ所	稚0 18カ所	稚0 18カ所	稚0 17カ所	稚0 5カ所	稚0 5カ所	稚0 5カ所	-
ふな		- 成 400	- 成 600	- 成 10,000	- 成 10,000	- 成 2,600	- 成 2,500	稚 152,000	稚 152,000	-	-
うなぎ		-	-	稚 1,875	稚 1,875	稚 2,500	稚 2,500	稚 3,200	稚 3,200	-	-
やまめ		稚 130,000 成 43,675 卵 195,000	稚 144,000 成 43,300 卵 195,280	稚 50,000 成 80,000 卵 131,500	稚 50,000 成 80,000 卵 131,500	稚 10,000 成 2,070 卵 15,000	稚 10,000 成 1,640 卵 15,000	-	-	稚 30,000 成 2,000 卵 30,000	稚 30,000 成 2,000 卵 30,000
いわな		稚0 成 1,200 卵 10,000	稚0 成 1,150 卵 10,000	-	-	-	-	-	-	稚 30,000 成 2,000 卵 0	稚 30,000 成 1,300 卵 0
うぐい (産卵場)		- 14カ所	- 21カ所	-	-	稚0 成 6,000 10カ所	稚0 成 6,000 11カ所	-	-	-	-
うぐい・おいかわ (産卵場)		-	-	105カ所	105カ所	14カ所	15カ所	-	-	-	-
かじ		-	-	30カ所	30カ所	5カ所	5カ所	-	-	-	-

※ 15年度以降「こい」については、コイヘルペスウイルス病のまん延防止策のため放流を中止している。

※ 奥多摩漁業協同組合の放流実績には氷川漁業協同組合放流分を含む。

※ 多摩川漁業協同組合の放流実績には恩方漁業協同組合放流分を含む。

(4) 奥多摩湖魚種別放流経過

区 分 年 度	月 日	魚 種	放 流 数 量	大 き さ	産 地 名
28	28.6.29	にじます	10,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	28.4.8	やまめ	30,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	28.4.24	わかさぎ卵	5,000万粒	発眼卵	諏訪湖産
29	29.7.12	にじます	10,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	29.4.14	やまめ	30,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	29.4.7	わかさぎ卵	5,000万粒	発眼卵	芦ノ湖産
30	30.7.3	にじます	10,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	30.4.23	やまめ	30,000尾	2g	東京都鮎養殖漁業協同組合
	30.6.2	わかさぎ卵	5,000万粒	発眼卵	西網走湖漁業協同組合 洞爺湖漁業協同組合

5 海洋生物資源の保存と管理（資源管理法関係事業）

(1) 国の資源管理の取り組み

「海洋法に関する国際連合条約（通称：国連海洋法条約）」に基づく新しい海洋秩序に対処するため、国内水産関係法令が整備され、「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律（平成8年法律第77号）（通称：資源管理法）」が平成8年から施行された。

国は、同法に基づく漁獲可能量(TAC)管理の対象魚種として、さんま、すけとうだら、まいわし、まあじ、まさば及びごまさば、ずわいがに、するめいかの計7種を、第1種特定海洋生物資源に指定し、平成9年から漁獲可能量の管理を行ってきた。

平成29年には、「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律施行令（平成8年政令第213号）」の改正により、くろまぐろが第1種特定海洋生物資源に追加された。

漁獲可能量は、資源状況などを基に国が毎年設定し、都道府県別に1年分の漁獲可能量を配分している。

また、資源管理法は平成13年に一部改正され、漁獲努力可能量(TAE)による管理を平成15年4月から行うことになった。現在、その対象となる第2種特定海洋生物資源として、日本海西部海域のあかがれい、宗谷海峡海域のいかなごなど計9種が指定され、管理が行われている。

(2) 東京都の取り組み

第1種特定海洋生物資源のうち、東京都に対しては「まさば及びごまさば」の漁獲可能量が配分され、漁獲量の管理を行っている。

また、東京都の海面におけるあじ・さば漁業は、従来から一都三県（東京、千葉、神奈川、静岡）による連合海区漁業調整委員会を開催して漁業調整を行うなど、入会で操業が行われているため、漁獲量の管理に当たっては、関係する他県の漁業者等からも「まさば及びごまさば」の漁獲量報告を受けている。

一方、漁業経営の安定と持続的な漁業生産の実現を目的として、平成13年から「はまとびうお」について都独自の漁獲可能量管理を実施している。更に、本施策の目的を達成するために、漁獲可能量と漁獲努力量のバランスを取る必要性から、主に「はまとびうお」を漁獲している「とびうお流し刺し網漁業」の許可等の最高限度等を設定し、「はまとびうお」の利用をコントロールできるようにした。現在、本施策は、法や規則による規制を伴わない漁獲可能量管理として実施しているが、本施策の円滑な運用を確認した後、第1種指定海洋生物資源としての管理に移行する予定である。

今後も、漁業者や漁業団体、東京都資源管理型漁業推進協議会などの意見を踏まえながら、漁獲可能量制度等の効果的な実施と、漁協への指導、漁獲量報告体制の整備を進めていく。

TAC量の推移

(単位:トン)

	国TAC魚種の東京都への配分									都TAC はまとびうお	漁獲情報オンライン 端末整備
	さんま	すけとうだ ら	まあじ	まいわし	まさば及び ごまさば	するめい か	ずわいが に	くろまぐろ			
								小型魚	大型魚		
平成8年											整備(水産課、大島支庁)
平成9年	—	—	—	—	—	—	—	—	—		整備(三宅、八丈、小笠原支庁、都漁連)
平成10年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	TAC協議会 で検討	整備(波浮港、神津島、三宅島 漁協、都漁連)
平成11年	—	—	—	—	20,000	—	—	—	—	TAC協議会 で検討	
平成12年	—	—	—	—	29,000	—	—	—	—	魚種決定	
平成13年	—	—	—	—	29,000	—	—	—	—	40万尾	
平成14年	—	—	—	—	27,000	—	—	—	—	70万尾	
平成15年	—	—	—	—	24,000	—	—	—	—	70万尾	
平成16年	—	—	—	—	25,000	—	—	—	—	70万尾	
平成17年	—	—	—	—	20,000	—	—	—	—	90万尾	
平成18年	—	—	—	—	27,000	—	—	—	—	115万尾	
平成19年	—	—	—	—	34,000	—	—	—	—	126万尾	機器更新(水産課、支庁、伊豆 大島、神津島、三宅島漁協)
平成20年	—	—	—	—	35,000	—	—	—	—	133万尾	
平成21年	—	—	—	—	16,000	—	—	—	—	133万尾	
平成22年	—	—	—	—	19,000	—	—	—	—	140万尾	
平成23年	—	—	—	—	19,000	—	—	—	—	153万尾	
平成24年	—	—	—	—	20,000	—	—	—	—	158万尾	平成24年2月末日をもって運用 終了
平成25年	—	—	—	—	21,000	—	—	—	—	148万尾	
平成26年	—	—	—	—	27,000	—	—	—	—	134万尾	
平成27年	—	—	—	—	26,000	—	—	—	—	149万尾	
平成28年	—	—	—	—	24,000	—	—	—	—	87万尾	
平成29年	—	—	—	—	21,000	—	—	—	—	116万尾	
平成30年	—	—	—	—	12,000	—	—	8.4	23.6	72万尾	

- ・ まさば及びごまさばの平成9、10年における配分量は、漁獲統計の未整備から、漁獲管理をする必要のない「—」であった。具体的な数値の配分は、平成11年からである。
また、平成18年から管理期間を7月～翌年6月までの1年間に変更。
- ・ するめいかについては、平成10年からTAC管理実施。
- ・ くろまぐろについては、平成30年からTAC管理実施。
- ・ 平成22年国TACの配分は、平成22年11月12日農林水産大臣公表、平成23年2月23日一部改正により配分変更。
- ・ 過去の実績がおおむね100t未満(ずわいがにについては漁獲実績なし。)の魚種については、資源に対する漁獲圧力が無視できる程小さいことから数量を明示せず「—」と表記される。
- ・ 漁獲情報オンライン端末の運用は、平成24年2月末日をもって終了した。

6 自主的資源管理支援対策事業

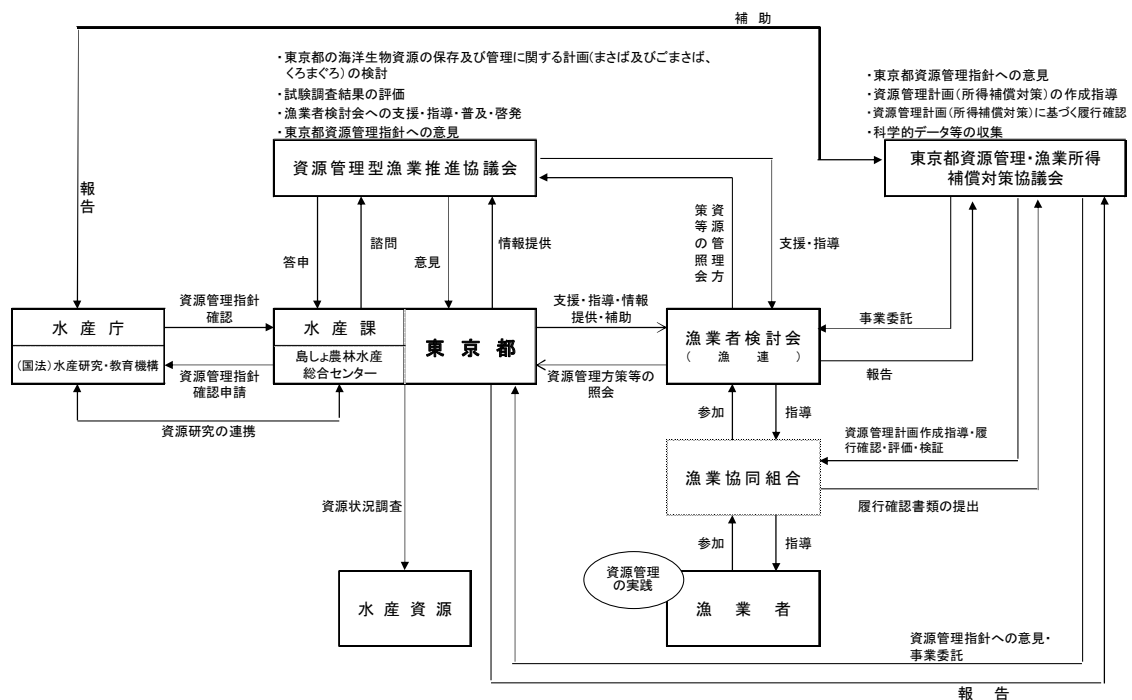
(1) 目的

この事業は、対象となる水産資源の水準、海域・地域の実情等に応じ、漁業者が自主的に行う資源管理の取り組みを支援することにより、資源の回復・増大及び資源の有効利用を促進し、漁業経営の安定を図ることを目的としている。

(2) 事業の経緯

東京都の資源管理関係事業は、昭和63年以降、国の補助事業に沿って実施してきた。国の補助事業は、資源培養管理対策推進事業、資源管理型漁業推進総合対策事業、複合的資源管理型漁業促進対策事業と推移し、平成23年度からは資源管理・漁業所得補償対策として実施している。東京都においては、これらの事業の下で、トコブシ、イセエビなどの磯根資源のほか、キンメダイ、マダイ、ヒラメ及びタカベ等の魚類について、漁業者による資源管理計画の策定を推進している。

(3) 自主的資源管理支援対策事業推進体制



(4) 資源調査

① キンメダイ

調査項目	調査内容
漁獲統計調査	○ 主要漁場で漁法別、銘柄別漁獲量を集計し、月別、年齢別漁獲尾数を求める。
市場調査	○ 市場で銘柄別に体長を測定する。
生物調査	○ 購入した魚体の、全長、体重、生殖腺重量、肝臓重量等の精密測定を行う。 ○ 耳石による年齢査定を行う。
キンメダイ漁獲統計調査	○ 他県での漁獲量実態の調査を行い、都の漁獲量との比較から、漁獲動向の資料を得る。

② タカベ

調査項目	調査内容
漁獲統計調査	○ 漁協の水揚げ記録から漁獲量の推移（漁場別、月別）を検討する。
漁獲物測定調査	○ 水揚げされた漁獲物の魚体測定と年齢査定を行い、年齢組成と雌雄比等を推定する。
標本船調査	○ 操業日誌の記載内容を調査し、操業実態を把握する。
標識放流調査	○ 分布及び移動を明らかにするため、標識放流を実施する。

(5) 協議会等の開催

① 東京都資源管理型漁業推進協議会

資源管理の目標、方策、体制等や調査結果の評価及び検討、関係者との連絡調整等資源管理の取組を円滑に促進するための指導や普及・啓発を行う。

② 太平洋南部海域行政・研究担当者会議

キンメダイの資源状況確認、資源管理措置の確認・調整、広域漁業調整委員会指示への意見集約等を目的として、国及び都道府県の行政・研究担当者が出席して、開催される。

対象魚種：キンメダイ

構成：国（水産庁）、東京都、千葉県、神奈川県、静岡県、高知県

開催主体：国（水産庁）

③ 東京都漁業者検討会

資源管理に必要な具体的な目標、方策、体制等に関する検討や、その他資源管理を実施する上で必要となる事項についての検討を行い、資源管理計画を策定することを目的として、漁業協同組合等が設置する。

対象魚種：キンメダイ、マダイ、ヒラメ、タカベ等

対象漁業種類：底魚一本釣り漁業、刺し網漁業、建て切り網漁業

開催主体：東京都漁業協同組合連合会

- ④ 一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会
 キンメダイの資源管理に関する情報の交換と、都県間の資源管理型漁業に関する円滑な意志の疎通を図ることを目的として設置されている。

対 象 魚 種：キンメダイ
 対象漁業種類：底魚一本釣り漁業、底たて延縄漁業、底刺し網漁業
 開 催 主 体：東京都漁業協同組合連合会、千葉県漁業協同組合連合会、
 神奈川県漁業協同組合連合会、静岡県漁業協同組合連合会
 構 成：東京都、千葉県、神奈川県、静岡県の漁業者等

- ⑤ キンメダイ資源管理に関する漁業者代表部会
 キンメダイ資源の持続的な利用を確保するために予防的措置の取りまとめに向けた検討を行うため、一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会の下に設置されている。

対 象 魚 種：キンメダイ
 対象漁業種類：底魚一本釣り漁業、底たて延縄漁業
 事 務 局：水産庁
 構 成：東京都、千葉県、神奈川県、静岡県の底魚一本釣り漁業者及び
 底立てはえ縄漁業者等

- ⑥ 東京都資源管理・漁業所得補償対策協議会
 資源管理・漁業所得補償対策の開始にあわせ設置された協議会。主に、資源管理計画（当該対策が開始された後に作成したもの）の履行確認を行う。委員構成は、東京都、東京都漁業協同組合連合会、全国合同漁業共済組合東京都事務所等。事務局は東京都水産課で行うが、独立した機関として業務を行う。

(6) 資源管理計画

- ① 平成22年度までに作成されたもの
 （複合的資源管理型漁業促進対策事業までに基づき作成されたもの）

対 象 生 物	策 定 機 関	主 な 計 画 の 内 容
トコブシ	八丈島・三根漁協	殻長 50 mm以下採捕禁止 は具の使用禁止 潜水器による操業の制限 等
	三宅島漁協	殻長 50 mm以下採捕禁止 操業日数と操業時間の制限 等
イセエビ	若郷・新島・式根島漁協	操業日数・操業時間の制限 漁具・漁法の制限 体長・体重の制限 等
	神津島漁協	操業日数・操業時間の制限 漁具・漁法の制限 体長・体重の制限 等
	大島町	操業日数・操業時間の制限 漁具の制限 体長の制限 等

対象生物	策定機関	主な計画の内容
イセエビ（続き）	利島村漁協	操業日数の制限 漁具の制限 体重の制限 等
キンメダイ・マダイ	東京都漁連	キンメダイ 夜間操業の禁止 小型魚の再放流 漁具・漁法の制限 等 マダイ 小型魚の再放流 等
ヒラメ	東京都漁連	小型魚の再放流 等
タカベ	神津島・にいじま・伊豆大島・元町・利島村・三宅島漁協	漁獲魚の体長制限 操業禁止期間の設定 等

② 平成23年度以降に作成されたもの
（資源管理・漁業所得補償対策に基づき作成されたもの）

対象生物	策定機関	主な計画の内容
イセエビ	利島村漁協、小笠原島漁協	禁漁期間の設定、体重制限、総漁獲量規制 等
テングサ	神津島漁協	禁漁期間の設定 等
メカジキ	小笠原母島漁協	体長制限、漁具の制限 等
キンメダイ	神津島漁協	禁漁期間の設定、体長制限 等
一本釣り漁業 （メカジキを除く）	小笠原母島漁協	休漁日の設定 等
定置網漁協	神津島漁協、伊豆大島漁協	禁漁期間の設定 等
はえ縄漁業	三宅島漁協	禁漁期間の設定 等

7 遊漁船業の登録

東京都管内遊漁船業登録件数

平成31年3月31日現在

区分	内湾	伊豆諸島							小笠原諸島		合計
		大島	利島	式新根島・	神津島	三宅島	御蔵島	八丈島	父島	母島	
業者数	128	9	1	12	19	15	1	17	28	15	245
登録隻数	277	10	1	12	19	16	1	17	30	15	398

8 漁業取締

漁業関連法令違反件数（H30.4.1～31.3.31）

違反内容 漁業種類		侵害許可 無許可 無承認	操業区域	禁止区域	制限 又は 条件	禁止漁具 又は漁法	採捕期間 又は 体長制限	計
		漁業権漁業						
大臣許可 漁業	大・中型 まき網漁業							0
	底びき網漁業							0
	その他							0
知事許可漁業								0
委員会承認漁業								0
その他								0
計		0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ 水産業基盤整備

1 事業概要

東京都島しょ地域においては、効率的な漁業の推進、漁家所得の安定・向上等を目的として、町村や漁業協同組合等が、必要な共同利用施設の整備や漁場を造成することに対する補助事業を実施している。

伊豆諸島においては、水産経営構造改善事業及び島しょ漁業振興施設整備事業、小笠原諸島においては、小笠原漁業振興施設整備事業及び硫黄島関連漁業対策事業により、諸施設の整備を行っている。

併せて、都の直営事業として、大規模漁場造成、漁場環境監理施設の整備を行う水産物供給基盤整備事業を実施している。

また、内水面においては、内水面漁業・養殖業の育成とこれらを通じた内水面地域の活性化を目的とし、内水面振興対策事業を実施している。

2 水産経営構造改善事業

沿岸漁業の生産性の向上や漁業の近代化、合理化に対する必要な施策を講ずることにより、沿岸漁業の発展を促進し、沿岸漁業の従事者が他産業従事者と均衡する生活を営むことができることを目的に、昭和38年8月沿岸漁業等振興法（平成13年6月廃止、同年6月水産基本法制定）が制定された。都は、同法に基づく沿岸漁業構造改善事業を昭和39年度から伊豆諸島において実施した。

補助事業として平成16年度まで実施され、平成17年度からは、強い水産業づくり交付金水産業強化対策事業として交付金化され、平成29年度からは浜の活力再生交付金水産業強化支援事業となっている。

当該事業は浜の活力再生プランを上位計画として位置づけ、プラン中にその取組の一環として位置付けられた共同利用施設の整備、水産資源の管理・維持増大等に必要な施設整備を実施することができる。

(1) 事業内容

① 資源増養殖目標

養殖施設、種苗生産施設、養殖場環境管理施設 等

② 経営構造改善目標

荷さばき施設、鮮度保持施設、作業保管施設、加工処理施設、蓄養施設、燃油補給施設、小規模漁場施設 等

(2) 事業の実績

平成22年度以降、実績なし

3 島しょ漁業振興施設整備事業

島しょ地域における漁業生産基盤の整備、流通等改善施設の整備、漁村環境の整備などにより、漁家経営の安定と地域の活性化を図っている。

○ 事業実績

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	実施地区	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
生産基盤整備事業	つきいそ 自然石 3,302㎡	大島町	25,499	つきいそ 自然石 3,186㎡	大島町	30,000	つきいそ コンクリート礁 4,320基 (災害復旧)	大島町	25,499
	つきいそ コンクリート礁 4,700基 (災害復旧)	大島町	25,439	つきいそ コンクリート礁 4,500基 (災害復旧)	大島町	25,000	燃油等補 給施設	新島村	4,411
	船揚施設	大島町	2,141	つきいそ コンクリート魚 礁 11基 自然石 1,800㎡	利島村	29,160	つきいそ コンクリート魚 礁 38基	神津島村	29,700
	つきいそ コンクリート魚 礁 39基	神津島村	29,592	つきいそ コンクリート魚 礁 38基	神津島村	29,700	冷凍品保 管施設	小笠原村	12,096
	船揚施設	神津島村	46,700	燃油等 補給施設 工事	神津島村	207,140			
	燃油等補 給施設(設 計)	神津島村	7,000	定置網 付帯設備	三宅村	12,334			
	漁具資材 倉庫	神津島村	17,500	船揚施設	八丈町	11,797			
	浮魚礁	八丈町	18,278						
	小計		172,149	小計		345,131	小計		71,706

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
流通等改善施設整備事業	水産物鮮度保持施設	大島町	900	荷捌き施設付帯設備	大島町	3,613	蓄養施設改修工事	新島村	2,367
	水産物展示販売施設	大島町	3,327	水産加工施設設計	新島村	10,584	水産加工施設工事	新島村	218,916
	製氷貯氷施設（設計）	八丈町	24,200	製氷施設の設備改修	神津島村	18,800	製氷貯氷冷凍冷蔵施設設計	新島村	11,124
	氷搬送施設	八丈町	12,690	水産物荷捌き施設設計	三宅村	4,500	砕氷施設	神津島村	4,687
				製氷貯氷施設工事	八丈町	578,480	水産物鮮度保持施設	神津島村	3,501
							水産物鮮度保持施設等	神津島村	4,870
							製氷貯氷施設	神津島村	4,536
							水産物荷捌き施設	三宅村	67,716
							魚体選別機	三宅村	5,380
							展示販売施設付帯設備	三宅村	2,484
							製氷貯氷冷凍冷蔵施設改修工事	八丈町	29,916
							フォークリフト	青ヶ島村	3,672
		小計		41,117	小計		615,977	小計	

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
災害復旧事業 生産基盤施設	燃油供給施設（工事）	三宅村	144,470	—	—	—	—	—	—
	フォークリフト	三宅村	2,420	—	—	—	—	—	—
	小計		146,890	小計		—	小計		—
施設緊急整備事業 小笠原諸島漁業基盤				ダイビング 関連施設管 理棟	小笠原村	9,200			
	小計			小計		9,200			
	合計		360,156	合計		970,308	合計		430,875

4 水産物供給基盤整備事業

水産物供給基盤整備事業は、国際的に漁業規制が強化されるなかで、動物性蛋白質食料を安定的に供給するため沿岸漁業の重要性が見直され、沿岸漁業の生産力を増大させるために必要な事業を総合的かつ効果的に実施するため、昭和49年5月沿岸漁場整備開発法が制定公布され、沿岸漁場整備開発事業として開始された。その後、漁港漁場整備法に平成14年4月1日に移行し、現在に至っている。

我が国の水産物の安定供給という国民の食生活にとって不可欠な役割を果たし、豊かで安心できる国民生活の実現を支えるという役割を将来にわたって十分に果たしていくためには、水産業をめぐる情勢の変化に的確に対応していく必要がある。

このようなことから水産基盤の整備に関しては、水産資源の増殖から生産、流通まで一貫した横断的な事業展開を図るとともに、より効率的及び効果的に行うことが必要となっている。

このため、漁港及び漁場の計画的な整備による水産物の生産及び流通の基盤づくりを総合的に行う事業を実施し、水産資源の持続的利用と国民のニーズに的確に対応した水産物の安定的な供給及び水産資源の生息環境の保全・創造に資するというものが、この事業の趣旨である。

(1) 水産物供給基盤整備事業

① 都における基本構想

本事業の計画海域は、伊豆諸島及び小笠原諸島である。この海域に点在する島は、良港が少なく、台風や冬季の季節風など自然条件が厳しい。

これらに対応し漁業者の操業を安定させるために、カンパチ、タカベ等魚類を対象とした魚礁設置事業、テングサやイセエビ、トコブシなどを対象とした増殖場造成事業により漁場整備を実施してきたところである。今後は、新たに造成漁場の藻場としての機能にも着目し、漁場整備による資源の維持培養、生産の維持拡大、漁家経営の安定・向上を図っていく。

また、観測機能を有したブイの整備・運用により、遠方の漁海況情報を漁業者がリアルタイムに入手できる体制を構築し、効率的な漁業活動の支援も併せて行う。

② 事業内容

ア 魚礁設置事業

主として魚類の蛸集、発生及び成育が効率的に行われ生産性が高い魚礁漁場を造成するために行う、コンクリートブロック等の設置により整備される漁場

イ 増殖場造成事業

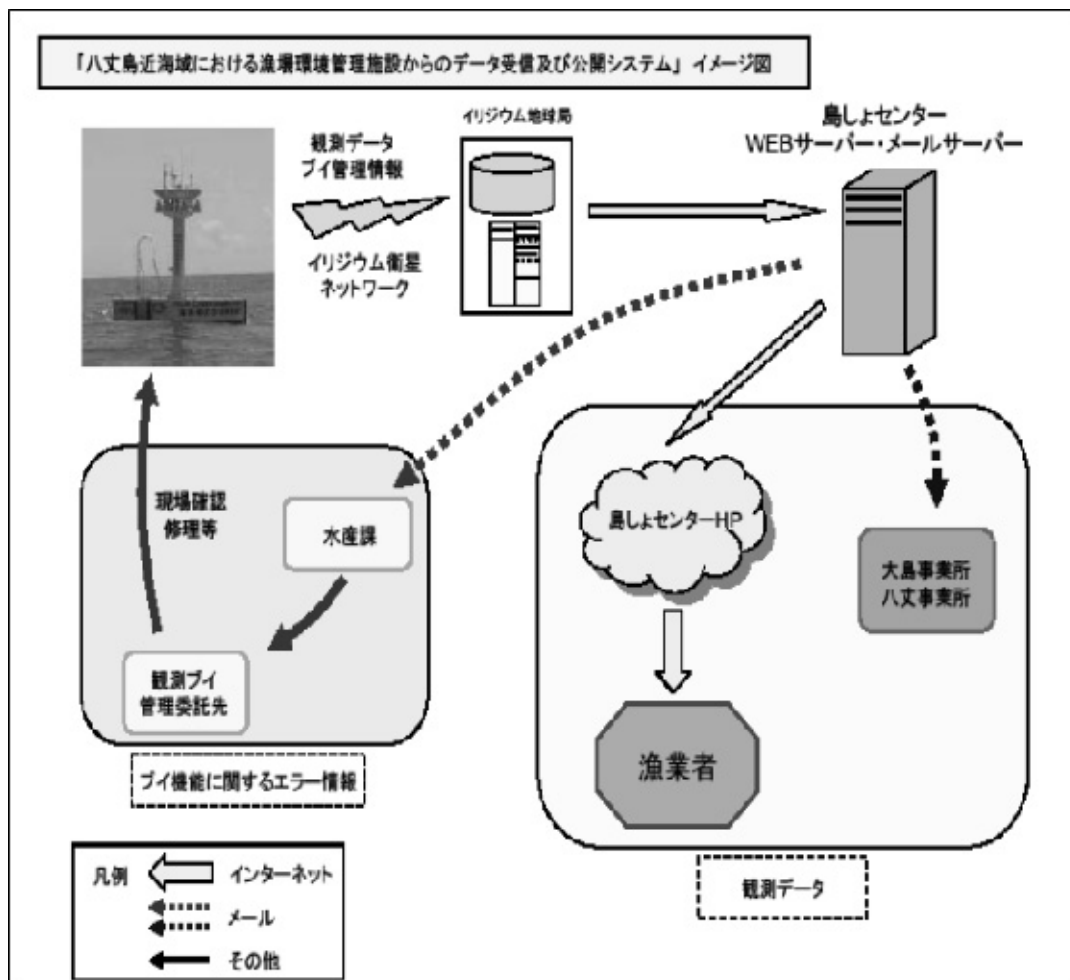
海域及びこれに接続する陸地において、有用水産物の発生及び成育に適した環境を整備するために行う、自然石やコンクリートブロック等の着底基質の設置により整備される漁場

ウ 漁場環境管理施設整備事業

伊豆諸島海域では、黒潮流路によって漁場の位置が大きく変化するため、黒潮流域における水温、

流向、流速等の情報把握が非常に重要である。

そこで、漁業者自らが黒潮流域における漁海況情報（水温、風向・風速、流向・流速等）をリアルタイムに把握し、燃油削減など効率的な操業を実現できるよう、観測機能を有したブイを八丈島沖に設置し、観測データを公開している。



単位：千円、()は国費

区分		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		
		規模	事業費	規模	事業費	規模	事業費	規模	事業費	規模	事業費	規模	事業費	
水産物供給基盤整備事業														
魚礁設置事業														
増殖場造成事業	大島	調査												
		事業												
	新島	調査												
		事業	自然石 m ³ 12,307.3	96,305 (48,152)	自然石 m ³ 9,816.5	101,628 (50,814)	自然石 m ³ 12,172.0	104,220 (52,110)	自然石 m ³ 12,546.0	110,484 (55,242)	自然石 m ³ 12,546.0	110,484 (55,242)		
	神津島	調査												
		事業							海底地形等 測量一式	4,828 (0)				
	小計	調査												
		事業	自然石 m ³ 12,307.3	96,305 (48,152)	自然石 m ³ 9,816.5	101,628 (50,814)	自然石 m ³ 12,172.0	104,220 (52,110)	自然石 m ³ 12,546.0	110,484 (55,242)	自然石 m ³ 12,546.0	110,484 (55,242)		
	観測ブイ	設置	観測ブイ 1基設置	153,244 (0)										
		保守 点検				2,430 (0)		1,332 (0)		1,724 (0)		4,000 (0)		21,713 (0)
改良型藻場 礁設置 (ニースト-)	事業	90基設置 (3漁場)	3,465 (0)	150基設置 (5漁場)	5,454 (0)									
	事業			コンクリート魚礁 10基	23,112 (0)	コンクリート魚礁 40基	44,496 (0)							
大島 復旧災害	事業			自然石 m ³ 2,716.0	26,946 (0)									
	事業													

5 内水面振興対策事業

昭和55年度より国の補助事業を活用し、増養殖施設、種苗生産施設、遊漁関連施設等の整備を行っていた。平成17年度からは「強い水産業づくり交付金（資源管理目標）」として交付金化され、平成29年度からは、「浜の活力再生交付金（資源増殖目標）」となり、内水面漁業環境活用施設整備事業として実施している。

また、平成27年度からは、2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックに向け、各地の老朽化した施設の改修等により、外国人観光客も含めた幅広い人々を対象に、誰もが使いやすく楽しめる施設の整備を行うため、都の単独事業である内水面漁業振興対策事業を、開始している。

(1) 事業内容

① 内水面漁業環境活用施設整備事業

- 内水面漁場環境改善
- 種苗生産施設
- 内水面資源増殖関連施設

② 内水面漁業振興対策事業

- 推進事業
- 施設整備

(2) 事業実績

① 内水面漁業環境活用施設整備事業

事業実績なし

② 内水面漁業振興対策事業

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
内水面漁業振興対策事業 (推進事業)	伝統漁法, 体験漁業イ ベント	日野市	5,989	伝統漁法, 体験漁業イ ベント	日野市	6,524	伝統漁法, 体験漁業イ ベント	日野市	5,876
				パンフレッ ト・ホーム ページ作成	奥多摩町	2,135			
	小計		5,989	小計		8,659	小計		5,876

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
内水面漁業振興対策事業 (施設整備事業)	釣場管理棟改良(設計・工事)	奥多摩町	24,867	養殖池給水バルブ(工事)	奥多摩町	4,212	釣場管理棟建設(実施設計)	奥多摩町	9,450
	養殖施設倉庫	奥多摩町	2,724	釣場管理棟建設(基本設計)	奥多摩町	3,572	養魚運搬車両	奥多摩町	6,210
	釣場管理棟改良(工事) 駐車場改良(設計)	奥多摩町	15,833	釣場養殖池改修(工事)	奥多摩町	19,672	蓄養池改修・倉庫新設(工事)	奥多摩町	7,432
	釣場蓄養池改修(設計・工事)	奥多摩町	11,425	バリアフリートイレ(工事)	あきる野市	23,523	釣場取水施設改修(設計・工事)	奥多摩町	19,764
	活魚運搬車	奥多摩町	1,089	既存トイレ改修(設計)	あきる野市	3,662	駐車場内施設等改修(工事)	あきる野市	28,858
	釣場インバウンド対応インフォメーションシステム	奥多摩町	3,956	釣場施設改修(工事) リーフレット作成	八王子市	11,536	バリアフリートイレ(工事)	日野市	24,385
	バリアフリートイレ(設計)	あきる野市	4,155	バリアフリートイレ(工事)	日野市	23,262	防犯フェンス改修(工事)	青梅市	6,049

単位：千円

事業 種目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費	事業内容	実施地区	事業費
内水面漁業振興対策事業 (施設整備事業)	釣場施設改修(工事) パンフレット・ホームページ	八王子市	2,463	バリアフリートイレ(工事)	青梅市	6,290	バリアフリー釣場(工事)	青梅市	10,341
	バリアフリートイレ(工事)	日野市	19,764				バリアフリートイレ(設計)	日の出町	1,620
	小計		86,276	小計		95,729	小計		114,109
	合計		92,265	合計		104,388	合計		119,985

6 小笠原漁業振興施設整備事業

小笠原諸島は昭和43年6月、米国より返還以来、小笠原諸島復興特別措置法（昭和44～53年）、小笠原諸島振興特別措置法（昭和54～63年）及び小笠原諸島振興開発特別措置法（平成元～30年）に基づき、水産業の復興、振興を目的に共同利用施設の整備を実施している。

○ 事業実績表

単位：千円

年度	事業主体	事業規模・内容	事業費	負担区分	
				国 (4/10)	都 (6/10)
28	小笠原島漁業協 同組合	漁船船員厚生施設 設計一式	7,800	3,120	4,680
29	小笠原島漁業協 同組合	漁船船員厚生施設 工事一式	125,540	50,216	75,324
30	実績なし				

7 硫黄島関連漁業対策事業

硫黄島周辺海域は、従前は優良な漁場であったが、自衛隊等の演習海域に設定されたことにより、漁船の操業が制限されている。この漁業活動の阻害に伴う損失分を緩和し、漁業の振興と漁家経営の安定を目的に生産基盤の整備を実施している。

○ 事業実績表

単位：千円

年度	事業主体	事業規模・内容	事業費	負担区分	
				国 (2/3)	都 (1/3)
28	小笠原島 漁業協同組合	漁具倉庫	107,750	71,832	35,918
		冷凍冷蔵コンテナ	7,650	5,100	2,550
	小笠原母島 漁業協同組合	製氷施設	34,160	22,772	11,388
	合 計		149,560	99,704	49,856
29	小笠原島 漁業協同組合	水産物荷さばき施設	20,590	13,726	6,864
	小笠原母島 漁業協同組合	製氷施設	14,108	9,405	4,703
	合 計		34,698	23,131	11,567
30	小笠原島 漁業協同組合	水産物保管施設 設計	11,780	7,853	3,927
	小笠原母島 漁業協同組合	漁船漁具保全施設	51,410	34,272	17,138
	合 計		63,190	42,125	21,065

8 漁村地域防災力強化事業

漁業協同組合等が整備した共同利用施設は、耐震化していないもの、老朽化して耐震性が不十分なものの、耐震化が困難なものも多い。災害発生時、こうした施設が倒壊すると、人命に係る事故を招くだけでなく、漁港や道路が使用不能となるなど、二次災害を引き起こし、復旧・復興の足かせとなる。

こうした二次災害を防止し、災害時、復旧・復興の拠点となる漁港やライフラインとしての道路の機能を確保するため、共同利用施設の耐震化を支援して漁村地域の防災力の強化を図る。

○ 事業実績表

単位：千円

年度	事業名	事業主体	施設名	事業費	負担区分		補助率
					都	町村等	
28	耐震化施設等	大島町	天草倉庫	6,000	4,500	1,634	都 (3/4)
		三宅村	阿古事務所	56,132	42,099	14,033	
	耐震化困難施設の解体処理	三宅村	荷捌き施設	21,989	16,491	5,498	
		八丈島漁協	氷搬送施設	8,000	6,000	2,000	
29	耐震化困難施設の解体処理	三宅村	燃油供給施設	6,348	4,761	1,587	都 (3/4)
30	耐震化施設等	三宅村	天草倉庫	6,426	4,819	1,607	都 (3/4)
	耐震化困難施設の解体処理	八丈島漁協	製氷貯氷施設	73,700	55,275	18,425	
		小笠原母島漁協	充填施設	3,900	2,925	975	

9 栽培漁業

東京都の漁業は、伊豆諸島から小笠原諸島に至る広大な海域に我が国有数の好漁場を有しており、漁業者は、その資源を保護・活用しながら、漁業操業を行ってきた。しかし、近年、漁海況の変動に起因する回遊性魚類の来遊量の減少や磯焼けの発生等により、漁業生産量も漸減傾向にある。

漁業経営の安定を図るためには、漁業生産量の維持が重要であり、水産資源の回復及びその持続的な利用を図ることが必要である。

このため、都においては、人工的に種苗を生産・放流し、資源や漁場を適切に管理しながら計画的に生産する「栽培漁業」を推進している。

栽培漁業の推進にあたっては、東京都栽培漁業センターを運営し、種苗を生産・配付するとともに、漁業者をはじめ関係者の積極的な取組を促すため、モニタリング等に対し補助を行っている。

◎ 栽培漁業関係事業

年度	事業内容	経 費	適 用
28	<ul style="list-style-type: none"> ○栽培漁業センターの維持・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・アサヒ・フクロボシ・サザエの種苗生産・配付 ・基本施設更新・整備 ○栽培漁業の普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング経費に対する補助 ・放流経費の一部補助 ○栽培漁業推進協議会の開催 	予算額 181,413千円	<ul style="list-style-type: none"> ○水産課執行 ○大島町、利島村、新島村、神津島村、八丈町 ○水産課執行
29	<ul style="list-style-type: none"> ○栽培漁業センターの維持・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・アサヒ・フクロボシ・サザエの種苗生産・配付 ・基本施設更新・整備 ○栽培漁業の普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング経費に対する補助 ・放流経費の一部補助 ○栽培漁業推進協議会の開催 	予算額 193,750千円	<ul style="list-style-type: none"> ○水産課執行 ○大島町、利島村、新島村、神津島村、八丈町 ○水産課執行
30	<ul style="list-style-type: none"> ○栽培漁業センターの維持・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・アサヒ・フクロボシ・サザエの種苗生産・配付 ・基本施設更新・整備 ○栽培漁業の普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング経費に対する補助 ・放流経費の一部補助 ○栽培漁業推進協議会の開催 	予算額 155,957千円	<ul style="list-style-type: none"> ○水産課執行 ○大島町、利島村、新島村、神津島村、八丈町 ○水産課執行

◎ 東京都栽培漁業センターの概要

- (1) 事業開始 平成4年10月開所
 (2) 所在地 東京都大島町元町字和泉99番5号
 (3) 設置目的

島しょ地区における減少しつつある沿岸水産資源を回復させるために、種苗の大量生産と安定供給を行うことを目的に設置された。

島しょ地域の基幹産業である漁業の発展は、都民に新鮮な魚介類の提供を図る上で重要な課題であり、栽培漁業センターはその中核基地としての役割を担っている。

(4) 事業内容

① 運営方法

種苗生産・施設管理等を(公財)東京都農林水産振興財団に委託して実施

② 対象生物

アワビ・フクトコブシ・サザエ

③ 配付実績

単位：個

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
アワビ	247,400	241,800	166,000	166,000	166,000
フクトコブシ	0	0	370,000	370,000	370,000
サザエ	1,409,400	1,509,400	1,122,200	1,122,300	1,122,500

※災害対応の増産分含む

(5) 施設の概要

管 理 棟	RC2階建	323.0 m ²
飼 育 棟	鉄骨造2階建	1,636.5 m ²
機 械 棟	RC地下1階 地上3階建	159.6 m ²
屋 内 水 槽	10m水槽×8基	
屋 外 水 槽	20m水槽×25基、 10m水槽×4基	
取 配 水 管	取水管 162m、 配水管 32m	
海 水 ろ 過 設 備	圧力式 ろ過能力	225 m ³ /時 4基
車 庫	鉄骨造平屋建	48 m ²
宿 舎	1棟	

10 沖ノ鳥島総合対策事業

日本の国土は、世界で60番目の広さであるのに対し、排他的経済水域は国土面積の1.2倍もあり、世界で6番目の広さである。

その中で、東京都は日本全体の38パーセントにあたる広大な排他的経済水域を抱えている。とりわけ沖ノ鳥島が支える水域は、国土面積にも匹敵しており、これを我が国が実効支配していることを世界に示し、国家の利益を守る必要がある。そのため、都は、平成17年4月から、いち早く経済活動としての漁業操業に対する支援や漁場監視などに取り組み、同年5月には沖ノ鳥島の現状及び島の利活用や資源開発の可能性を探ることを目的に現地視察を実施した。また、平成19年1月に大水深中層浮魚礁を設置し、2月には沖ノ鳥島まで航行可能な漁業調査指導船「興洋」が竣工した。

こうした国家的視点に立った東京都の取組に呼応し、国においても様々な取組を開始した。平成22年6月には「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」が制定され、沖ノ鳥島において、排他的経済水域の保全及び利用に関する活動拠点として、国による港湾の整備が進められている。

都としては、引き続き、漁業調査指導船「みやこ」「興洋」による漁場の調査・監視、沖ノ鳥島フォーラムの開催による都民への啓発普及など、我が国にとって重要な意義を持つ沖ノ鳥島への取組を着実に推進していく。

(1) 事業概要

① 事業の目的

沖ノ鳥島周辺海域は、貴重な海洋資源に恵まれ、その利活用は都政の重要な課題である。

一方、近年、伊豆諸島から小笠原海域における漁業資源や漁獲量の減少に伴い、同島周辺での新たな漁場の開拓が求められている。

このため、同島周辺での漁場の開拓、資源管理、漁場監視を積極的に推進し、永続的経済活動の実現を目指す。

② 事業種目

ア 漁場の調査・監視

沖ノ鳥島周辺海域において、漁場の調査・監視を行う。

イ 沖ノ鳥島フォーラムの開催

沖ノ鳥島における都の経済活動を通じた様々な取組を広く都民・国民へ普及啓発するため、沖ノ鳥島フォーラムを開催する。

ウ 大水深中層浮魚礁の撤去

平成28年度末に耐用年数を迎える大水深中層浮魚礁の撤去工事を行う。なお、工事は平成28、29年の二ヶ年で実施する。

(2) 事業実績

単位：千円

29	①漁場の調査・監視	東京都	「興洋」による調査監視	6,520
	②沖ノ鳥島フォーラムの開催	東京都	フォーラム開催及び映像資料等による普及啓発	3,938
	③大水深中層浮魚礁の撤去工事	東京都	平成28年度末に耐用年数を迎える大水深中層浮魚礁の撤去	129,562
	合 計			140,020
30	①漁場の調査・監視	東京都	「興洋」による調査監視	6,889
	②沖ノ鳥島フォーラムの開催	東京都	フォーラム開催及び映像資料等による普及啓発	5,216
	合 計			12,105



写真：第13回沖ノ鳥島フォーラムの様子

IV 漁業經營改善対策

1 水産業協同組合の育成

(1) 概要

東京都管内には水産業協同組合法に基づく都知事認可組合として、地区漁業協同組合 24 組合、水産加工業協同組合 4 組合、業種別漁業協同組合 3 組合及び漁業生産組合 2 組合の計 33 組合があり、所属する組合員総数は 8,228 人である。

ア 地区漁業協同組合

伊豆諸島及び小笠原諸島を地区とする島しょ漁協 12 組合、東京湾沿岸の特別区を地区とする内湾漁協 6 組合、多摩川水系を地区とする内水面漁協 7 組合（うち 1 組合は内湾漁協と重複）がある。

① 島しょ漁協

島しょ漁協の多くは、島の基幹産業である水産業の基盤として、地域の活性化を支えている。経営基盤の確保等を目的とした合併により 1 町村 1 漁協体制はほぼ達成されたが、長引く不漁や魚価の低迷、漁業者の高齢化等の影響を受け、漁協経営は全般的に厳しい状況にある。

そこで、漁協・漁業者経営支援対策事業に取り組み、東京都漁業経営支援協議会を立ち上げ、漁業関連団体と東京都が一体となって多角的な視点から指導により、漁協の自立・安定した経営を支援している。

② 内湾漁協

東京湾内で自由漁業を営む漁業者を主に組織された組合であり、アサリやアナゴなどを対象とした「江戸前」漁業の振興に尽力している。

③ 内水面漁協

河川における生物資源の保護や増殖、河川環境の保全、遊漁を主とした都民へのレクリエーションの場の提供などの役割を担っている組合である。そのために必要な業務として、河川等への種苗の放流や産卵場の造成、河川釣場の運営などを行っている。

イ 水産加工業協同組合

島しょ地区に新島と八丈島の 2 組合があり、くさや加工に係る原料魚の仕入れ・供給、加工品の受託販売等の業務を行っている。また、都心地区に蒲鉾と惣菜の 2 組合があり、原材料の仕入れ・供給などの業務を行っている。

ウ 業種別漁業協同組合

金魚を扱う養殖業者により組織された組合と、アユやマス類を扱う養殖業者により組織された組合がある。両組合とも長い歴史を有し地場産業の振興に尽力している。なお 1 組合は休眠中である。

エ 漁業生産組合

海面漁業と内水面漁業の各 1 組合があるが、現在休眠中である。

オ 漁業協同組合連合

① 東京都漁業協同組合連合会

農林水産大臣が認可した連合会であり、島しょ地区及び内湾地区の 17 組合と都信漁連を会員とし、地区漁業協同組合の上部団体としての業務を行っている。

主な業務としては、漁業経営に係る指導、会員監査等の指導事業のほか、会員に燃油や漁業用資材等を供給する購買事業、会員の取り扱う漁獲物の販売を行う販売事業等を行っている。また、東京臨海部に設置している水産物流センターでは、伊豆諸島の活魚や鮮魚の販売を行っている。

② 東京都信用漁業協同組合連合

農林水産大臣が認可した連合会であり、島しょ地区及び内湾地区等の 20 組合と都漁連を会員とし、会員及びその組合員等を対象に資金の貸し付けや貯金・定期積立の受け入れなどの業務を行っている。

平成 15 年 2 月に漁協ごとに実施していた信用事業を統合し、安定した漁業金融を維持するために体制を整えた。

低金利が続く厳しい運用環境にあつて、利益を確保することが難しく、漁協同様に厳しい経営を余儀なくされている。

③ 東京都内水面漁業協同組合連合会

東京都知事が認可した連合会であり、内水面漁協（奥多摩、秋川、多摩川、小河内、恩方及び氷川）の 6 組合を会員に組織されている。補助事業である内水面漁場環境保全啓発活動事業、緊急・広域外来魚等対策事業などの事業を行っている。

(2) 種類別組合数・組合員数・会員数

ア 協同組合

(平成30年度)

種別	組合数	組合員数		
		総数	正	准
地区漁業協同組合	24	8,079	5,042	3,037
島しょ漁協	12	3,578	817	2,761
内湾漁協	6	385	213	172
内水面漁協	6	4,116	4,012	104
水産加工業協同組合	4	97	97	0
業種別漁業協同組合	3	52	38	14
漁業生産組合	2	0	0	0
合計	33	8,228	5,177	3,051

イ 漁業協同組合連合会

(平成30年度)

種別	組合数	会員数		
		総数	正	准
東京都漁業協同組合連合会	1	18	17	1
東京都信用漁業協同組合連合会	1	21	18	3
東京都内水面漁業協同組合連合会	1	6	6	0
合計	3	45	41	4

(3) 種類別組合名簿
 ア 地区別漁業協同組合
 (島しょ組合)

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日	
			正	准	計			
大島支庁管内	伊豆大島	〒100-0212 大島町波浮港1	04992-4-0007	147	897	1,044	94,856	H15.7.1 (合併)
	元町	〒100-0101 大島町元町2-5-7	04992-2-1157	64	230	294	12,370	S25.3.31
	利島村	〒100-0301 利島村13	04992-9-0326	29	40	69	33,194	S26.5.4
	にいじま	〒100-0401 新島村若郷83	04992-5-0781	65	459	524	138,620	H14.7.1 (合併)
	神津島	〒100-0601 神津島村36	04992-8-0007	167	185	352	232,669	S24.9.16
	小計	5		472	1,811	2,283	511,709	
三宅支庁管内	三宅島	〒100-1212 三宅村阿古680	04994-5-0011	37	340	377	145,475	S45.12.16 (合併)
	御蔵島村	〒100-1301 御蔵島村	04994-8-2151	22	59	81	1,227	S25.5.12
	小計	2		59	399	458	146,702	
八丈支庁管内	八丈島	〒100-1511 八丈島三根4206	04996-2-0211	118	541	659	296,185	H13.6.1 (合併)
	東京都 島嶼無線	〒100-1511 八丈島三根4206	04996-2-0211	80	0	80	385	S63.4.1
	青ヶ島村	〒100-1701 青ヶ島村5	04996-9-0111	20	0	20	非出資	S54.8.23
	小計	3		218	541	759	296,570	
小笠原支庁管内	小笠原島	〒100-2101 小笠原村父島字奥村	04998-2-2411	44	4	48	79,580	S43.10.14
	小笠原 母島	〒100-2211 小笠原村母島字元村	04998-3-2311	24	6	30	30,775	S55.4.2
	小計	2		68	10	78	110,355	
合計	12		817	2,761	3,578	1,065,336		

(内湾組合)

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日
			正	准	計		
大田	〒144-0043 大田区羽田6-33-6	03-3741 -9719	40	8	48	16,700	S41.4.20
芝	〒140-0011 品川区東大井2-27-5	03-3761 -1908	31	21	52	27,547	S25.1.18
港	〒108-0075 港区港南4-7-8	03-3458 -4301	24	6	30	9,338	S26.4.20
佃島	〒104-0051 中央区佃1-7-11	03-3531 -2221	22	25	48	17,580	S27.10.11
中央隅田	〒111-0052 台東区柳橋1-5-11	03-5829 -4780	33	19	52	61,018	S28.6.9
東京東部	〒134-0013 江戸川区江戸川4-16-36	03-5661 -0126	63	93	156	22,850	S24.12.19
合計	6		213	172	386	155,033	

(内水面組合)

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日
			正	准	計		
奥多摩	〒198-0174 青梅市御岳2-333	0428-78 -8393	1,008	0	1,008	非出資	S25.3.10
秋川	〒190-0171 あきる野市養沢1311	042-596 -2215	2,049	6	2,055	非出資	S28.9.1
多摩川	〒183-0055 府中市府中町2-25	042-361 -3542	395	0	395	非出資	S26.8.18
小河内	〒198-0225 奥多摩町川野529	0428-86 -2623	130	0	130	3,900	S57.11.12
恩方	〒192-0156 八王子市上恩方町1353	042-651 -0869	105	0	105	1,694	S62.8.14
氷川	〒198-0212 奥多摩町氷川1793	0428-83 -8588	325	98	423	7,011	H7.12.28
合計	6		4,012	104	4,116	12,605	

イ 水産加工業協同組合

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日
			正	准	計		
新 島	〒100-0402 新島村本村くさやの里	04992- 5-0644	16	0	16	20,079	S24.8.4
八 丈 島	〒100-1511 八丈町三根4205	04996- 2-2256	24	0	24	11,252	S47.9.2
東 京 都 蒲 鉾	〒135-0061 江東区豊洲6-6-1	03-6636 -0270	41	0	41	885	S41.11.7
東 京 都 惣 菜	〒135-0061 江東区豊洲6-6-3	03-6633 -3323	16	0	16	2,200	S51.9.13
小計	4		97	0	97	34,416	

ウ 業種別漁業協同組合

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日
			正	准	計		
東京都淡水魚養殖	〒134-0091 江戸川区船堀7-19-5	03-3687 -2448	20	14	34	7,868	S24.6.28
東京都鮎鱒養殖	〒192-0156 八王子市上恩方町4539	042-651 -3068	18	0	18	非出資	S38.5.30
東 京 都 鯖 釣							(休眠)
小計	3		38	14	52	7,868	

エ 漁業生産組合

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額	設立年月日
熊 栄 丸							(休眠)
東京都淡水魚							(休眠)
小計	2				0	0	

エ 漁業協同組合連合会

組合名	所在地	電話番号	組合員数			出資金額 (千円)	設立年月日
			正	准	計		
東京都漁業 協同組合連合会	〒108-0075 港区港南4-7-8	03-3458 -4161	17	1	18	156,500	S25.1.25
東京都信用漁業 協同組合連合会	〒108-0075 港区港南4-7-8	03-3458 -3031	18	3	21	164,600	S28.3.17
東京都内水面漁業 協同組合連合会	〒190-0071 あきる野市養沢1311	042-596 -2215	6	0	6	非出資	S28.11.13
小計	3		41	4	45	321,100	

2 漁業金融

(1) 漁業近代化資金

漁業近代化資金は、「漁業近代化資金の円滑な融通のためのガイドライン」を参考にした「東京都漁業近代化資金利子補給規則」（昭和 42 年規則第 118 号）に基づく。

この資金の目的は、漁業者等に対する長期かつ低利の資金の融通を円滑にし、漁業者等の資本装備の高度化を図り、その経営の近代化に資することである。その制度は、漁業者等に対する融資機関である東京都信用漁業協同組合連合会等に、都が利子の一部を補助（利子補給）するものである。

① 資金の種類

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 漁船資金 | 14 漁業経営資金 |
| 2 施設資金 | 15 組合経営改善資金 |
| 3 漁業用機具資金 | 16 てんぐさ漁業資金 |
| 4 漁具資金 | 17 信用事業強化対策資金 |
| 5 養殖資金 | 18 漁業特別対策資金 |
| 6 環境整備資金 | |
| 7 漁場改良造成施設等資金 | |
| 8 海浜等環境活用施設資金 | |
| 9 漁村給排水施設資金 | |
| 10 特定漁家住宅資金 | |
| 11 初度的経営資金 | |
| 12 密漁監視施設資金 | |
| 13 水産業労働力確保施設資金 | |

② 漁業近代化資金貸付状況 (30. 4. 1～31. 3. 31)

単位：千円

概要			承認月内訳								
資金種類	件	金額	4月	6月	7月	8月	9月	11月	12月	2月	3月
漁船	16	137,070		6,400	27,200	3,000	13,480	37,550	43,840	5,600	
その他	2	81,000	66,000								15,000
合計	18	218,070	66,000	6,400	27,200	3,000	13,480	37,550	43,840	5,600	15,000

③ 漁業近代化資金利子補給実績 (30. 1. 1～30. 12. 31)

単位：円

資金種類	金額
漁船資金	5,480,043
施設資金	222,839
漁具資金	826
養殖資金	0
海浜等環境活用資金	135,716
水産業労働力確保施設資金	0
漁業経営資金	0
組合経営改善資金	143,105
てんぐさ漁業資金	0
信用事業強化対策資金	0
漁業特別対策資金	0
計	5,982,529

④ 漁業近代化資金利子補給承認実績

単位：千円

年度	26	27	28	29	30
漁船関係	9件	3件	9件	9件	16件
	47,120	22,880	84,570	99,940	137,070
その他	2件	1件	0件	1件	2件
	38,000	3,000	0	1,350	81,000
計	11件	4件	9件	10件	18件
	85,120	25,880	84,570	101,290	218,070

(2) 沿岸漁業改善資金

沿岸漁業改善資金助成法（昭和 54 年法律第 25 号）が制定されたのに伴い、都でも東京都沿岸漁業改善資金貸付規則（昭和 54 年規則第 145 号）を制定した。沿岸漁業従事者に対し、経営若しくは操業状態又は生活の改善を目的に、近代化な漁業技術、漁ろう安全確保施設又は合理的な生活方式導入を自主的に促進させると同時に、漁業後継者が近代的経営方法を習得することを助長するために、資金の貸付けを行っている。

貸付利率 無利子

償還期間	1 経営等改善資金	2～10 年
	2 青年漁業者等養成確保資金	5～10 年

① 資金の種類

経営等改善資金

- 1 操船作業省力化機器等設置資金
- 2 漁ろう作業省力化機器等設置資金
- 3 補機関等駆動機器等設置資金
- 4 燃料油消費節減機器等設置資金
- 5 新養殖技術導入資金
- 6 資源管理型漁業推進資金
- 7 環境対応型養殖業推進資金
- 8 乗組員安全機器等設置資金
- 9 救命消防設備購入資金
- 10 漁船転覆防止機器等設置資金
- 11 漁船衝突防止機器等購入等資金
- 12 漁具損壊防止機器等購入資金
- 13 特認資金

青年漁業者等養成確保資金

- 1 研修教育資金
- 2 高度経営技術習得資金
- 3 漁業経営開始資金

② 沿岸漁業改善資金貸付状況

単位：千円

年度	融資枠	資金種類		件数	金額
24	47,000	経営等改善資金	燃料油消費節減	1	7,420
		青年漁業者等養成確保資金	漁業経営開始	1	8,000
		計		2	15,420
25	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金	漁業経営開始	1	19,600
		計		1	19,600
26	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金		0	0
		計		0	0
27	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金		0	0
		計		0	0
28	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金	漁業経営開始	1	18,000
		計		1	18,000
29	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金	漁業経営開始	1	3,400
		計		1	3,400
30	47,000	経営等改善資金		0	0
		青年漁業者等養成確保資金		0	0
		計		0	0

(3) 東京都漁業信用基金協会

ア 概要

本協会は、中小漁業融資保証法に基づき、中小漁業の振興を図ることを目的として昭和 50 年 10 月 1 日設立された。金融機関から資金の貸付けを受ける中小漁業者等の債務を協会が保証することにより、中小漁業者等が必要とする資金の円滑な融資を実現している。また、漁業金融面における漁業者の要望に対応するため、安全かつ有利な基金の運用を通じて信用力の補完を充実し、中小漁業金融の円滑化への役割を果たしている。

全国的な漁業生産量の低下、漁業者の高齢化に伴う就業者数の減少等から保証残高の減少等の影響が出ている中、国や漁業信用基金中央会は、全国 42 協会に対し、経営基盤の強化を行い信用保証業務が安定的に行えるよう、段階的な広域合併の取り組みを開始しており、第 1 次合併として、平成 29 年 4 月に全国 19 の協会が合併し「全国漁業信用基金協会」が設立された。

本協会は、平成 31 年 4 月に実施される第 2 次合併に参加し、全国漁業信用基金協会と合併する予定である。この第 2 次合併には全国 18 の協会が参加予定である。

イ 出資金

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

出 資 別	出資額 (千円)			出資比率 (%)		
	近代化	一般	計	近代化	一般	計
民 間	62,450	16,250	78,700	17.4	4.5	21.9
地方公共団体	220,900	59,850	280,750	61.5	16.6	78.1
合 計	283,350	76,100	359,450	78.9	21.1	100.0
民間内訳：漁協 17、都漁連、都信漁連、加工組合 2、漁業者 3、協同会社 1						
地方公共団体内訳：東京都、市町村 8						

ウ 保証内容

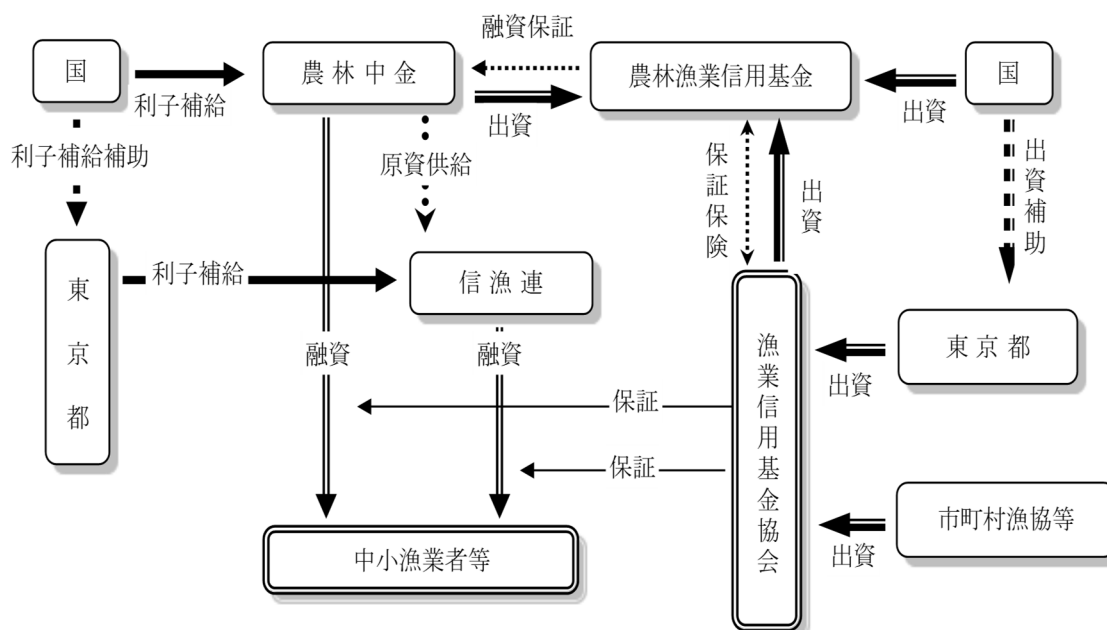
区 分	近代化資金	一般資金
対 象	(公) の近代化資金の個人	事業資金 (信漁連)
保 証 倍 率	出資金の 4 0 倍	出資金の 1 5 倍
保 証 料	0. 5 3 %	0. 8 5 %
保 証 期 間	貸付期間	貸付期間

エ 保証実績

(単位:千円)

区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
近代化資金	保証実績	件数 金額	53 338,970	45 282,290	47 315,590	53 352,344	59 469,988
	付保状況	件数 金額	43 328,120	35 272,730	39 308,600	46 347,324	53 465,558
一般資金	保証実績	件数 金額	2 57,750	3 41,500	3 21,250	3 5,200	3 18,815
	付保状況	件数 金額	2 57,750	3 41,500	3 21,250	2 4,000	2 17,700
保証実績合計		件数 金額	55 396,720	48 323,790	50 336,840	56 357,544	62 488,803

オ 制度の仕組み



3 ぎょしょく普及事業

東京産の水産物は、生産の主体が島しょ地域であり、生産の場と消費者の場が乖離していることなどから、都民に正しい情報が伝わりづらい環境にある。

このため、東京産水産物の魅力を都民に伝え、消費拡大を図るため、平成21年度から東京の水産物・水産業を介した食育活動を、教育現場をはじめ、様々な機会を活用し積極的に展開している。

○ 事業実績表

年度	事業内容	開催回数(回)	参加者数(人)
24	①東京の魚の食べ方プロデュース	80	707
	都民を対象とした料理教室	80	707
	②浜のかあさんと語ろう会	10	628
	③職員による出前講座	18	1,426
	合計	108	2,761
25	①浜のかあさんと語ろう会	10	633
	②職員による出前講座	13	955
	合計	23	1,588
26	①副教材の作成 (小学校4年生の社会科授業副教材「島のくらし」)	—	—
	②職員による出前講座	18	1867
27	HP「東京都「ぎょしょく」のへや」開設 (URL http://sakana.metro.tokyo.jp/) オンライン教材の公開、印刷教材のPDFファイルダウンロードの開始		

・「浜のかあさんと語ろう会」は、平成26年度より「水産物加工・流通促進対策事業」に移行。

○ 副教材『小学4年生社会科「島のくらし」』と印刷教材3種(HP「東京都「ぎょしょく」のへや」に掲載)



○ 参考

東京産水産物の東京都学校給食会への出荷数量 (ムロアジ・トビウオ・メダイ) (単位: kg)

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
20,674	21,814	24,743	20,990	23,590	20,813	16,805

4 水産物加工・流通促進対策事業

東京の島しょ海域では、中級魚の漁獲量が減少している反面、資源量は豊富であるが市場が小さく大量に獲れた場合に安価になるものや、サイズが小さく規格外で売れないものなどがある。

一方、水産資源は加工することで、高付加価値、安定供給が可能になるとともに、多様な魚種の利用が中級魚への漁獲圧力を低減させる効果がある。

このため、平成25年度から水産資源を活用した加工品の開発とその販路開拓を支援し、水産資源の持続的な利用と都民への水産物の安定供給を図るため、水産物加工・流通促進対策事業を展開している。

また、平成29年度から島外販売に向けた商品の企画開発、販路拡大、量産体制の整備を行い、水産加工団体の経営力強化を図ることを目的とした、水産加工経営強化促進事業を介開始した。

○ 事業実績

水産物加工・流通促進対策事業

(1) 総合対策（専門家による指導）

- ・水産加工団体が抱える技術や組織の課題等を解決するため、専門家を派遣した。

実施主体 神津島漁協、八丈島水産加工業協同組合

(2) 消費・流通対策（学校給食への対応）

- ・浜のかあさんと語ろう会

漁村の女性を講師として都内14校への小中学校に派遣。魚のさばき方などの講習を実施。

(813名参加)

- ・栄養士等を対象とした生産現場研修会

栄養士等の給食職員と生産者団体の連携の機会を提供し、給食用の新品目の開拓や利用拡大を図った。

水産加工経営強化促進事業

単位：千円

年度	実施内容	事業主体	事業費
29	島外への販路拡大 量産体制の確立	伊豆大島漁協	3,309
	競争力のある商品の開発 島外への販路拡大 量産体制の確立	新島水産加工業協同組合	1,500
	競争力のある商品の開発	八丈島漁協女性部	1,767
30	島外への販路拡大 量産体制の確立	伊豆大島漁協	666
	競争力のある商品の開発	八丈島漁協女性部	1,848

5 離島漁業再生支援事業

集落協定に基づき、漁業集落が実施する漁場の生産力の向上や、観光業など島のお他産業と連携した取組を支援することにより、島しょの主要産業である漁業を活性化させて、地域の底上げを図るとともに水産業・漁村の多面的機能の維持増進に資する。

○ 取組概要

平成31年3月31日現在

		大島町	新島村	神津島村	三宅村	御蔵島村	小笠原村
集落協定数		2	1	1	1	1	2
協定参加世帯数		111	36	98	33	24	64
向上に関する取組 漁場の生産力の	種苗放流					●	
	漁場の管理・改善	●		●		●	
	産卵場・育成場の整備			●	●		
	漁場監視	●	●			●	●
	その他						
創意工夫を生かした取組	新たな漁具・漁法の導入			●		●	●
	新規漁業への着業			●			
	低・未利用資源の活用	●	●	●	●		
	品質の均一化に向けた取組					●	
	高付加価値化				●	●	
	流通体制改善			●			●
	販路拡大	●			●	●	●
	その他	●		●			
新規就業者に関する取組							
漁船の貸与				●		●	
事業費（単位：千円）		15,822	5,038	13,503	8,296	1,752	10,427

事業費負担区分：国2/4、東京都1/4、町村1/4

6 水産物認証取得支援事業

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における食材等の調達コード（方針）が平成 29 年 3 月に公表された。水産物については、環境負荷が少なく適切な資源管理下の漁業による漁獲物であることが基準の一つとして定められ、MEL^{※1}やMSC^{※2}などの「水産認証」を取得していることが要件となった。

東京都は、同大会での都内産水産物の提供に向け、平成 28 年度から都内認証取得対象者への認証取得に要する費用を支援している。

※1 MEL (Marine Eco-Label Japan) : 日本発の水産エコラベル

※2 MSC (Marine Stewardship Council) : イギリス発の水産エコラベル

○ 支援対象となる事業のしくみ

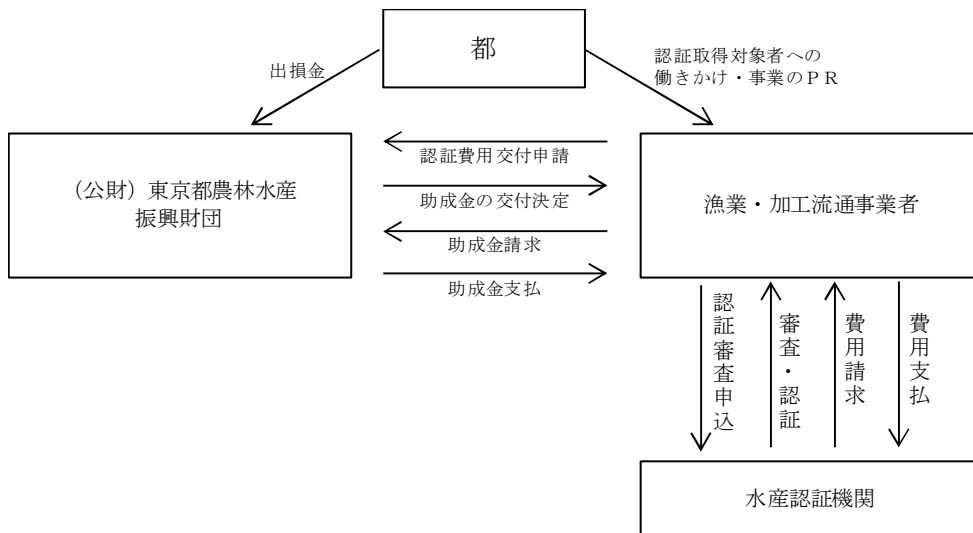
(1) 生産段階認証

環境負荷が少なく適切な資源管理下で行われているとされた漁業とその魚種に与えられる認証。

(2) 流通加工段階認証 (C o C 認証)

生産段階認証を取得した魚種を取扱うサプライヤー（卸会社など）において、当該魚種の受け入れから出荷まで他産地産と混ざらない等のトレサビリティが確保されていることを認証する。

○ 事業のしくみ



○ 事業実績

実施内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生産段階認証	取得実績無し	1 伊豆諸島とびうお流し刺し網漁業 2 小笠原諸島縦縄漁業 3 伊豆諸島棒受網漁業	4 伊豆・小笠原諸島一本釣り漁業 5 伊豆諸島タカベイサキ刺網漁業 6 伊豆諸島採藻漁業 7 多摩川シジミ漁業
流通加工段階認証	取得実績無し	取得実績無し	1～7の流通加工段階認証（2件）

V 漁業補償対策

1 漁業共済

(1) 漁業災害補償制度

ア 制度の発足と改正

漁業災害補償制度は、昭和 39 年に施行された漁業災害補償法に基づき、経営基盤が脆弱な中小漁業者を対象として、沿岸・近海漁業の気象や海況の変化等によって生じる不慮の事故による損失の補償について、国が不漁対策の一環として施策に位置づけたことに始まった。その後、昭和 63 年の漁協一括加入方式の導入など数度の改正を経て、収支均衡のとれる漁業共済制度へと改善が図られてきた。

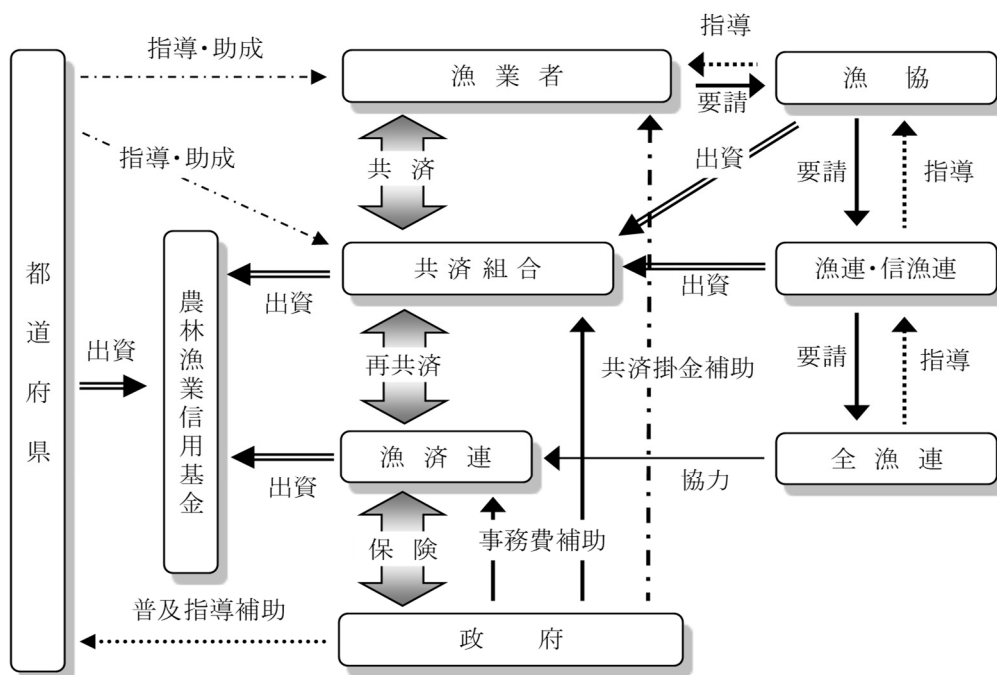
新海洋秩序下における漁業は漁獲競争の時代から協調による資源管理の時代へと移行しているが、人知を超えた資源の変動や魚価安等により漁業経営は圧迫されており、漁業共済の果たすべき役割は増大している。

このような状況下において、加入要件の緩和、共済対象の拡大等により加入促進を図るとともに、平成 23 年度からの漁業収入安定対策事業など、本制度は適宜改正され、漁業経営の安定に貢献している。

イ 制度の目的

中小漁業者の営む漁業について、異常の事象又は不慮の事故による損失を補てんし、漁業再生産の阻害の防止及び漁業経営の安定に資することを目的としている。

ウ 制度の仕組み



エ 漁業共済の種類

漁業共済	漁獲共済	不漁等を原因とする漁獲金額の減少による損失を補償 (収穫高保険方式)	1号漁業	採貝・採藻業(わかめ、こんぶ、てんぐさ、あわび)
			2号漁業	漁船漁業及び定置漁業
	養殖共済	養殖水産動植物の死亡、流失等による損害を補償 (物損保険方式)	貝類	かき養殖業
				1・2年貝真珠養殖業
			魚類	1～3年魚はまち養殖業
				1～3年魚たい養殖業
				ぞけ・ます養殖業
				2・3年魚ふぐ養殖業
				1～3年魚かんばち養殖業
				ひらめ養殖業
				1～3年魚すずき養殖業
				2・3年魚ひらまさ養殖業
				まあじ養殖業
				1～3年魚しまあじ養殖業
				2～5年魚まはた養殖業
すぎ養殖業				
まさば養殖業				
2～5年魚くろまぐろ養殖業				
2～4年魚めばる養殖業				
かわはぎ養殖業				
特定養殖共済	特定の養殖業について、品質低下等を原因とする生産金額の減少による損失を補償 (収穫高保険方式)	藻類	のり等養殖業	
			わかめ養殖業	
			こんぶ養殖業	
		貝類等	真珠母貝養殖業	
			ほたて貝等養殖業	
			特定かき養殖業	
			くるまえび養殖業	
うに養殖業				
ほや養殖業				
漁業施設共済	供用中の養殖施設又は定置網等の損壊等による損害を補償 (物損保険方式)	養殖施設	浮流し式養殖施設	
			はえ縄式養殖施設	
			くい打ち式養殖施設	
			いかだ	
			網いけす	
		漁具	定置網	
まき網				

(2) 漁業共済の現況

ア 加入区の設定

加入区は、漁業災害補償法に基づき、知事が漁業権、漁業種類等を基準として一定の水域、区域及び区分を定めるものであり、現在、都島しょ地区においては、漁協単位に次表の加入区数が設定されている。

	第 1 号 漁 業 (てんぐさ採藻業)	第 2 号 漁 業 (漁船・定置漁業)
大 島 支 庁 管 内	5	5
三 宅 支 庁 管 内	1	1
八 丈 支 庁 管 内	1	1
小 笠 原 支 庁 管 内	-	2

イ 共済事業

(ア) 全国合同漁業共済組合

設 立 平成 18 年 10 月

出資金 797,780,000 円

組合員 組合及び連合会(秋田県、山形県、福島県、茨城県、東京都、神奈川県、静岡県、新潟県、福井県、愛知県、京都府、大阪府、和歌山県、岡山県、鳥取県、島根県、山口県、高知県、大分県、沖縄県)

東京都事務所

住 所 〒108-0075 港区港南 4-7-8 TEL 03 (3458) 9811

組合員 組合(伊豆大島、元町、利島村、にいじま、神津島、三宅島、八丈島、小笠原島、小笠原母島)
連合会(都漁連、都信漁連)

(イ) 事業の状況

全国合同漁業共済組合は、漁業共済組合の区域の広域化により、経営基盤の強化、運営コストの削減、漁業者サービスの向上を図ること目的として、平成 18 年 10 月に 7 府県の漁業共済組合が合併し設立された。

東京都漁業共済組合は、平成 21 年 10 月 1 日に全国合同漁業共済組合と合併し、東京都事務所として、都島しょ地区における漁獲共済及び漁業施設共済に係る事業を実施している。

都島しょ地区においては、資源の減少や不漁・魚価安などにより漁獲金額が減少する傾向にあり、漁業共済制度の重要性は増大している。

平成 30 年度の漁獲共済の引受実績は、契約件数が 76 件、共済金額は第 1 号漁業(てんぐさ採草業) 12,138 千円、第 2 号漁業(漁船漁業・定置漁業) 523,471 千円、合計 535,610 千円で、前年度の 467,885 千円と比べ 14%増であった。また、支払実績は、支払件数が 29 件、支払共済金は 13,796 千円で、前年度の 10,165 千円と比べ 35%増であった。

一方、平成 30 年度の漁業施設共済の引受実績は、契約件数が 1 件、共済金額は 16,951 千円で、前年度の 56,816 千円と比べ 70%減であった。支払実績は 2 件 6,331 千円であった。

○ 漁業共済の引受・支払実績（30年度実績）東京都分

・漁獲共済

（単位：千円）

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増△減
契約件数（件）		76	79	△3
共 済 限 度 額		1,607,530	1,483,654	123,876
共 済 金 額		535,610	467,885	67,725
掛 金	純 掛 金	25,356	22,813	2,543
	付 加 掛 金	4,747	4,172	575
	総 掛 金	30,103	26,985	3,118
国 庫 補 助 金		22,590	19,924	2,666
契約者負担額		7,513	7,061	452
支払件数（件）		29	25	4
支払共済金		13,796	10,165	3,631

・漁業施設共済

（単位：千円）

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増△減
契約件数（件）		1	4	△3
共 済 価 額		56,505	177,168	△120,663
共 済 金 額		16,951	56,816	△39,865
掛 金	純 掛 金	1,735	4,769	△3,034
	付 加 掛 金	193	650	△457
	総 掛 金	1,929	5,419	△3,490
国 庫 補 助 金		867	2,261	△1,394
契約者負担額		1,061	3,157	△2,096
支払件数（件）		2	1	1
支払共済金		6,331	29,391	△23,060

2 漁船保険

(1) 漁船保険制度

ア 制度の目的

漁船損害等補償法に基づき、漁船が不慮の事故による損害や漁船の運航に伴う不慮の費用負担などを、保険の仕組みを通じて漁業者が相互にてん補し合い、漁船の復旧や更新を容易にすることにより、漁業経営の安定を図ることを目的とする。

イ 漁船保険の種類

漁船保険	普通	普通損害保険	漁船につき、滅失、沈没、損傷その他の事故(戦乱等によるものを除く。)により生じた損害をてん補する。
	満期保険	満期保険	漁船につき、滅失、沈没、損傷その他の事故(戦乱等によるものを除く。)により生じた損害をてん補するとともに、保険期間が満了した場合に保険金額相当の保険金を支払う。
		特殊保険	漁船につき、戦乱等による滅失、沈没、損傷その他の事故により生じた損害をてん補する。
漁船船主責任保険			漁船の運行に伴って生じた不慮の費用及び損害賠償責任に基づく損害(戦乱等によるものを除く。)を補償する。
		基本損害	人命及び乗客損害以外の自己が負担しなければならない費用の負担又は自己の賠償責任に基づく賠償
		人命損害	漁船の運行に伴って生じた当該漁船の乗組員の死亡等に対する労働協約等に基づく支払い
		乗客損害	漁船の運行に伴って生じた当該漁船の利用者の死亡等の事故により生じた損害の賠償又は費用の負担
漁船乗組船主保険			漁船の運行に伴って、乗組船主に死亡その他の事故が生じた場合(戦乱等によるものを除く。)に一定の金額を支払う。
漁船積荷保険			漁船に積載した漁獲物等につき、滅失、流失、損傷その他の事故(戦乱等によるものを除く。)により生じた損害をてん補する。

任意保険	プレジャーボート責任保険	スポーツ又はレクリエーションの用に供する小型の船舶(プレジャーボート)の運行に伴い、プレジャーボートの所有者が負担する次の損害をてん補する。 ・漁船その他の船舶等に対する賠償責任に基づく賠償による損害 ・漁船その他の船舶によるプレジャーボート又はその乗組員の捜索又は救助に要した費用負担による損害
	転載積荷保険	漁船により漁獲され漁船以外の船舶で漁場から運搬中の漁獲物又はその製品につき、滅失、流失、損傷その他の事故により生じた損害をてん補する。

(2) 漁船保険の現況

ア 日本漁船保険組合 東京都支所

住所 〒108-0075 港区港南4-7-8 TEL 03(3458)1433

組合員 660名 (平成30年3月31日現在)

イ 事業の状況

日本漁船保険組合は、平成29年4月1日に施行された改正法に基づき、各県の漁船保険団体の新設合併により全国統一組織として設立された。普通損害保険を中心に業務を行っている。

近年は自動操舵の普及により衝突事故が多発していることに伴い、漁船船主責任保険等の保険についても普及・加入促進を図る必要性が増大している。

また、平成11年の法改正により新たな保険需要に対応するため任意保険が創設され、特にプレジャーボート責任保険の加入促進を図っている。

(ア) 漁船保険

① 普通保険

(a) 普通損害保険

平成30年度の引受実績は、加入隻数731隻、総トン数8,135トン、保険金額6,861,551千円、保険料102,448千円であった。このうち、義務加入は594隻、3,302トンであった。

保険金支払実績は、事故件数60隻、支払保険金46,901千円であった。

(b) 満期保険

本年度引受実績はなかった。

(イ) 漁船船主責任保険

① 基本損害：加入隻数724隻、保険金額191,870,000千円、保険料19,378千円
事故件数3件、支払保険金4,235千円

② 人命損害：加入隻数48隻、保険金額398,500千円、保険料557千円
本年度支払実績はなかった。

③ 乗客損害：加入隻数204隻、保険金額110,300,000千円、保険料6,220千円
本年度支払実績はなかった。

(ウ) 漁船乗組船主保険

加入隻数50隻、保険金額144,500千円、保険料197千円

本年度支払実績はなかった。

(エ) 漁船積荷保険

本年度引受実績はなかった。

(オ) 任意保険

① プレジャーボート責任保険

加入隻数174隻、保険金額66,990,000千円、保険料3,202千円

本年度支払実績はなかった。

② 転載積荷保険

本年度引受実績はなかった。

○ 普通損害保険の引受・支払実績

・ 保険引受実績

(金額：千円)

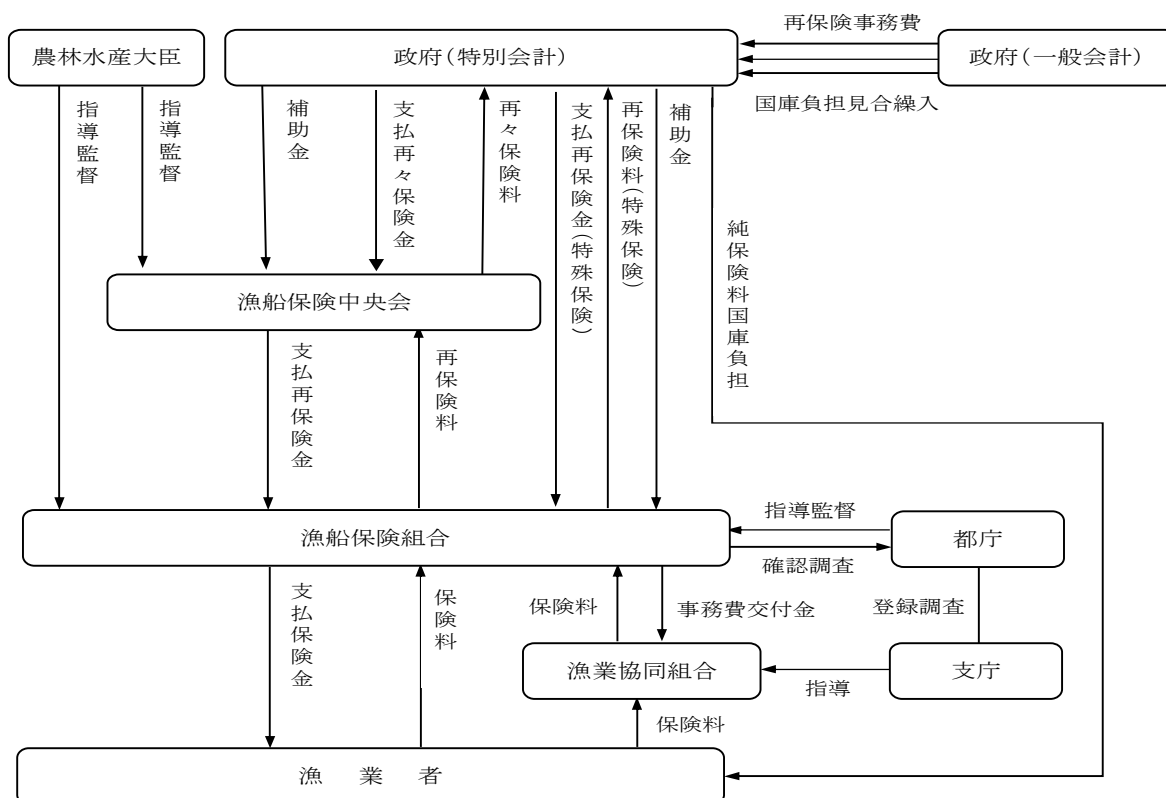
区 分	在籍漁船数	加入隻数	トン数	保険価額	保険金額	保険料
平成 30 年度	960	731	8,135	12,053,190	6,861,551	102,448
平成 29 年度	979	742	8,103	11,217,920	6,186,830	102,392
増△減	△19	△11	32	835,270	674,721	56

・ 保険金支払実績

(金額：千円)

種 別	平成 30 年度		平成 29 年度		増△減	
	隻数	金額	隻数	金額	隻数	金額
全 損	1	580	2	3,100	△1	△2,520
分 損	54	45,915	66	30,378	△12	15,537
救助費	5	406	2	170	3	236
合 計	60	46,901	70	33,648	△10	13,253

○ 制度の仕組み



3 漁業公害

(1) 漁業公害の現状

昭和 30 年代後半からの急激な産業の発展と社会生活の変化は、漁業環境を著しく悪化させた。すなわち、埋め立て等による水面の喪失をはじめとして、油の流出、産業廃棄物や生活廃棄物の投棄、汚排水の流入等により、漁場汚染は深刻化し、大都市近郊のみならず、全国の沿岸や内水面水域まで波及した。

都の所管する水面のうち、内湾は漁場の埋め立てや水質汚濁により、漁場の喪失や資源量の減少、有害物質による汚染が深刻化していたが、近年、公害規制の強化により漁場環境は回復の兆しもみえてきている。しかし、各種排水の流入による富栄養化現象は持続しており、慢性的な赤潮も依然として続いている。また、河川流域の都市化に伴う雑排水等の流入により、水質環境が悪化していた内水面についても、近年、下水道等都市施設の整備により水質も改善されてきているが、都内中小河川の中には水産生物の生息限界以上に汚染されているところもある。

島しょ海域は、廃油ボールやゴミ等の漂流、漂着による漁場被害が多発し、磯根資源はもちろん、この海域に浮遊しているプランクトン類、有用水産生物の卵稚仔等への影響が懸念されていたが、近年、廃油等による被害も減少傾向にある。

(2) 漁業公害対策の経緯

PCB、水銀の食品汚染が社会問題化したため、昭和 47 年度から PCB 汚染調査を、昭和 48 年度から水銀汚染調査を一部国の委託調査として実施。

・ PCB の自主規制について

昭和 47 年度の調査結果から、内湾のスズキ、コノシロ、ボラから暫定的規制値を超える PCB が検出されたため、都は漁業者に対し、漁獲の自主規制を要請した。

スズキは昭和 51 年 7 月、ボラは昭和 60 年 2 月、コノシロは昭和 62 年 8 月にそれぞれ漁獲の自主規制を解除した。

・ 水銀の自主規制について

昭和 48 年、都は市場関係者に対し、入荷の自主規制を要請した。その後の調査により、60cm 以下のスズキについては、汚染の恐れがないとして、昭和 50 年 9 月に入荷の自主規制を解除した。

・ 有害物環境調査について

現在、東京湾産の魚介類については、60cm 以上のスズキに対する入荷の自主規制措置が残っているが、基準値を超える検体が検出されてこなかったため、有害物環境調査は平成 9 年度をもって終了した。

なお、東京都内市場に流通する魚介類の汚染状況（水銀、PCB、TBTO）及び東京湾産魚介類の化学物質汚染実態調査結果（ダイオキシン類及び内分泌かく乱作用の疑われる化学物質）については、引き続き福祉保健局で調査を実施している。

・ 漁業公害調査指導について

昭和 49 年度から国の指導のもとに、漁業関係者による調査及び監視体制の整備が全国的規模で始まった。都では、漁業上重要な水域である伊豆諸島及び多摩川上流水域を対象として、昭和 50 年 10 月から漁業公害調査指導を開始した。

・ 漁場油濁被害救済制度の設立について

原因者不明の油濁被害に対する救済制度を担うため、昭和 50 年 3 月に財団法人漁場油濁被害救済

基金を国が設立（平成23年10月に社団法人海と渚環境美化推進機構と合併、平成25年4月に公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構となる）。都も費用拠出している。

（3）漁場油濁被害対策（漁場油濁被害共済基金助成）

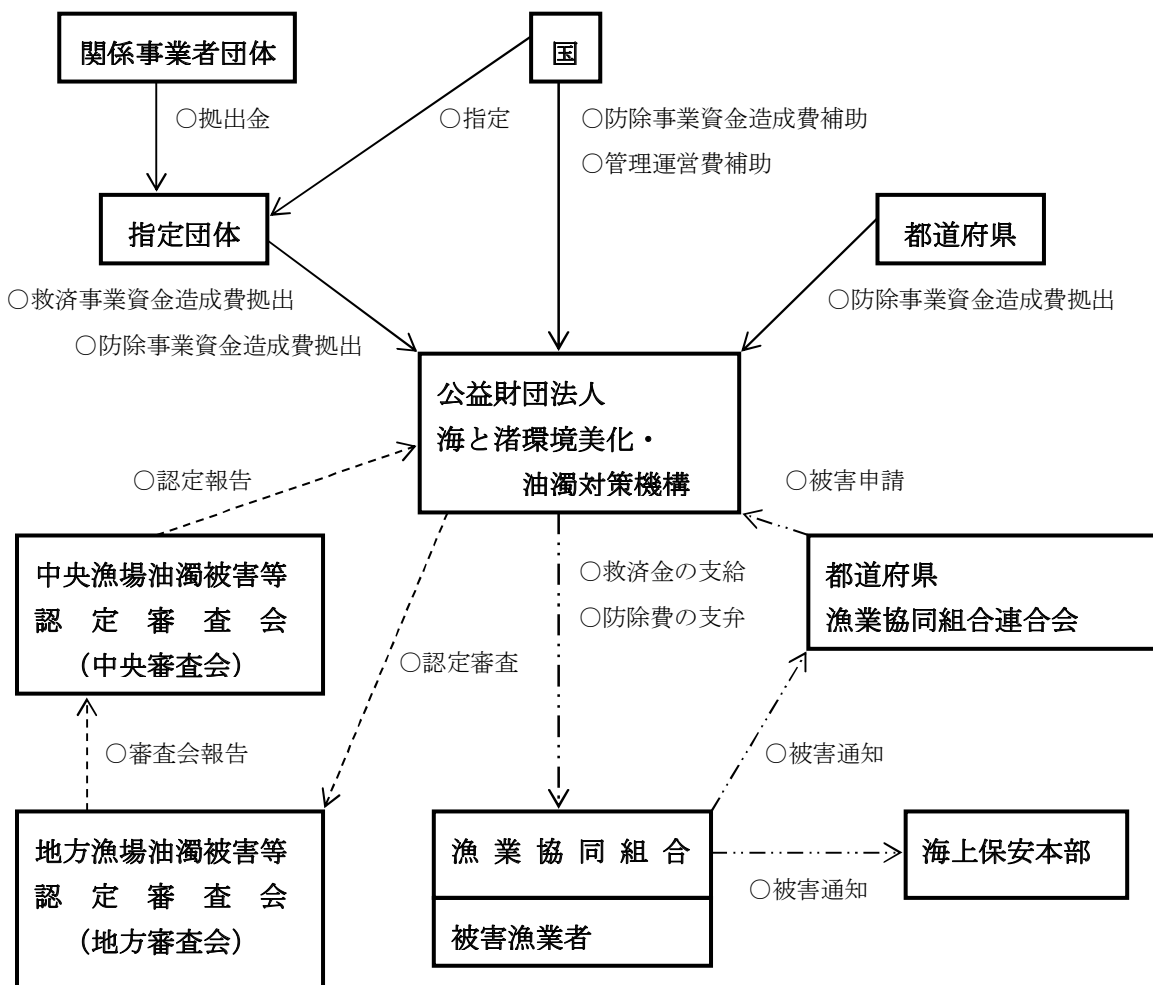
ア 目的

船舶、工場等から流出し、又は排出される油による漁場油濁であって、その原因者が判明しないものについて、被害漁業者に対する救済金の支給を行うとともに、漁場油濁の拡大の防止及び汚染漁場の清掃を推進する措置を講ずることにより、被害漁業者の迅速な救済と漁場の保全を図り、もって漁業経営の安定に資することを目的とする。

イ 内容

上記目的を達するため、事業主体として、公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構が設立された。基金は原因者が判明しない漁場油濁による被害漁業者に対する救済金の支給、防除費・清掃費の助成、漁場油濁の防止に関する調査及び知識の啓発普及等を行い、事業に要する費用は国の補助金、関係都道府県からの拠出金、産業界からの協力をもって充てる。

原因者不明漁場油濁被害対策の仕組み



(4) 漁業公害調査指導

ア 目的

都における漁場環境の監視、漁業公害に関する情報及び被害の防除措置に関する指導等を行うことにより、沿岸及び内水面漁場の保全を図り、もって漁業経営の安定に資することを目的とする。

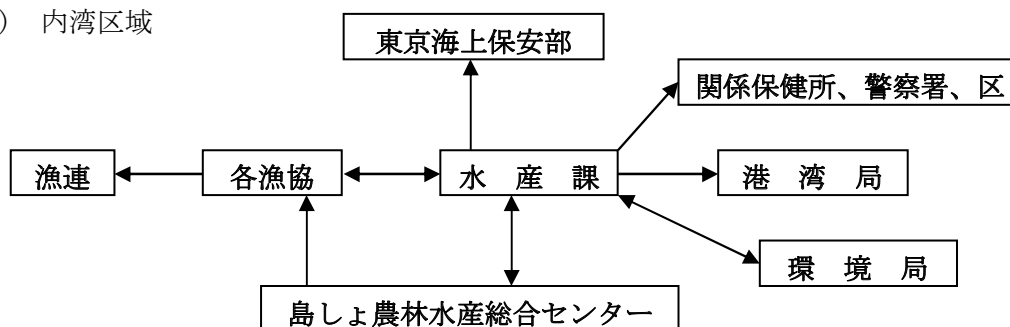
イ 内容

都が沿岸及び内水面において、漁業協同組合等の協力を得て、漁場環境の監視及び漁業公害に関する情報の収集を行うとともに、漁業者に対し被害発生時において緊急に措置すべき事項に関し指導する事業であり、昭和50年10月から事業を開始した。

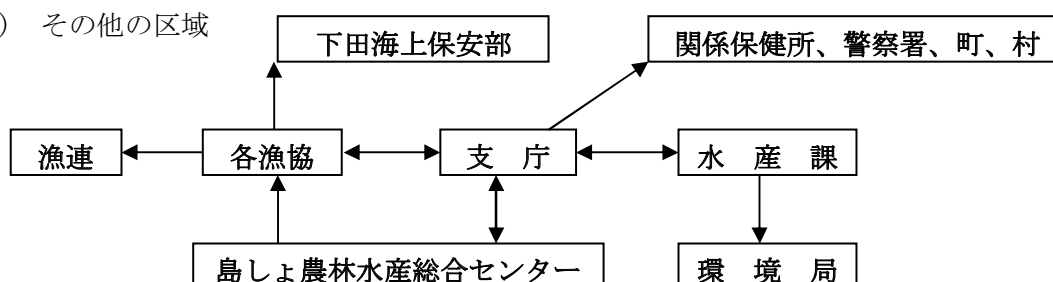
通報連絡体制

1 沿岸

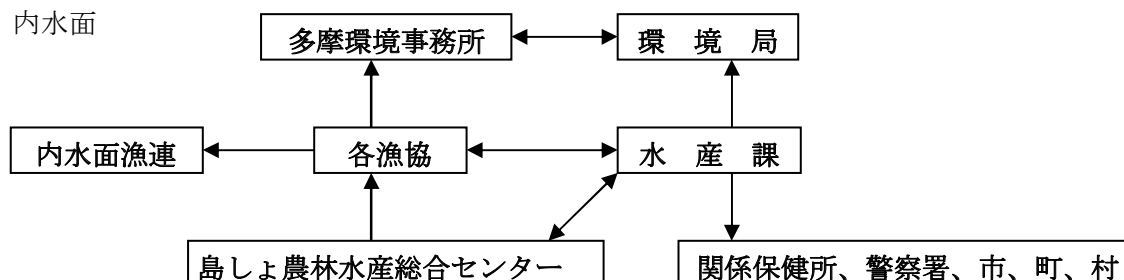
(1) 内湾区域



(2) その他の区域



2 内水面



4 東京産水産物の放射性物質検査

(1) 経緯

平成23年3月の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所での事故により、東日本の各地で放射性物質が検出され、農畜水産物は風評被害など大きな影響を受けている。

このため都は、事故直後から東京産水産物の放射性物質の検査に着手し、水産物の安全性と消費者の安心の確保に努めている。

(2) 検査結果

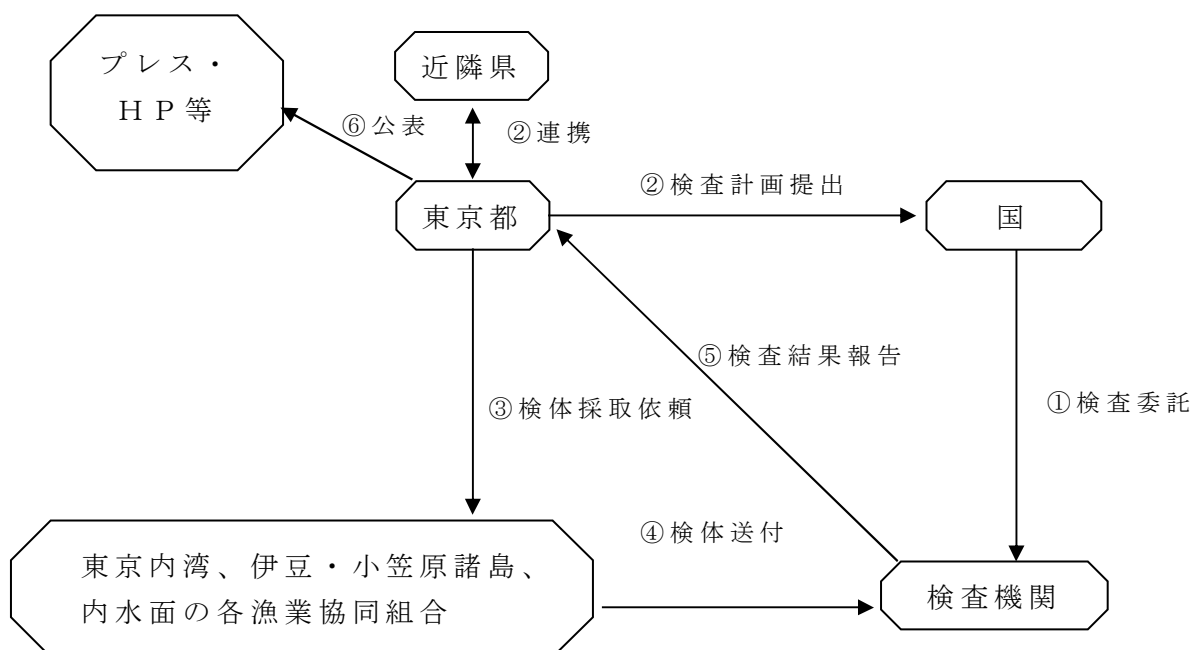
平成30年度に行った東京産水産物の検査では、43検体の全てが規制値未満であった。

※ 水産物の放射性セシウムの基準値は、セシウム-134 と 137 の合計で 100Bq/kg

検体数内訳

海産対象種	8種	ハマビウオ	ムロアジ	キンメダイ	イサキ
		1	2	3	1
16検体		ケンサキイカ	スズキ	アサリ	カンパチ
		1	4	3	1
内水面対象種	3種	ヤマメ	アユ	ヤマトシジミ	
	27検体	5	2	20	

(3) 東京産水産物の放射性物質検査体制



5 演習補償

制限水域名	内容		面積	対象漁協	備考
野島崎南方 及び大島東方	米軍チャーリー水域		3,712.62km ²	神津島	対象期間 周年
新島南方	自衛隊ミサイル		172km ²	大島（2漁協）・利 島・新島・神津島・ 三宅島・御蔵島	禁止期間 H30.10.10～10.23
硫黄島周辺	米軍制限水域		74.01km ²	小笠原（2組合）	対象期間 周年
	自衛隊 演習水域	掃海訓練	13.31km ²	小笠原（2組合）	禁止期間 H30.6.16～6.25
		エアクッション 艇訓練	2.18km ²		H30.6.1～6.4、 9.10～9.13、 12.10～12.13、 H31.2.3～2.6
3 地域				9 漁協	

VI 行政委員会

1 海区漁業調整委員会

(1) 委員会の設置根拠等

① 設置根拠（漁業法第84条）

海区漁業調整委員会は、漁業法に基づき農林水産大臣が定める海区ごとに設置されている。東京都では1海区が指定されている。

② 委員会の構成（漁業法第85条）

委員会は、15名の委員をもって組織し、漁業者の直接選挙によって選ばれた漁民代表委員9名、知事によって選任された学識経験委員4名及び公益代表委員2名で構成されている。

③ 委員会の目的

漁業生産力の発展と漁業の民主化という漁業法の目的を達成するために、海区の漁業調整を図っていくことを目的としている。

④ 権限と機能

委員会は、漁業権の免許、許可等について知事に意見を述べ、入漁権の設定、変更、消滅の裁定、委員会指示など漁業調整に関する広範な権限を有している。

その主な機能を大別すると、①知事諮問に意見を述べる（答申事項）、②知事に対し建議する（建議事項）、③独立した決定機関として指示、裁定、認定をする（決定事項）がある。

注： 漁業法の改正に伴い、平成16年8月5日に東京都内湾海区、東京都島部海区、小笠原海区の3海区漁業調整委員会が統合され、東京海区漁業調整委員会として発足した。

(2) 委員会開催実績（平成30年度）

① 東京海区漁業調整委員会

会議名	開催年月日	議 題 等
委員会 (第108回)	30. 5. 11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漁業法第96条に基づく委員の辞職の認定について ○ 小笠原海域におけるまぐろはえ縄漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 小笠原海域におけるかつお・まぐろ釣り漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 小笠原海域における造礁さんご漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 伊豆諸島海域における中型まき網漁業の許可の有効期間について（知事諮問） ○ 小笠原海域におけるそでいか漁業の委員会指示について
委員会 (第109回)	30. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条第7項に基づく東京都計画の変更について（知事諮問） ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条第1項に基づく東京都計画（クロマグロTACに関する東京都計画）の樹立について（知事諮問） ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律施行細則の一部改正について ○ 小笠原海域における遊漁による底魚、かつお及びまぐろの採捕に係る委員会指示について ○ 水産庁による水産政策の改革への意見について（全漁調連照会）
委員会 (第110回)	30. 7. 11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年における底立てはえ縄漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 千葉・東京及び一都三県連合海区漁業調整委員会の代表委員の選出について
委員会 (第111回)	30. 9. 11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伊豆諸島海域における火光利用さば漁業及びあじ・さば棒受け網漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 伊豆諸島海域におけるかにかご漁業の委員会指示について ○ 全国海区漁業調整委員会連合会の要望提案事項について
委員会 (第112回)	30. 10. 31	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条第7項に基づく東京都計画（クロマグロTACに関する東京都計画）の変更について（知事諮問） ○ 伊豆諸島海域におけるとびうお流し刺し網漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 伊豆諸島海域におけるいきえさの使用制限の委員会指示について ○ 伊豆諸島海域における浮きはえ縄漁業の委員会指示について
委員会 (第113回)	30. 11. 28	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条第7項に基づく東京都計画の変更について（知事諮問） ○ 東京海区における遊漁によるひき縄釣りの委員会指示について ○ 島しょ海域における火光利用とびうお漁業の委員会指示について ○ 伊豆諸島海域におけるいか釣漁業の委員会指示について
委員会 (第114回)	31. 1. 9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八丈島近海漁場に設置した浮魚礁の漁業の制限に係る委員会指示について ○ 伊豆諸島におけるはご釣漁業の委員会指示について ○ 東京湾横断道路木更津人工島「海ほたる」周辺海域における水産動植物の採捕及び遊漁船業の案内の禁止に係る一都二県連合海区漁業調整委員会指示第14号（案）について
委員会 (第115回)	31. 2. 7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条第7項に基づく東京都計画の変更について（知事諮問） ○ 東京都海面におけるさんご漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 小笠原海域における底魚一本釣り漁業の許可等の最高限度及び許可の有効期間について（知事諮問） ○ 大野原島周辺漁場におけるたかべ刺し網漁業の許可の有効期間について（知事諮問） ○ 東京海区におけるうみがめの採捕制限の委員会指示について
地区協議会 (大島地区)	30. 11. 13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年漁期はまとびうお数量目標について ○ 各地区の懸案事項について
地区協議会 (内湾地区)	31. 1. 21	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京湾横断道路木更津人工島「海ほたる」周辺海域における水産動植物の採捕禁止に係る一都二県連合海区漁業調整委員会指示第14号について ○ 地区の懸案事項について
地区協議会 (小笠原地区母島)	31. 2. 21	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小笠原地区の懸案事項等について
地区協議会 (小笠原地区父島)	31. 2. 23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小笠原地区の懸案事項等について

② 海面利用小委員会

会議名	開催年月日	議 題 等
小委員会 (第1回)	30. 6. 8	○ 小笠原海域の遊漁による底魚、かつお及びまぐろの採捕制限に係る委員会指示の発動について
小委員会 (第2回)	30. 10. 31	○ 東京海区におけるいきえさを使用した釣漁法の制限に係る委員会指示の発動について ○ 東京海区における遊漁者によるひき縄釣の制限に係る委員会指示の発動について
小委員会 (第3回)	30. 11. 28	○ 東京湾横断道路木更津人工島「海ほたる」周辺海域における水産動植物の採捕禁止及び遊漁船業の禁止に係る一都二県連合海区漁業調整委員会指示第14号(案)について

③ 連合海区漁業調整委員会

会議名	開催年月日	議 題 等
千葉・東京 連合海区	30. 9. 11	○ 千葉県海面における火光利用さば漁業及び敷網漁業(あじ・さば棒受網漁業)の調整方式について ○ 東京都海面における火光利用さば漁業及びあじ・さば棒受網漁業の調整方式について
一都三県 連合海区	30. 9. 12	○ 平成31年漁期における火光利用さば漁業の調整について ○ 平成31年漁期におけるあじ・さば棒受網漁業の調整について
一都二県 連合海区	30. 11. 26	○ 東京湾横断道路木更津人工島「海ほたる」周辺海域における水産動植物の採捕禁止及び遊漁船業の禁止に係る一都二県連合海区漁業調整委員会指示第14号(案)について ○ 委員会指示第14号(案)の発動までの手続き等について ○ 次期会長海区について

(3) 東京海区漁業調整委員会委員名簿

令和元年11月現在

委員区分	氏名	経歴及び役職等
公選	○ 田中國治	八丈島漁業協同組合代表理事組合長
	菊池勝貴	小笠原島漁業協同組合代表理事組合長
	浜川祝男	神津島漁業協同組合代表理事組合長
	平賀秀明	前小笠原母島漁業協同組合代表理事組合長
	小島一則	東京東部漁業協同組合相談役
	橋本竹男	元町漁業協同組合代表監事
	関 恒美	三宅島漁業協同組合代表理事組合長
	大沼清志	にいじま漁業協同組合副組合長理事
	丸 裕二	芝漁業協同組合代表監事
学識経験	馬場 治	東京海洋大学教授
	岩田光正	元東京都水産試験場長
	井上 潔	(一社)全国水産技術者協会理事長
	◎ 有元貴文	東京海洋大学名誉教授
公益代表	前田福夫	利島村長
	山下奉也	八丈町長

◎ 会長
○ 会長代理

任期 { 公選委員 平成28年8月 5日～令和2年8月 4日
学識経験・公益代表委員 平成28年8月25日～令和2年8月24日

(4) 海面利用小委員会

遊漁者等を対象とした委員会指示の発動に際して、遊漁と漁業との円滑な調整、調和ある漁場利用等のため、遊漁等海洋性レクリエーションの知見を持った専門委員から意見を聴取する。

専門委員

氏名	経歴及び役職等
飯島正宏	東京湾遊漁船業協同組合理事長
浜川一清	神津島遊漁船組合組合長
若林 務	NPO法人ジャパングームフィッシュ協会 (JGFA) 理事
奥山政夫	(株)水中造形センター取締役副社長
宮田茂樹	(一社)東京諸島観光連盟専務理事

2 内水面漁場管理委員会

(1) 委員会の設置根拠等

① 設置根拠

内水面漁場管理委員会は、漁業法第 130 条に基づき、都道府県に置くことになっている。また、地方自治法第 180 条の 5 の規定により、執行機関として都道府県に置かねばならない委員会となっている。

② 委員会の構成

委員会は、漁業法第 131 条に基づき、漁業を営む者を代表する委員（漁業者代表）、水産動植物の採捕をする者を代表とする委員（遊漁者代表）及び学識経験委員をもって構成されており、都道府県知事が選任する。

③ 委員会の目的

内水面における水産動植物の採捕及び増殖に関する事項を処理するために、漁業調整機構の運用により水面の総合的な利用を図っていくことを目的としている。

④ 権限と機能

漁業調整に対する広範な権限を有し、漁業権の免許、許可等について知事に意見を述べ、入漁権の設定、変更、消滅の裁定、委員会指示等、民主的な漁業調整を行う。

その主な機能を大別すると、①知事の諮問に意見を述べる（答申事項）、②知事に対し建議する（建議事項）、③独立した決定機関として指示、裁定、認定をする（決定事項）がある。

(2) 東京都内水面漁場管理委員会 開催実績 (平成30年度)

<第20期 東京都内水面漁場管理委員会>

会議名	開催年月日	開催場所	議 題	出席委員数
全内漁管連総会	30.5.25	都道府県 会館	① 平成29年度事業報告・収支決算について ② 平成30年度事業計画・収支予算について ③ 平成30年度提案書案について	1人
委 員 会 (第1回)	30.5.22	東京都庁	① 多摩川のアユ遡上状況について(委員会指示) ② 内共1号遊漁規則変更認可について(諮問)	8人
委 員 会 (第2回)	30.7.26	東京都庁	① 多摩川のしじみ漁業権の行使状況等 ② 多摩川のしじみ漁業権免許に伴う漁業権行使の制限に係る委員会指示について(委員会指示)	8人
委 員 会 (第3回)	30.9.26	東京都庁	① 内共11号漁業権免許組合の合併による登録変更について ② 平成31年度中央省庁に対する提案項目のアンケートについて ③ 内共第11号遊漁規則の変更認可について(諮問)	8人
東日本 ブロック 協議会	30.11.8 ~11.9	横浜市	① 平成31年度提案項目案について ② ブロック内照会・協議事項について	2人
委 員 会 (第4回)	30.11.20	東京都庁	① 東京都カワウ被害対策計画について ② しらすうなぎ特別採捕許可方針について ③ 平成31年度増殖計画等策定のスケジュールについて	8人
委 員 会 (第5回)	31.2.14	東京都庁	① 東京都におけるコイの放流及び持ち出し等の制限について(委員会指示) ② 平成31年度多摩川遡上あゆ特別採捕許可方針について ③ 平成31年度増殖計画の策定について(委員会指示)	8人

(3) 第20期東京都内水面漁場管理委員会委員名簿 (平成28年12月1日~平成32年11月30日)

委員区分	氏名	経 歴 及 び 現 職 等	
漁業者代表	◎ 安永 勝昭	秋川漁業協同組合代表理事組合長	◎会長
	○ 須賀 一雄	多摩川漁業協同組合副組合長理事	○会長代理
	大久保 芳木	奥多摩漁業協同組合副組合長理事	
	小島 智彦	東京東部漁業協同組合代表理事組合長	
遊漁者代表	小林 得志雄	日本友釣会連盟理事事務局長	
	塚本 哲也	日本友釣同好会理事事務局次長	
学識経験者	丸山 隆	元東京海洋大学 助教	
	村井 衛	東京都内湾漁業環境整備協会常務理事	

VII 島しょ農林水産総合センター

1 島しょ農林水産総合センターの概要

島しょ農林水産総合センターは、本所（庶務課、振興企画室）と3事業所（大島、三宅島、八丈島）と2センター（小笠原：総務局主管）、奥多摩さかな養殖センター（農林水産振興財団）の組織体制で、東京都の水産業と島しょ農林畜産業振興の一翼を担っている。

組織の地理的配置は、マス類等の生息する冷水域とコイ等の生息する温水域並びにアサリ、ハゼ等が生息する内湾海域に振興企画室、タカベ、サザエ等の生息する伊豆諸島北部海域に大島事業所、復興事業が続く三宅島に三宅事業所、カツオ、トビウオ等の生息する伊豆諸島南部海域に八丈事業所、メカジキの生息する亜熱帯海域に小笠原水産センター、亜熱帯農業センターを配置し、それぞれの地域特性に密着した課題に対応するとともに、島しょ海域の広域的・高度専門的課題には振興企画室が中心となった組織的対応を行っている。

◎施設の位置と概要

組織名	住 所	土 地 (m ²)	建 物 (m ²)	漁業調査指導船等
本所	港区海岸 2-7-104		(1,276)	
奥多摩さかな 養殖センター	西多摩郡奥多摩町小丹 波 720	22,138	1,534	
大島事業所 (水産)	大島町波浮港 18	5,875	1,383	「みやこ」 189t 1,492 kW 「やしお」 117t 1,471 kW 「かもめ」 4t 353 kW
大島事業所 (農林)	大島町元町字小清水 273-1	11,261	983	
三宅事業所	三宅村坪田 4357	129,655	2,330	
八丈事業所 (水産)	八丈町三根 4222	6,183	990	「たくなん」 44t 1,203 kW
八丈事業所 (農林)	八丈町大賀郷 4341-11	40,551	2,377	
小笠原水産 センター	小笠原村父島字清瀬	6,223	1,909	「興洋」 87t 1,030 kW 「ウェントル」 2t 95 kW
亜熱帯農業 センター	小笠原村父島字小曲	187,814	3,922	

令和元年度 島しょ農林水産総合センター 事業体系

研究テーマ(予算課題)

個別課題

※令和元年度新規事業

<水産関係>

水産資源の持続的利用に関する研究

- ハマトビウオ都TAC更新のためのABC算出研究
- キンメダイ資源管理手法開発研究
- ※新たな資源管理措置の導入に向けたキンメダイの生態把握
- アカハタ資源管理手法開発研究
- 資源回復計画の作成及び普及の推進 (キンメダイ)
- 地域提案事業 (タカベ)
- 漁業情報データベースの整備と運用
- 島しょ魚類資源動態調査 (含: 国TAC)
- 磯根資源動態調査
- 漁場の評価と生産性向上対策
- ハマダイ資源の高度有効利用研究
- 小笠原磯根資源動態調査
- 沖ノ島島漁場生産特性調査

漁業収益を高める技術開発研究

- 冷水魚優良種苗育成
- ※カツオ漁業高度化促進研究
- メダイの資源生態解明研究
- 漁業資源の分散利用促進のための研究

消費者ニーズに対応した水産物の提供に関する研究

- IHN抗病系品種の作出に関する研究
- 魚病診断と疾病別対策研究

都民共有の海や川を多面的に活用するための研究

- 江戸前アユの多摩川上流域での動向調査
- 内湾資源環境調査
- 内水面魚類生息環境調査

<農業関係>

伊豆諸島における農業振興技術対策

- 大島 — 大島特産園芸作物における生産振興技術対策
- 大島管内の遺伝資源の収集・評価・保存
- 三宅 — 三宅島特産園芸作物における生産振興技術対策
- 三宅管内の遺伝資源の収集・評価・保存
- 八丈 — 八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策
- 八丈管内の遺伝資源の収集・評価・保存

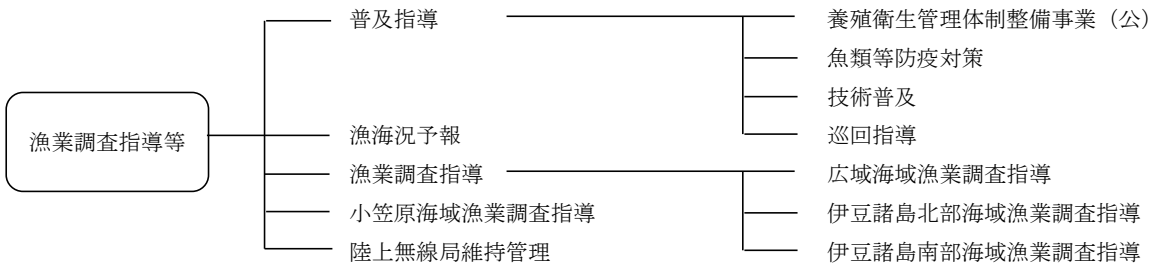
小笠原諸島農業振興技術開発
営農研修

- 魅力ある特産熱帯果樹の周年生産モデル確立
- 小笠原諸島自生種による公共工事利用技術の開発
- 病害虫防除試験 (公)
(農林水産部食料安全課所管事業)
- (営農研修所) — 亜熱帯における農業技術の普及及び経営指導
(農林水産部農業振興課所管事業)

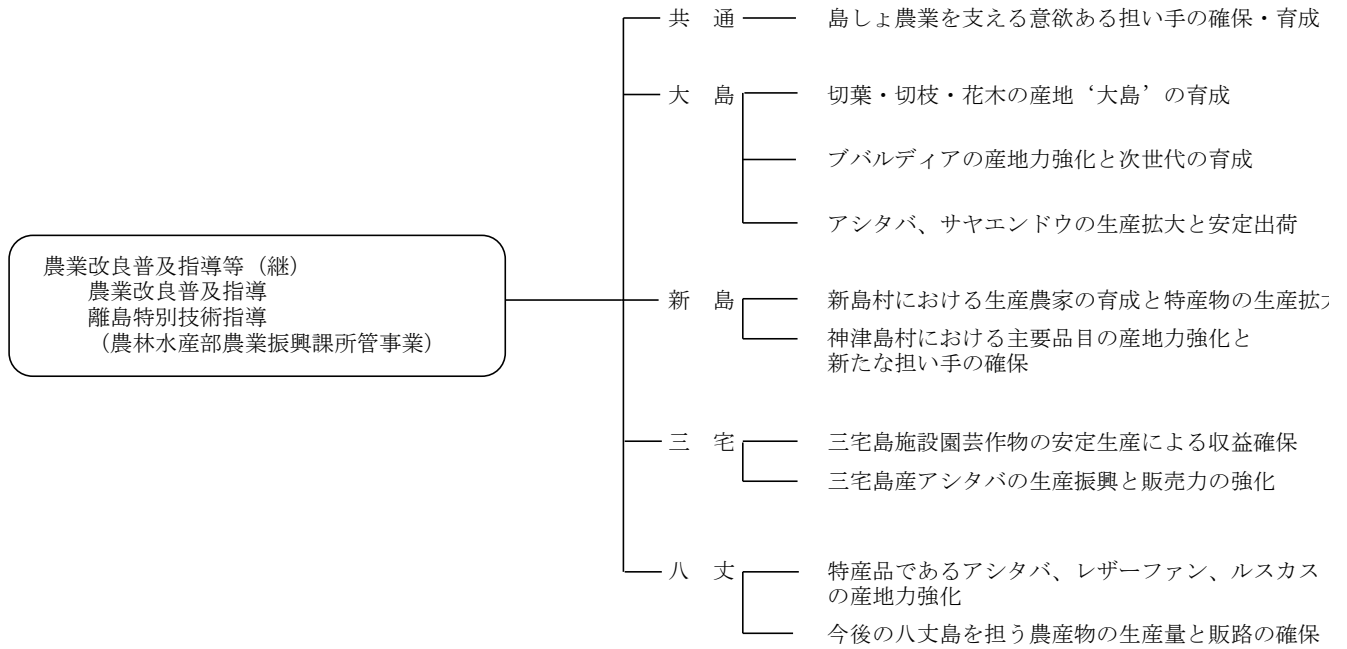
普及指導テーマ(予算課題)

個別課題

<水産関係>



<農業関係>



事業概要【水産分野】

課題名	事業概要
<p>1. ハマトビウオ都TAC更新のためのABC算出研究</p> <p>(継続)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目的】ハマトビウオ漁業の次年度TAC策定に必要なABC(生物学的許容漁獲量)を算出するとともに、資源解析の精度向上を図る。また、ハマトビウオの回遊経路など、資源管理の高度化に必要な生物学的特性を明らかにする。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漁業情報の収集と統計解析 ②生物学的特性の解明:年齢、成熟、回遊経路等の解明 ③ABCの算出 ④資源評価票の作成・更新 ⑤都TAC関連会議出席
<p>2. キンメダイ資源管理手法開発研究</p> <p>(継続)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目的】伊豆諸島におけるキンメダイの漁業実態、資源生物特性等を把握して資源管理手法の開発に取り組むとともに、資源回復計画、TAE(許容努力量制度)等による新たな広域的資源管理の展開に必要な科学的根拠を得る。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①キンメダイ漁業情報の収集と漁獲特性の把握 ②漁場別魚体組成の把握 ③卵稚仔と幼魚の分布様式把握 ④魚群の移動回遊と漁場形成要因の把握 ⑤主要漁場の音響調査 ⑥夜キンメダイの影響調査 ⑦資源量推定 ⑧資源評価票の作成と更新 ⑨キンメダイ資源管理関連会議出席による情報提供・収集 ⑩研修会等への参加による資源解析技術の習得 ⑪先端機器・新技術の活用によるキンメダイ生態の解明促進研究
<p>3. 新たな資源管理措置の導入に向けたキンメダイの生態把握</p> <p>(令和元～3年)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目的】若齢魚の保護を目的とする新たな資源管理措置を導入するため、漁場におけるキンメダイの資源動態を明らかにする。これまでの調査で浅場海域に、若齢魚が多く分布することが判明していることから、島しょ域の浅場漁場を中心に魚群胴体を精査し、シミュレーションによる効果的な資源管理措置の検討を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①バイオロギングによるキンメダイの行動解析 ②漁場における魚群特性の把握 ③漁場環境が魚群胴体に及ぼす影響調査 ④新たな資源管理措置の検討とシミュレーションによる効果予測
<p>4. アカハタ資源管理手法開発研究</p> <p>(平成27～令和元年)</p> <p><担当部署> 小笠原水産センター</p>	<p>【目的】小笠原諸島海域におけるアカハタについて、生活史を把握するとともに、漁獲統計や標識放流等によって資源特性値を推定する。それらを踏まえ、資源管理手法を開発し、地元で展開されている資源管理の取り組みに対し科学的立場からの提言を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活史の把握 ②小笠原海域全体の資源量推定 ③漁場毎の資源量推定 ④資源管理手法の開発 ⑤資源関連会議への出席

水産資源の持続的利用に関する研究

課 題 名	事 業 概 要
<p>5. 資源回復計画の作成及び普及の推進(キンメダイ)(公) (平成19年～)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目 的】管内のキンメダイ一本釣り漁業に関し、管理措置の実施状況と資源回復状況を把握し、資源管理計画の作成及び普及に資する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①管内主要漁場における操業実態の把握 ②漁獲量・出漁隻数等漁獲情報の収集 ③漁獲物測定による漁場別年齢構成等の把握</p>
<p>6. 地域提案事業(タカベ)(公) (平成15年～)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所</p>	<p>【目 的】伊豆諸島海域におけるタカベの資源管理型漁業推進に必要な科学的知見を得るための調査を実施し、行政施策に反映する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①伊豆諸島海域におけるタカベ漁業の漁業種類別、漁場別漁獲努力量と漁獲量の把握 ②伊豆諸島海域におけるタカベ漁獲物の魚体測定、年齢査定と漁場別年齢構成の把握 ③伊豆諸島海域におけるタカベの成熟状況の把握 ④成果のとりまとめ及び関連会議への出席と報告</p>
<p>7. 漁業情報データベースの整備と運用 (継 続)</p> <p><担当部署> 振興企画室</p>	<p>【目 的】管内の漁業生産動向の把握と資源解析用基礎データの収集・整備のために管内漁業協同組合の水揚げ情報を収集・整理し、データベースとして整備・運用する。あわせて、効率的運用を図るためのシステムの維持管理を行う。</p> <p>【内 容】</p> <p>①管内漁協の漁業情報の収集とデータベースの整備 ②システムの維持管理と高度化</p>
<p>8. 島しょ魚類資源動態調査 (含:国TAC) (継 続)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目 的】伊豆諸島における重要な魚類資源について、漁業資源情報の収集と基礎生態調査を行い、資源管理のための基礎データとするとともに、持続的漁業生産活動に資する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①伊豆諸島海域の主要魚類に関する漁業情報の収集:タカベ・イサキ・メダイ・アオダイ・ハマダイ・クサヤモロ等 ②漁獲物の生物特性の把握:尾又長・体重・年齢組成等 ③試験操業及び標識放流などによる基礎生態の把握 ④伊豆諸島海域での国TAC対象魚種(イワシ・アジ・サバ)の卵稚仔分布調査を行い、国に情報提供</p>
<p>9. 磯根資源動態調査 (継 続)</p> <p><担当部署> 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目 的】テングサ、トサカノリなどの海藻類及びフクトコブシ、サザエなどの貝類について、資源動態をモニタリングし、得られた成果を取りまとめ、関係機関に情報提供する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①テングサ、トサカノリ、アントクメの生育状況の把握 ②フクトコブシ、サザエ天然資源の生息分布状況等の把握 ③放流フクトコブシ、アワビの成長、混獲状況の把握 ④漁場環境の変動把握 ⑤大島の被災漁場の状況把握</p>

水産資源の持続的利用に関する研究

課 題 名	事 業 概 要
<p>10. 漁場の評価と生産性向上対策</p> <p>(平成23年～)</p> <p><担当部署> 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目 的】造成された築いそ漁場について多面的な科学的評価を行うとともに、生産性を向上させるための漁場造成技術を開発する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①磯根漁場環境(物理、化学、生物環境)の把握:大島、三宅島、八丈島 ②漁場造成技術の開発:八丈島 ③漁場環境データの管理:大島</p>
<p>11. ハマダイ資源の高度有効利用研究</p> <p>(平成30～令和4年)</p> <p><担当部署> 小笠原水産センター</p>	<p>【目 的】小笠原海域におけるハマダイについて、水揚情報による資源量指数(CPUE)の把握、魚体測定や標識放流を行い、資源評価に必要な生態的基礎情報を収集する。また、付加価値向上のため、鮮度保持手法の開発、海域や季節など脂肪量の特性を把握する。それらをふまえ、効果的な漁獲から出荷にいたる形態について科学的立場から資源の有効利用について提言を行う。</p> <p>【内 容】</p> <p>①資源診断および管理手法の提言 ②漁獲物特性(鮮度、脂肪量)の知見収集</p>
<p>12. 小笠原磯根資源動態調査</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 小笠原水産センター</p>	<p>【目 的】小笠原海域の磯根漁場の主要水産生物について生態調査を行い、基礎的知見を蓄積し、資源管理に資する。また、サンゴ礁に関する知見を収集しサンゴ礁の保全に資する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①イセエビ類の生態調査・生物測定を行い、資源管理に必要な基礎的知見の蓄積を図る。 ②平成15年に造礁サンゴの白化現象が発生した海域のその後の状況を把握するとともに造礁サンゴに関する基礎的知見を収集する。</p>
<p>13. 沖ノ鳥島漁場生産特性調査</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 振興企画室 小笠原水産センター 大島事業所 八丈事業所</p>	<p>【目 的】沖ノ鳥島周辺海域における漁業の可能性、沖ノ鳥島から伊豆諸島に至る都の海域の水産資源から見た連続性などを把握するための各種調査を実施する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①漁場開拓と漁業資源動態把握 ②漁業資源の地域連続性確認 ③漁場環境把握</p>

課題名	事業概要																																																																															
<p>1. 冷水魚優良種苗育成</p> <p>(継続)</p> <p><担当部署> 奥多摩さかな養殖センター(委託)</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">漁業収益を高める技術開発研究</p>	<p>【目的】魚病対策や多様化する消費者ニーズに対応した養殖技術の改良により、優良な冷水魚種苗を生産・配付・放流する。</p> <p>【内容】</p> <p>①冷水性魚類の種苗生産・配付・放流:ニジマス・イワナ・ヤマメ ②管内養殖業者に対する養殖技術指導:年60件程度 ③優良種苗の育成試験:ヤマメの遺伝的劣化防止試験、IHN抗病性判定試験、「奥多摩やまめ」の定着化</p> <p>平成30年度種苗の生産・配付・放流計画</p> <table border="1" data-bbox="497 510 1415 958"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">種苗の種類</th> <th rowspan="2">発育段階ごとの生産数</th> <th rowspan="2">配付数 (歳入対象種苗)</th> <th colspan="2">(配付数内訳)</th> <th rowspan="2">その他 歩減・孵化(飼育用)・ 親魚候補・試験等</th> </tr> <tr> <th>放流用 (河川漁協)</th> <th>養殖用 (養殖漁協)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ニジマス</td> <td>発眼卵</td> <td>864</td> <td>210</td> <td>140</td> <td>70</td> <td>654(孵化・試験)</td> </tr> <tr> <td>春稚魚</td> <td>345</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>50</td> <td>295(歩減・秋稚魚・試験)</td> </tr> <tr> <td>秋稚魚</td> <td>206</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>-</td> <td>6(歩減・親魚)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ヤマメ</td> <td>発眼卵</td> <td>1,665</td> <td>1,000</td> <td>240</td> <td>760</td> <td>665(孵化・試験)</td> </tr> <tr> <td>春稚魚</td> <td>430</td> <td>200</td> <td>155</td> <td>45</td> <td>230(歩減・秋稚魚・試験等)</td> </tr> <tr> <td>秋稚魚</td> <td>59</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>14(歩減・親魚・試験)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">奥多摩やまめ</td> <td>発眼卵</td> <td>150</td> <td>90</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>60(孵化・試験)</td> </tr> <tr> <td>稚魚</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>1(試験・歩減)</td> </tr> <tr> <td>成魚</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1(試験・歩減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イワナ</td> <td>発眼卵</td> <td>181</td> <td>101</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>80(孵化・試験)</td> </tr> <tr> <td>稚魚</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1(歩減・親魚・試験)</td> </tr> </tbody> </table>	種苗の種類		発育段階ごとの生産数	配付数 (歳入対象種苗)	(配付数内訳)		その他 歩減・孵化(飼育用)・ 親魚候補・試験等	放流用 (河川漁協)	養殖用 (養殖漁協)	ニジマス	発眼卵	864	210	140	70	654(孵化・試験)	春稚魚	345	50	-	50	295(歩減・秋稚魚・試験)	秋稚魚	206	200	200	-	6(歩減・親魚)	ヤマメ	発眼卵	1,665	1,000	240	760	665(孵化・試験)	春稚魚	430	200	155	45	230(歩減・秋稚魚・試験等)	秋稚魚	59	45	45	-	14(歩減・親魚・試験)	奥多摩やまめ	発眼卵	150	90	-	90	60(孵化・試験)	稚魚	21	20	-	20	1(試験・歩減)	成魚	1	-	-	-	1(試験・歩減)	イワナ	発眼卵	181	101	50	51	80(孵化・試験)	稚魚	11	10	5	5	1(歩減・親魚・試験)
種苗の種類						発育段階ごとの生産数	配付数 (歳入対象種苗)		(配付数内訳)			その他 歩減・孵化(飼育用)・ 親魚候補・試験等																																																																				
		放流用 (河川漁協)	養殖用 (養殖漁協)																																																																													
ニジマス	発眼卵	864	210	140	70	654(孵化・試験)																																																																										
	春稚魚	345	50	-	50	295(歩減・秋稚魚・試験)																																																																										
	秋稚魚	206	200	200	-	6(歩減・親魚)																																																																										
ヤマメ	発眼卵	1,665	1,000	240	760	665(孵化・試験)																																																																										
	春稚魚	430	200	155	45	230(歩減・秋稚魚・試験等)																																																																										
	秋稚魚	59	45	45	-	14(歩減・親魚・試験)																																																																										
奥多摩やまめ	発眼卵	150	90	-	90	60(孵化・試験)																																																																										
	稚魚	21	20	-	20	1(試験・歩減)																																																																										
	成魚	1	-	-	-	1(試験・歩減)																																																																										
イワナ	発眼卵	181	101	50	51	80(孵化・試験)																																																																										
	稚魚	11	10	5	5	1(歩減・親魚・試験)																																																																										
<p>2. カツオ漁業高度化促進研究</p> <p>(令和元～5年)</p> <p><担当部署> 八丈事業所</p>	<p>【目的】近年、日本近海へのカツオ来遊量が減少傾向にあり、八丈島ではCPUEが最盛期の1/3～1/10程度まで減少している。漁獲量が減少する中で、漁業者からは精度の高い漁場予測の発信が望まれている。前事業ではカツオにアーカイバルタグを装着し、そのデータを元に水温と流速から漁場予測モデル(HISモデル)を作成したが、実用化には至っていない。そこで、装着個体が海山周辺においてエネルギー摂取雨量が高かったことに着目し、行動把握データに加えて好餌料環境の物理データを活用する。精度を向上させた漁場予測モデルの公開とモデルに使用した海況情報を配信することで、漁場探索の効率化による所要経費の削減および漁家経営の安定化を支援する。</p> <p>【内容】</p> <p>①漁場・魚体情報調査 ②行動生態調査 ③餌料環境調査 ④漁場予測モデルの検討と検証</p>																																																																															
<p>3. メダイの資源生態解明研究</p> <p>(平成30～令和2年)</p> <p><担当部署> 八丈事業所</p>	<p>【目的】伊豆諸島におけるメダイの有効利用・収益増大を目的とし、メダイの漁業生物学的研究、漁場形成要因の解明、食材特性の把握を実施する。</p> <p>【内容】</p> <p>①漁業生物学的研究 ②漁場形成要因の解明 ③食材特性の把握</p>																																																																															
<p>4. 漁業資源の分散利用促進のための研究</p> <p>(平成28～令和元年)</p> <p><担当部署> 大島事業所</p>	<p>【目的】伊豆諸島海域で依存度が高まるキンメダイ漁業について、資源への負担を軽減させるため、伊豆諸島北部海域の底釣り漁業で漁獲される魚種および漁獲特性を明らかにするとともに、これまで利用が限定的であった魚種について品質特性を明らかにする。</p> <p>【内容】</p> <p>①底釣り漁業で漁獲されるキンメダイ以外の魚種についての漁獲調査 ②主な出荷先での取扱状況の把握 ③出荷形態や保存方法による品質への影響調査</p>																																																																															

課題名	事業概要
<p>消費者ニーズに対応した水産物の提供に関する研究</p> <p>1. IHN抗病系品種の作出に関する研究 (継続) <担当部署> 奥多摩さかな養殖センター(委託)</p> <p>2. 魚病診断と疾病別対策研究 (継続) <担当部署> 振興企画室 奥多摩さかな養殖センター(委託)</p>	<p>【目的】IHN(伝染性造血器壊死症)に罹りにくい「抗病系品種(ニジマス)」を作出し、冷水性魚類養殖業の経営安定に資する。</p> <p>【内容】 選抜育種による抗病性の高い品種の作出</p> <p>【目的】魚病診断により養殖魚の疾病を把握し、予防、治療方法を確立して病害を防除することにより、安定した養殖業の生産体制確立に寄与する。</p> <p>【内容】 ①冷水病等非保菌アユの放流による河川の疾病発生防除 ②重要疾病の診断・対策 ③原因不明疾病の診断 ④関連会議に出席し、魚病に関する情報収集</p>
<p>都民共有の海や川を多面的に活用するための研究</p> <p>1. 江戸前アユの多摩川上流域での動向調査 (平成29～令和元年度) <担当部署> 振興企画室</p> <p>2. 内湾資源環境調査 (継続) <担当部署> 振興企画室</p> <p>3. 内水面魚類生息環境調査 (継続) <担当部署> 振興企画室</p>	<p>【目的】江戸前アユの生態については、これまで東京湾や多摩川中下流域では調査が行われていたが、上流域については調査が行われていなかった。しかし、今後は遡上促進事業やくみ上げ事業などにより上流域に到達するアユが増えることが見込まれ、江戸前アユが上流地域の産業振興に活用されることが期待されている。そこで、江戸前アユの上流部での生態を把握するため、由来判別や生息状況調査、産卵への関与調査などを行う。また、下流域では引き続き遡上数を把握し、江戸前アユの利活用の基礎資料とする。</p> <p>【内容】 ①「ヒレ切」などの標識手法や耳石など形質を併用し、江戸前アユと他地域産アユを判別する。 ②上流域の河床状況、餌料等の生息環境や成長、移動などの生態を把握する。 ③産卵期に降下状況や成熟度調査を行い産卵への関与を調査する。 ④下流域におけるアユの遡上調査を実施し、遡上数を推定する。</p> <p>【目的】東京都内湾における魚介類の生息状況と水質・底質等の環境を定期的にモニタリング調査し、生物の動向と環境との関係を的確に把握する。</p> <p>【内容】 ①内湾における仔稚魚の発生状況把握 ②内湾における水質環境の把握 ③内湾における底質・マクロベントスの把握</p> <p>【目的】都下河川流域における魚類の分布状況、生息環境及び資源状況を定期的にモニタリングし、主要魚種の資源動態、定点における魚類相等の変動を把握する。</p> <p>【内容】 ①内水面生息主要魚種(外来魚、シジミを含む)の生息状況把握 ②定点のモニタリング調査による生物相の把握 ③アユ解禁調査による当該年の漁模様把握</p>

課 題 名	事 業 概 要
<p>1. 養殖衛生管理体制整備事業(公)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 振興企画室</p>	<p>【目 的】養殖生産物の安全性を確保し、健全で安心できる養殖魚の生産に寄与するために、疾病対策のみならず食品衛生や環境保全にも対応した養殖衛生管理体制の整備を推進する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①全国養殖衛生管理推進会議等への参加による総合推進対策 ②巡回指導等による養殖衛生管理指導 ③養殖場の調査・監視 ④疾病監視などによる疾病対策、特定疾病蔓延防止措置</p>
<p>2. 魚類等防疫対策</p> <p>(平成24年～)</p> <p><担当部署> 振興企画室 水産課</p>	<p>【目 的】魚類防疫上問題となる特定疾病以外の重要疾病についてまん延防止を図る。</p> <p>【内 容】</p> <p>①重要疾病のまん延防止対策 ②魚類等防疫対策協議会の開催→平成29年度に解散(今後は、必要に応じて)</p>
<p>3. 普及指導</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 振興企画室 大島事業所 八丈事業所</p> <p>漁業調査指導等</p>	<p>【目 的】巡回指導などにより地元町村、漁業者の要望を把握するとともに、漁業生産現場が抱える課題に対し、蓄積している技術と知識を活用し、問題の解決を図る。併せて、都民への普及・啓発活動に取り組む。</p> <p>【内 容】</p> <p>①巡回指導による技術指導:飼育・蓄養管理・魚病対策などの指導 ②技術開発・普及:未利用水産資源の利活用・漁具漁法の導入指導等 ③啓発・普及:ヤマメ産卵放流指導・ヤマメ里親教室の指導・海浜教室・体験学習・研究成果報告会の開催・食育の推進支援等 ④連絡調整会議の開催:連絡調整会議(振興企画室と水産課)、地域連絡会(事業所と支庁)</p>
<p>4. 漁海況予報事業(公・単)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 大島事業所 八丈事業所 振興企画室</p>	<p>【目 的】漁海況情報の迅速な収集・解析により、漁業者への情報提供、漁海況速報を発行して操業の効率化を図ることにより、漁業経営の安定に資する。</p> <p>【内 容】</p> <p>①漁海況情報収集:調査船定線調査、地先定点観測、漁船等からの情報収集 ②漁海況情報提供:伊豆諸島海域漁海況情報(週報)等 ③漁海況情報分析 ④情報の提供:関東・東海海況速報・八丈海洋ニュース・Fネット等</p>
<p>5. 広域海域漁業調査指導(みやこ)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 大島事業所</p>	<p>【目 的】広域海域における漁場環境調査、資源動向調査、漁業取締などを行い、資源管理型漁業を推進するとともに、漁業生産性の向上、漁業秩序の維持を図る。</p> <p>【内 容】</p> <p>年間運航日数 200日</p> <p>①資源変動把握調査:回遊性魚類(カツオ、ハマトビウオ)調査(30日)、底生性魚類調査(23日) ②漁場環境変動把握調査:沖合定線調査(36日)、沿岸水温観測(14日) ③資源管理型漁業推進事業:キンメダイ初期生態調査(31日)、キンメダイ計量魚採・試験操業(28日)、漁場環境調査(海底地形:11日) ④沖ノ鳥島調査(上記①～③調査のうち10日) ⑤漁業取締(11日)(調査航海中を含めて40日) ⑥指導船整備他(16日)</p>

課 題 名	事 業 概 要
<p>6. 伊豆諸島北部海域漁業調査指導(やしお)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 大島事業所</p>	<p>【目 的】伊豆諸島北部海域における漁場環境調査、資源動向調査、漁業取締などを行い、資源管理型漁業を推進するとともに、漁業生産性の向上、漁業秩序の維持を図る。</p> <p>【内 容】 年間運航日数 170日 ①資源変動把握調査:回遊性魚類調査(10日)、底生性魚類調査(10日)、タカベ・イサキ調査(7日) ②漁場環境変動把握調査:海洋観測(50日) ③資源管理型漁業推進事業:人工魚礁・海底地形調査(22日) ④漁業取締(42日) ⑤巡回指導(4日) ⑥三宅島漁場監視(8日) ⑦指導船整備(17日)</p>
<p>7. 伊豆諸島南部海域漁業調査(たくなん)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 八丈事業所</p>	<p>【目 的】伊豆諸島南部海域における漁場環境調査、資源動向調査、漁業取締などを行い、資源管理型漁業を推進するとともに、漁業生産性の向上、漁業秩序の維持を図る。</p> <p>【内 容】 年間運航日数 170日 ①資源変動把握調査:回遊性魚類調査(6日)、底生性魚類調査(19日) ②漁場環境変動把握調査:定線調査(36日) ③資源管理型漁業推進事業:キンメダイ(25日)、人工魚礁・浮漁礁(6日) ④漁業取締(24日) ⑤都TAC関連調査(12日) ⑥カツオ資源調査(25日) ⑦漁業被害調査(7日) ⑧指導船整備(10日)</p>
<p>8. 小笠原海域漁業調査指導(興洋)</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 小笠原水産センター</p>	<p>【目 的】小笠原海域、沖ノ鳥島海域における漁場環境調査、資源動向調査、漁業取締などを行い、資源管理型漁業を推進するとともに、漁業生産性の向上、漁業秩序の維持を図る。</p> <p>【内 容】 年間運航日数 180日 ①海洋観測(33日) ②資源調査:ネット調査(21日)、海底地形調査(21日)、底魚資源調査(28日)、たて縄調査(27日) ③沖ノ鳥島調査(31日) ④漁業取締(11日) ⑤指導船整備他(8日)</p>
<p>9. 東京都漁業用海岸局</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 八丈事業所</p>	<p>【目 的】伊豆諸島海域における漁業指導情報、漁業気象、安全情報を速やかに通報し、漁業生産性の向上を図るとともに、操業の安全に資する。</p> <p>【内容】 ①通信時間:24時間 ②設備内容:SSB50W 2台 SSB25W 4台 DSB1W 17台 ③対 象:官庁船4隻 地元漁船等 ④業務内容: ・漁業指導に関する通信 ・漁業気象及び航行警報に関する通信 ・遭難緊急安全に関する通信</p>

課 題 名	事 業 概 要
<p>10. 父島漁業用 海岸局</p> <p>(継 続)</p> <p><担当部署> 小笠原水産セン ター</p> <p>漁業調査指導等</p>	<p>【目 的】小笠原近海における漁業指導情報、漁業気象、安全情報を速やかに通報し、漁業生産性の向上を図るとともに、操業の安全に資する。</p> <p>【内容】</p> <p>①通信時間:08:00~17:15</p> <p>②設備内容:SSB50W 2台 SSB25W 2台 簡易無線機 2台 多重無線機 2台</p> <p>③対 象:官庁船2隻 地元漁船等</p> <p>④業務内容: ・漁業指導に関する通信 ・漁業気象及び航行警報に関する通信 ・遭難緊急安全に関する通信</p>

2 漁業調査指導船

船名	みやこ	やしお	かもめ	たくなん	興洋
竣工	平成24年 2月29日	平成31年 2月18日	昭和57年 10月28日	平成16年 3月3日	平成19年 2月28日
最大速力(ノット)	14.8	16.0	18.2	14.0	14.2
航海速力(ノット)	13.0	15.0	15.0	13.0	13.0
航続距離(海里)	5,000	2,000		807	2,000
定員	船員16名 調査員8名	船員7名 調査員5名	船員1名 調査員6名	船員8名 調査員2名	船員9名 調査員5名
1 船体					
船質	鋼	鋼	FRP	FRP	鋼
全長(m)	42.93	44.69	13.55	25.50	33.07
登録長(m)	35.60	37.60	9.80	20.18	28.40
幅(m)	7.40	6.60	2.30	5.58	6.00
深さ(m)	3.30	3.20	0.76	2.16	2.90
トン数(t)	189	117	3.87	44	87
2 機関					
主機関(kW)	1,492 1基 ハウススター	1,471 1基 ハウススター	353 1基	1,203 1基	1,030 1基 ハウススター

〔漁業調査指導船の海域分担〕

東京都の海は広大なため、黒潮をはさんで、伊豆諸島北部海域を「やしお」、南部海域を「たくなん」、小笠原海域と沖ノ鳥島海域を「興洋」が担当し、沖合の南鳥島・沖ノ鳥島や他県海域を含む広い海域を「みやこ」が担当している。この他「かもめ」(大島)、「ウェントル」(小笠原)は島周りの浅海域の調査や潜水調査の母船の役割を担当している。

3. 島しょ農林水産総合センター分掌事務

島しょ農林水産総合センター

庶務課	庶務担当	<ol style="list-style-type: none"> センター所属職員の人事及び給与に関すること。 センターの公文書類の收受、配布、発送、編集及び保存に関すること。 土地、建物及び工作物等の維持管理に関すること。 センター内の取締りに関すること。 センター内の他の室、事業所及び課長代理に属さないこと。
	経理担当	<ol style="list-style-type: none"> センターの予算、決算及び会計に関すること。 土地、建物及び工作物の維持管理に関すること。
振興企画室	企画調整担当	<ol style="list-style-type: none"> 水産に関する試験、研究及び調査の総合調整並びに情報の収集及び管理に関すること。 水産資源及び水生生物に係る試験、研究及び調査の実施に関すること。 水生生物の病害に係る試験、研究及び調査に関すること。 漁業技術等の普及指導に関すること。 冷水魚の種苗生産に関すること。
	主任研究員	
	農業技術調整担当	<ol style="list-style-type: none"> 島しょ区域における農業、畜産及び林業に関する試験及び研究の総合調整並びに情報の収集及び管理に関すること。 島しょ区域における農業改良助長法(昭和二十三年法律第百六十五号。以下「法」という)第七条第一項、第八条及び第十二条第二項に規定する協同農業普及事業等に関する総合調整に関すること。
大島事業所	水産振興担当	<ol style="list-style-type: none"> 近海及び沿岸の漁業技術、水産資源の養殖、水産物の製造加工に係る試験、研究及び調査に関すること(八丈事業所に属するものを除く。) 水産の普及指導に関すること。 漁況及び海況の予報並びに海上気象の通信に関すること。(八丈事業所に属するものを除く。) 漁業調査指導船の運航に関すること。
	主任研究員	
	園芸振興担当	<ol style="list-style-type: none"> 大島の特産園芸作物の品種改良及び栽培技術並びに林業の試験、研究及び調査に関すること。 法第八条第二項各号に掲げる協同農業普及事業に関すること。 普及指導員が法第八条第二項各号に掲げる事務を行うことにより得られた知見の集約その他農業経営及び農村生活の改善に関する科学的技術及び知識の普及指導を総合するための活動を行うこと。 農業者に対し農業経営及び農村生活の改善に関する情報を提供すること。 新規就農を促進するための情報の提供、相談その他の活動を行うこと。
	主任普及指導員 [新島分室を含む]	
八丈事業所	水産振興担当	<ol style="list-style-type: none"> 八丈島近海及び沿岸の漁業技術、水産資源の養殖、水産物の製造加工に係る試験、研究及び調査に関すること(主任研究員に属するものを除く。) 水産の普及指導に関すること。 漁況及び海況の予報並びに海上気象の通信に関すること。(課長代理(無線通信担当)に属するものを除く。) 漁業調査指導船の運航に関すること。 漁況及び海況の予報並びに海上気象の通信に関すること。
	無線通信担当	
	園芸振興担当	<ol style="list-style-type: none"> 八丈島の特産園芸作物の品種改良及び栽培技術並びに林業の試験、研究及び調査に関すること。 法第八条第二項各号に掲げる協同農業普及事業に関すること。 普及指導員が法第八条第二項各号に掲げる事務を行うことにより得られた知見の集約その他農業経営及び農村生活の改善に関する科学的技術及び知識の普及指導を総合するための活動を行うこと。 農業者に対し農業経営及び農村生活の改善に関する情報を提供すること。 新規就農を促進するための情報の提供、相談その他の活動を行うこと。
	主任普及指導員	

<p>三宅事業所</p> <p>主任普及指導員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 三宅島の特産園芸作物の品種改良及び栽培技術並びに林業の試験、研究及び調査に関すること。 2 牛、豚及び家きん等の改良繁殖、育成及び飼育管理に関する試験、研究、調査及び指導に関すること。 3 牧野及び飼料作物に関する試験、研究、調査及び指導に関すること。 4 家畜の人工授精に関すること。 5 種畜及び種鶏の配布に関すること。 6 法第八条第二項各号に掲げる協同農業普及事業に関すること。 7 普及指導員が法第八条第二項各号に掲げる事務を行うことにより得られた知見の集約その他農業経営及び農村生活の改善に関する科学的技術及び知識の普及指導を総合するための活動を行うこと。 8 農業者に対し農業経営及び農村生活の改善に関する情報を提供すること。 9 新規就農を促進するための情報の提供、相談その他の活動を行うこと。
<p>小笠原水産センター (総務局所管)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小笠原近海及び沿岸の漁業技術の試験及び研究に関すること。 2 小笠原近海及び沿岸の水産資源の養殖に係る試験及び研究に関すること。 3 小笠原近海の水産資源の調査及び研究に関すること。 4 漁業者への漁業技術指導に関すること。 5 漁業指導無線に関すること。 6 漁業調査指導船の運航に関すること。
<p>小笠原亜熱帯農業センター [営農研修所を含む] (総務局所管)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 農畜産業に関する試験研究及び調査に関すること。 2 果樹、園芸作物の品種改良及び栽培に関する試験研究及び調査に関すること。 3 農業に関する専門的技術及び知識の普及指導に関すること。 4 植物の病虫害防除に関する試験研究及び調査に関すること。

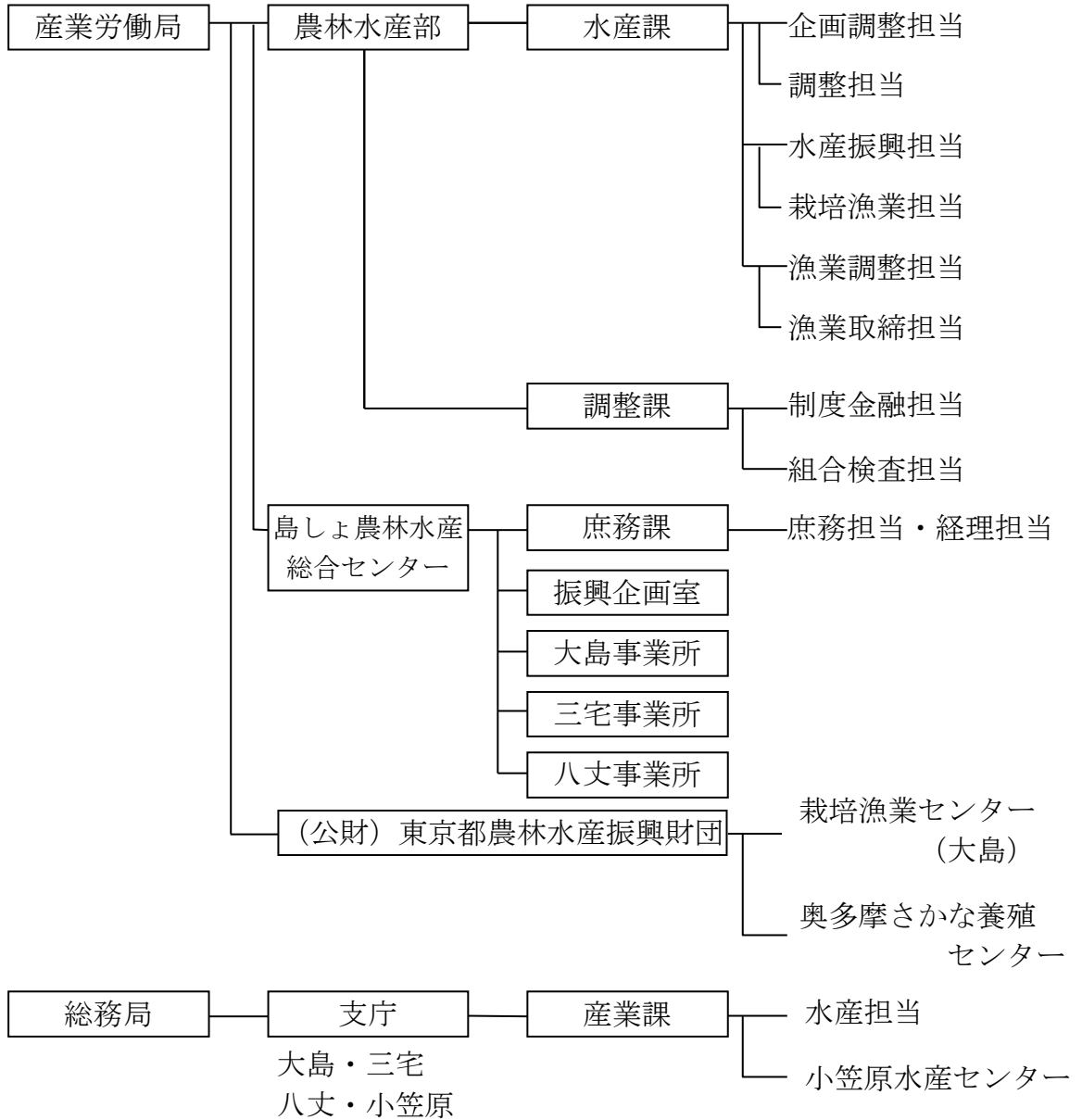
東京都島しょ農林水産総合センター定期刊行物（水産関係）

刊行物の名称	内 容	刊行回数
「事業報告」（年報）	各年度内に実施した試験・研究・指導・事業ごとの結果をとりまとめたもの	年一回
「事業成果速報」	各年内に実施した試験・研究・指導・事業ごとの結果の速報	年一回
「主要成果集」	各年度内に顕著な成果が得られた課題について、要点をわかりやすくまとめたもの	年一回
「水産海洋研究報告」	年度を渡って継続して調査研究した課題をとりまとめた報告書	その都度
「事業概要」	東京都島しょ農林水産総合センターの沿革、組織、予算、事業体系、事業概要、事業所施設等を紹介するもの	年一回
ホームページ	東京都島しょ農林水産総合センターの事業概要、トピック、伊豆諸島の魚貝類、漁海況等を紹介するホームページ http://www.ifarc.metro.tokyo.jp	毎日更新
「大島事業所トピック」	大島事業所の広報誌	不定期
「八丈事業所トピックス」	八丈事業所の広報誌	不定期
「海洋島」	小笠原水産センターの広報誌	不定期
「伊豆諸島海域漁況情報」	伊豆諸島の漁獲物情報をまとめた週報	毎週
「関東・東海漁海況速報」	当センター大島事業所、千葉、神奈川、静岡、三重、和歌山、漁業情報サービスセンターが共同で発行する漁海況速報（海の天気図）	毎日
「八丈海洋ニュース」	八丈事業所が発行する海況情報誌	ほぼ毎日
「沖合定線観測結果」	大島事業所指導船「みやこ」の定線観測結果	月一回
「沿岸定線観測結果」	大島事業所指導船「やしお」の定線観測結果	月一回
「海洋観測速報」	八丈事業所指導船「たくなん」の定線観測結果	月一回
「おがさわら海の情報」	小笠原水産センター指導船「興洋」の定線観測結果	月一回
「定地観測水温表」	大島事業所が発行する月別各島定地水温	月一回
「漁業気象」	東京都漁業無線局が発行する天気現況と予想	毎日二回

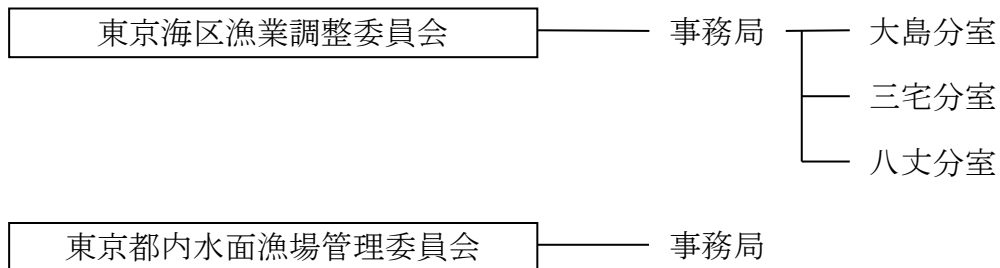
VIII 水産行政

1 水産行政組織（平成31年4月1日現在）

【知事部局】



【行政委員会】



2 水産課係別分掌事務（行政委員会を含む）

企画調整担当

- ・課内の経理、人事、文書、物品等に関すること
- ・水産統計に関すること
- ・東京都農林漁業振興対策審議会漁業部会に関すること
- ・水産関係災害に関すること
- ・漁業後継者育成に関すること
- ・水産業の総合振興対策事業に関すること
- ・水産業協同組合の設立、併合、解散及び定款変更に関すること
- ・水産業協同組合及び連合会の指導監督に関すること
- ・水産業協同組合の整備促進に関すること
- ・漁業共済及び漁船保険組合に関すること
- ・その他水産業協同組合に関すること
- ・島しょ農林水産総合センターに関すること
- ・課内他の係及び担当係長に属しないこと

水産振興担当

- ・漁業振興施設整備に関すること
- ・水産物供給基盤整備に関すること
- ・内水面総合振興に関すること
- ・小笠原諸島の漁業振興に関すること
- ・その他水産振興に関すること

栽培漁業担当

- ・栽培漁業に関すること
- ・東京都栽培漁業推進協議会に関すること
- ・東京都栽培漁業センターに関すること

漁業調整担当

- ・漁獲量計画の策定並びに漁業調整に関すること
- ・漁業資源管理に関すること
- ・内水面漁業調整に関すること
- ・内水面漁場管理委員会に関すること
- ・漁場環境保全に関すること
- ・漁業公害対策に関すること
- ・漁獲量管理に関すること
- ・漁獲量情報管理システムに関すること
- ・漁船の登録等に関すること

- ・遊漁船業の登録に関する事
- ・その他漁業調整に関する事

漁業取締担当

- ・漁業取締に関する事
- ・漁業補償に係る調査及び連絡に関する事

東京海区漁業調整委員会事務局

- ・東京海区漁業調整委員会に関する事

東京都内水面漁場管理委員会事務局

- ・内水面漁場管理委員会に関する事

IX 資 料

- 1 経営体・就業者
- 2 生産量・生産額
- 3 漁船
- 4 漁業制度と都の漁業

1 経営体・就業者

漁業経営体数の推移

単位：経営体

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
個人	1,013	784	654	591	503
団体	24	20	15	13	9
合計	1,037	804	669	604	512

資料：漁業センサス（第10次、2003年、2008年、2013年、2018年）

注：平成15年は三宅島を含まず

漁業就業者数の推移

単位：人

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
区 部	497	387	494	261	299
島 しょ 部	982	769	749	711	597
大 島	579	476	428	406	320
大島	220	173	141	133	98
利島～神津島	359	303	287	273	222
三宅・御蔵島	145	19	61	66	49
八丈島・青ヶ島	198	196	190	164	151
小 笠 原	60	78	70	75	77
合 計	1,479	1,156	1,243	972	896

資料：漁業センサス（第10次、2003年、2008年、2013年、2018年）

注：平成15年は三宅島を含まず

漁業就業者数の男女・年齢別の推移

単位：人

	平成15年		平成20年		平成25年		平成30年	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
男 性	1,077	93.2	1,161	93.4	938	96.5	871	97.2
15～24歳	37	3.2	21	1.7	24	2.5	47	5.2
25～39歳	155	13.4	148	11.9	145	14.9	144	16.1
40～59歳	445	38.5	543	43.7	355	36.5	304	33.9
60～64歳	129	11.2	158	12.7	131	13.5	127	14.2
65歳以上	311	26.9	291	23.4	283	29.1	249	27.8
女 性	79	6.8	82	6.6	34	3.5	25	2.8
合 計	1,156	100.0	1,243	100.0	972	100.0	896	100.0

資料：漁業センサス（第10次、2003年、2008年、2013年）

注：平成15年は三宅島を含まず

2 生産量・生産額

漁業種類・海区別生産量（平成30年1月～12月）

（単位：トン）

海区別 漁業別	大島	利島 新島 神津島	三宅 御蔵島	八丈島 青ヶ島	小笠原	内湾	計
とびうお流しまき網			2	1			3
その他のまき網							
さんま棒受網							
あじ・さば棒受網				85			85
いさき寄網						11	11
たかべ寄網							
建切網							
とびうお流し刺網				142			142
いせえび刺網	11	17	1				29
たかべ刺網		41	1				42
いか釣		45	1		81		127
ひき縄釣	1	19	104	145	7		276
底魚一本釣	21	775	146	647	154		1,743
その他の釣	10			7		17	34
はえ縄		24	13	1	258		296
その他のはえ縄						6	6
小型定置網	20		5				25
その他の刺網				2		183	185
採貝	12	8	1	1		60	82
採藻	77	56	2	1			136
突棒		14					14
潜水器							
その他の漁業			8		13	10	31
計	12	999	284	1,032	513	288	3,128

魚種・海区别生産量(平成30年1月~12月)

(単位: kg)

魚種名	海 区					三宅	八丈	小笠原	内湾	合計	
	大島	利島	新島	神津島	大島計						
さば	3,646			787	4,433	789	59		903	6,184	
とびうお	3,028		778	89	3,895	2,143	143,060	2		149,100	
むろあじ	302		189		491	1,530	82,639	56		84,716	
まあじ	106	5			111				324	435	
しまあじ	328		177	274	779	573	313	150		1,815	
たかべ	2,799	884	39,970	1,096	44,749	2,422				47,171	
いさき	17,173	5	1,006	402	18,586	14		90		18,690	
かつお類	2,755	119	869	1,593	5,336	22,276	67,421	467		95,500	
まぐろ類	1,251		5,779	23,342	30,372	85,738	62,424	29,306		207,840	
かじき類				18,842	18,842	3,102	8,319	227,261		257,524	
きんめだい	4,148		29,472	576,807	610,427	114,605	527,859	8		1,252,899	
ひめだい	218		29	578	825	122	1,242	18,502		20,691	
はまだい	67			410	477	106	3,417	79,820		83,820	
あおだい			5	4,495	4,500	1,391	8,628	359		14,878	
めだい	5,365		4,610	90,638	100,613	20,586	89,390	573		211,162	
あこうだい	1,033		538	1,248	2,819	544	43			3,406	
むつ類	1,309		9,699	38,480	49,488	2,006	3,588	9,200		64,282	
まだい	243		79	154	476	27	27		1	531	
その他のたい類	12				12	10	100	3,383	1,285	4,790	
ひらまさ	684	21	82	202	989	871	485	278		2,623	
かんばち	3,503	54	2,284	2,609	8,450	6,396	5,602	11,822		32,270	
さわら		5	50	103	158	996	7,789	8,068	323	17,334	
めじな	919		15	5	939	292	70			1,301	
いすずみ	13				13		559			572	
さめ類	228			303	531			338		869	
さんま											
ぶり類	181		29	85	295	20	8		10	333	
ひらめ	118	6	25	5	154	8			2	164	
かれい類									27,003	27,003	
ぼら類						2				2	
すずき	2				2		1		124,533	124,536	
あなご									9,882	9,882	
このしろ									13,851	13,851	
はぜ											
その他	7,727	45	928	17,928	26,628	7,655	18,826	32,052	49,162	134,323	
計	57,158	1,144	96,613	780,475	935,390	274,224	1,031,869	421,735	227,281	2,890,499	
動	い	か	804	179	12,259	33,967	47,209	794	112	81,659	129,774
の	い	せえび	10,306	8,341	5,665	3,297	27,609	1,150	184	1,823	30,766
の	その	他のえび類							5	13	18
の	か	め							11,859	11,859	
水	さ	んご							116	116	
物	そ	の	27	122	373		522	108	452	331	845
産	計		11,137	8,642	18,297	37,264	75,340	2,052	753	95,801	845
貝	さ	ぎえ	3,514	8,204	280		11,998	172			12,170
	あ	わび	659	19		10	688				688
	と	こぶし	6,620	68	63	97	6,848	541	70		7,459
	ひ	ろせかい									
	く	ぼがい	2,022	873			2,895	109			3,004
	あ	さり類								52,069	52,069
	そ	の	686				686	125		7,685	8,496
	計		13,501	9,164	343	107	23,115	947	70	59,754	83,886
藻	て	んぐさ	77,793		22,393	14,045	114,231	7,162			121,393
	と	さかのり		11,357		9,590	20,947		65		21,012
	い	わのり						217			217
	そ	の		413			413	220	5	205	843
	計		77,793	11,770	22,393	23,635	135,591	7,599	70	205	143,465
類	合	計	159,589	30,720	137,646	841,481	1,169,436	284,822	1,032,762	517,536	288,141
										3,292,697	

魚種・海別生産金額(平成30年1月～12月)

(単位:千円)

魚種名	海 区					三宅	八丈	小笠原	内湾	合計	
	大島	利島	新島	神津島	大島計						
魚類	さば	247	0	0	156	402	315	18	0	86	821
	とびうお	800	0	260	22	1,082	1,104	60,816	1		63,003
	むろあじ	165	0	41	0	206	417	26,163	19		26,805
	まあじ	43	3	0	0	45	0	0	0	63	108
	しまあじ	1,232	0	540	877	2,650	1,485	556	258		4,949
	たかべ	2,486	1,516	57,181	2,073	63,256	2,936	0	0		66,192
	いさき	12,490	3	926	164	13,583	14	0	38		13,635
	かつお類	538	183	689	1,007	2,416	11,553	40,174	283		54,426
	まぐろ類	1,813	0	6,275	66,403	74,491	97,822	52,388	42,248		266,949
	かじき類	0	0	0	19,337	19,337	3,214	7,318	249,916		279,785
	きんめだい	6,693	0	43,347	766,375	816,414	155,152	774,694	6		1,746,266
	ひめだい	323	0	39	737	1,099	158	1,593	15,472		18,322
	はまだい	170	0	0	964	1,135	183	6,669	103,558		111,545
	あおだい	0	0	11	5,598	5,609	1,943	14,360	384		22,296
	めだい	6,064	0	4,013	66,622	76,700	15,506	61,480	424		154,110
	あこうだい	2,363	0	1,077	1,797	5,237	1,057	68	0		6,362
	むつ類	3,172	0	19,510	69,490	92,172	3,314	6,831	6,745		109,062
	まだい	280	0	63	57	400	20	24	0	1	445
	その他のたい類	12	0	0	0	12	5	107	2,051	960	3,135
	ひらまさ	654	30	81	155	920	560	339	176		1,995
	かんばち	4,160	89	3,089	2,667	10,005	7,055	6,835	7,318		31,213
	さわら	0	6	27	37	71	393	2,283	3,638	143	6,528
	めじな	644	0	12	1	657	213	76	0		946
	いすずみ	8	0	0	0	8	0	252	0		260
	さめ類	29	0	0	86	115	0	0	68		183
	さんま	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	ぶり類	86	0	13	33	132	9	6	0	2	149
	ひらめ	203	17	36	9	264	14	0	0	3	281
	かれい類	0	0	0	0	0	0	0	0	43,745	43,745
	ぼら類	0	0	0	0	0	1	0	0		1
すずき	2	0	0	0	2	0	1	0	149,440	149,443	
あなご	0	0	0	0	0	0	0	0	25,199	25,199	
このしろ	0	0	0	0	0	0	0	0	7,022	7,022	
はぜ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	8,877	76	1,023	11,402	21,378	8,214	14,472	36,799	49,019	129,882	
計	53,551	1,924	138,252	1,016,069	1,209,796	312,656	1,077,521	469,400	275,684	3,345,057	
動物的水産	いか	1,307	328	22,139	43,703	67,477	1,095	151	66,977		135,700
	いせえび	35,049	27,822	28,365	16,442	107,677	6,535	883	5,161		120,256
	その他のえび類	0	0	0	0	0	0	24	42		66
	かめ	0	0	0	0	0	0	0	7,774		7,774
	さんご	0	0	0	0	0	0	0	227,325		227,325
	その他	47	51	246	0	344	232	591	459	1,281	2,907
計	36,403	28,201	50,750	60,145	175,498	7,862	1,650	307,738	1,281	494,029	
貝類	さざえ	2,877	8,901	298	0	12,076	207	0	0		12,283
	あわび	2,484	198	3	97	2,783	0	0	0		2,783
	とこぶし	13,618	228	236	306	14,389	2,003	305	0		16,697
	ひろせかい	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	くぼがい	1,440	1,365	0	0	2,806	124	0	0		2,930
	あさり類	0	0	0	0	0	0	0	0	17,027	17,027
	その他	457	0	0	0	457	212	0	0	8,719	9,388
計	20,876	10,693	537	404	32,509	2,546	305	0	25,746	61,106	
藻類	てんぐさ	57,151	0	18,849	14,103	90,103	6,360	0	0		96,463
	とさかのり	0	3,969	0	3,018	6,987	0	42	0		7,029
	いわのり	0	0	0	0	0	751	0	0		751
	その他	0	1,300	0	0	1,300	637	5	0	158	2,100
計	57,151	5,269	18,849	17,121	98,391	7,748	47	0	158	106,344	
合計	167,981	46,088	208,388	1,093,739	1,516,195	330,812	1,079,522	777,138	302,869	4,006,536	

魚種・漁協別生産量 (平成30年1月～12月)

魚種名	大島海区(利島～神津島を含む)										三宅海区				八丈海区				小笠原海区			内湾	合計
	伊豆大島	元町	小計	利島村	にいじま	神津島	小計	大島計	三宅島	御蔵島	三宅島計	八丈島	青ヶ島	八丈島計	小笠原島	小笠原母島	小笠原計						
はま	3,646		3,646			787	4,433	626	163	789	59			59				903	6,184				
とび	3,028		3,028		778	89	3,895	2,139	4	2,143	142,140		920	143,060	2		2		149,100				
し	302		302		189	189	491	1,526	4	1,530	82,639			82,639	56		56		84,716				
しま	106		106	5		5	111											324	435				
た	290	38	328	177	274	274	451	314	259	573	313			313	140	10	150		1,815				
い	2,799	12	2,799	39,970	1,096	1,096	44,749	203	2,219	2,422					90		90		47,171				
か	13,708	3,465	17,173	1,413	18,586	402	14,133	14		14,147				67,421	431	36	467		18,680				
い	2,336	419	2,755	869	2,581	1,593	5,336	21,221	1,055	22,276	67,421		10,850	62,424	25,832	3,474	29,306		95,500				
ま	362	889	1,251	5,779	23,342	29,121	30,372	74,473	11,265	85,738	51,574			8,319	188,976	38,285	227,261		207,840				
か	4,142	6	4,148	29,472	576,807	606,279	610,427	114,180	425	114,605	527,859			527,859	8		8		1,252,899				
ひ	218		218	29	410	477	825	122		122	1,242			3,417	15,886	2,616	18,502		20,691				
は	67		67	5	4,495	4,500	4,500	1,322	69	1,391	3,417			8,628	66,799	13,021	79,820		83,820				
あ	5,217	148	5,365	4,610	90,638	95,248	100,613	20,518	68	20,586	88,610		400	89,390	356	3	359		14,878				
め	1,033		1,033	538	1,248	1,786	2,819	544		544	43			43			573		3,406				
あ	1,309		1,309	9,699	38,480	48,179	49,488	1,984	22	2,006	3,588			3,588	8,083	1,117	9,200		64,282				
ま	235	8	243	79	154	233	476	12	15	27	27			27					531				
そ	12		12		9	9	10		1	10			100	100	3,038	345	3,383	1	4,790				
の	684	58	742	21	82	202	305	989	392	871	485			485	266	12	278		2,623				
ら	2,666	837	3,503	54	2,284	2,609	4,947	4,432	1,964	6,396	5,582		20	5,602	9,478	2,344	11,822		32,270				
か				5	50	103	158	841	155	996	7,789			7,789	3,876	4,192	8,068		17,334				
ん		183	183	15	20	5	20	939	27	292	70			70					1,301				
な	13		13		13		13				119		440	559					572				
い	228		228			303	531								338		338		869				
す																							
ず	173	8	181	29	85	114	295	20		20	8			8					333				
ら	100	18	118	6	25	5	36	8		8									164				
れ																			27,003				
い																			124,533				
ず	2		2				2			2	1			1					124,536				
な																			9,882				
の																			13,851				
し																							
せ																							
ほ	7,554	173	7,727	45	928	17,928	18,901	6,678	977	7,655	18,746		80	18,826	25,831	6,221	32,052		134,323				
そ	50,889	6,269	57,158	1,144	96,613	780,475	878,232	935,390	19,127	274,224	1,018,279		13,590	1,031,869	349,982	71,753	421,735		2,890,499				
の	804		804	179	12,259	33,967	46,405	792	2	794	112			112	59,135	22,524	81,659		129,774				
い	8,219	2,087	10,306	8,341	5,665	3,297	17,303	965	185	1,150	184			184	1,761	62	1,823		30,766				
そ																			5				
の																			5				
か																			5,278				
え																			6,581				
の	27		27	122	373		495	522		108	452			452	331	116	116		11,859				
水	9,050	2,087	11,137	8,642	18,297	37,264	64,203	75,340	207	2,052	753			753	66,518	29,283	95,801		174,791				
産	2,363	1,151	3,514	8,204	280	10	8,484	172		172									845				
え	575	84	659	19	688		29	688											845				
の	5,189	1,431	6,620	68	63	97	228	6,848	541	541	70			70					12,170				
貝																			688				
ひ																			7,489				
ろ																							
せ																							
か																							
い																							
い																							
の																							
え	686		686				873	2,895		109													
さ	10,695	2,806	13,501	9,164	343	1,071	9,614	23,115	4	125	70			70	52,069	8,496	52,069		3,004				
の	74,565	3,228	77,793	22,393	14,045	36,438	114,231	7,154	8	7,162	65			65	59,754	83,886	121,383		8,496				
藻				11,357	20,947	9,590	20,947																
ど																							
き																							
わ																							
の																							
の																							
他	74,565	3,228	77,793	413	22,393	23,635	57,798	135,591	261	7,599	5			5	205		205		843				
計	145,199	14,390	159,589	30,720	137,646	841,481	1,009,847	2,651,130	19,692	284,822	1,019,172		13,590	1,032,762	416,500	101,036	517,536		2,292,697				

(単位: kg)

魚種・漁協別生産額(平成30年1月～12月)

(単位:千円)

魚種名	大島海区(利島～神津島を含む)										三宅海区				八丈海区				小笠原海区				内湾	合計
	伊豆大島	元町	小計	利島村	にいじま	神津島	小計	大島計	三宅島	御蔵島	三宅島計	八丈島	青ヶ島	八丈島計	小笠原島	小笠原母島	小笠原計	内湾	合計					
さば	247		247			156	156	402	250	66	315	18		18				86	821					
とびうお	800		800		260	22	282	1,082	1,103	1	1,104	60,724		60,816	1		1		63,003					
むろあじ	165		165		41		41	206	415	2	417	26,163		26,163	19		19		26,805					
しまあじ	43		43	3		3	3	45										63	108					
しまあじ	1,095	137	1,232		540	877	1,418	2,650	793	692	1,485	556		556	241	17	258		4,949					
たさ	2,470	16	2,486	1,516	57,181	2,073	60,770	63,256	334	2,602	2,936								66,192					
いか	10,363	2,127	12,490	3	926	164	1,093	13,583	14		14								13,625					
かつお	196	341	538	183	689	1,007	1,878	2,416	10,693	860	11,553	40,174		40,174	258	25	283		54,426					
まじろ	442	1,370	1,813		6,275	66,403	72,678	74,491	89,729	8,094	97,822	45,553	6,835	52,388	35,450	6,799	42,248		286,949					
まじろ	6,686	6	6,693		43,347	766,375	809,722	816,414	154,776	376	155,152	774,694		774,694	205,555	6	219,916		279,785					
ひめだ	323		323	39	737	964	1,099	1,58	1,593	158	1,751	1,593		1,593	13,291	2,181	15,472		18,322					
ひめだ	170		170		964	964	1,135	1,35	1,83	183	1,83	6,669		6,669	86,006	17,553	103,558		111,545					
あおだ	5,927	137	6,064		11	5,598	5,609	5,609	1,875	68	1,943	13,737	623	14,360	382	2	384		22,296					
あこ	2,363		2,363	4,013	66,622	70,636	76,700	15,459	48	15,506	60,964	517	61,480	363	61	424			154,110					
むつ	3,172	3,172	6,344	19,510	69,490	89,000	92,172	3,302	11	3,314	6,831	6,831		6,831	5,797	947	6,745		109,062					
ま	271	10	280	63	57	120	400	20	12	20	24	24		24				1	445					
その他	6	6	12		12	4	1	1	4	5	5	107		107	1,812	239	2,051	960	3,135					
ひら	594	60	654	30	81	155	266	920	286	274	339	339		339	167	9	176		1,995					
かん	2,943	1,218	4,160	89	3,089	2,667	5,845	10,005	1,550	7,055	6,811	24		6,835	5,839	1,479	7,318		31,213					
さわ				6	27	37	71	333	59	393	2,283	2,283		2,283	1,814	1,824	3,638	143	6,528					
めし	449	195	644	12	13	187	26	213	8	62	190	62		252			68		946					
いす	8		8			86	86	115											260					
さめ	29		29																183					
さん																								
ふり	81	6	86		13	33	46	132	9	9	6	6		6				2	149					
ひら	167	36	203	17	36	9	61	264	14	14								3	281					
かれ																			43,745					
ぼら																								
すず	2		2																1					
あな																			149,440					
この																			25,199					
その他																			7,022					
その	8,670	207	8,877	76	1,023	11,402	12,501	21,378	6,835	1,380	8,214	14,374	97	14,472	28,265	8,534	36,799	49,019	129,882					
計	47,681	5,870	53,551	1,924	138,252	1,016,069	1,156,245	1,209,796	296,441	16,216	312,656	1,069,036	8,485	1,077,521	385,371	84,029	469,400	275,684	3,345,057					
い	1,307		1,307	328	22,139	43,703	66,171	67,477	1,090	4	1,095	151		151	47,374	19,603	66,977		135,700					
か	25,234	9,814	35,049	27,822	23,365	16,442	72,629	107,677	6,071	464	6,535	883		883	4,984	177	5,161		120,256					
え																			66					
の																			42					
え																			7,774					
び	47		47																227,325					
の	26,588	9,814	36,403	28,201	50,750	60,145	139,096	175,498	7,368	494	7,862	1,650		1,650	56,026	251,712	307,738	1,281	494,029					
他	1,610	1,267	2,877	8,901	298	9,199	12,076	207	207										2,907					
計	1,984	500	2,484	198	3	97	299	2,783	2,783										12,283					
え	9,560	4,058	13,618	228	236	306	771	14,389	2,003		2,003	305		305					2,783					
び																			16,697					
の	1,287	154	1,440	1,365			1,365	2,806	30	94	124								2,930					
他	457		457					457	207	212	212								17,027					
計	14,897	5,979	20,876	10,693	537	404	11,633	32,509	2,447	98	2,546	305		305					9,388					
え	53,874	3,277	57,151	3,969	18,849	14,103	32,952	90,103	6,349	11	6,360			6,360					61,106					
の																			25,746					
り																			96,463					
わ																			7,029					
の																			751					
他	53,874	3,277	57,151	1,300	18,849	17,121	41,240	98,391	7,127	621	7,748	47		7,748					2,100					
計	143,040	24,941	167,981	46,088	208,388	1,093,739	1,348,274	1,516,195	313,383	17,430	330,812	1,071,037	8,485	1,079,522	441,397	335,741	777,138	302,869	4,006,536					

平成30年 魚種・月・海区别生産量 (大島・利島・新島・式根島・神津島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚種名															
魚類	さば		318	206	1,248	569	708	1,317			1	55	11	4,433	
	とびうお				108	696	1,294	1,019	778					3,895	
	むろあじ			6	34	25	88	149	189					491	
	まあじ							109	1		1			111	
	しまあじ	4	43	62	25	37	89	103	89	43	156	114	14	779	
	たかべ				3,403	3,378	11,626	13,018	6,333	6,692	299				44,749
	いさき	212	298	535	489	3,986	3,638	3,838	2,493	1,118	826	788	365		18,586
	かつお類	11	3	344	1,148	2,510	120	528	7	186	96			383	5,336
	まぐろ類	4,787	1,960	3,946	3,324	2,199	557	1,060	82	107	2,382	5,432	4,536		30,372
	かじき類	372	1,345	1,080	740				412		13,827	79	312	675	18,842
	きんめだい	31,988	55,582	59,683	55,919	43,486	57,010	65,176	37,496	47,032	48,528	70,369	38,158		610,427
	ひめだい				18	84	215	275	142	28	49	12	2		825
	はまだい	40	10	36	27	4	53	12	71	52	48	123	1		477
	あおだい				143	270	280	1,652	615	851	345	165	179		4,500
	めだい	4,159	4,821	6,113	11,084	8,418	14,022	14,157	8,507	6,309	8,569	11,242	3,212		100,613
	あこうだい	301	436	184	215	593	278	184	52	149	176	162	89		2,819
	むつ類	902	207	1,039	11,598	6,759	4,722	4,442	2,868	6,075	5,106	4,938	832		49,488
	まだい	5	8	7	66	79	89	71	59	27	40	20	5		476
	その他のたい							1	4				3	4	12
	ひらまさ	3		71	82	187	310	268	4	3	34	27			989
	かんばち	3	5	17	83	914	2,971	1,870	641	501	440	966	39		8,450
	さわら										83	40	30	5	158
	めじな	45	87	93	110	152	145	158	35	2	15	56	41		939
	いすずみ	1	3	3		1							5		13
	さめ類	22			23	102	29	90			156	25	78	6	531
	さんま														
	ぶり類	34	7	52		21	34	68	11	18	23	24	3		295
	ひらめ	1		16	44	32	16	2			5		3	35	154
	かれい類														
	ぼら類														
すずき												2		2	
あなご															
このしろ															
はぜ															
その他の魚類	1,689	1,178	1,393	2,152	3,577	2,859	2,402	2,190	2,266	2,043	3,272	1,607		26,628	
計	44,579	66,311	74,886	92,083	78,079	101,154	112,384	62,663	85,530	69,321	98,198	50,202		935,390	
水産動物	いか類		74	62	7,213	30,748	7,808	1,304						47,209	
	いせえび	5,138	2,715	1,084	3,969	1,608			1		2,621	4,515	5,958	27,609	
	その他のえび類														
	かめ														
	さんご														
	その他	88	223	200	6								5		522
計	5,226	3,012	1,346	11,188	32,356	7,808	1,304	1		2,621	4,515	5,963		75,340	
貝類	さぎえ	1,425	1,629	1,289	1,520	1,319	1,127	8		969	679	703	1,330	11,998	
	あわび類	151	117	42	66	59	67	85	60	19	13	9		688	
	とこぶし	327	421	385	988	952	570	1,026	821			458	900	6,848	
	ひろせかい														
	くぼがい	43	155	198	203	517	597	346	326	325	103	33	49	2,895	
	あさり類														
	その他	5	28	25	13	150	286	64	34	62		5	14	686	
計	1,951	2,350	1,939	2,790	2,997	2,647	1,529	1,241	1,375	795	1,208	2,293		23,115	
藻類	てんぐさ						56,962	8,003				49,266		114,231	
	とさかのり					8,006	12,941							20,947	
	いわのり														
	その他	59	287	43									24	413	
	計	59	287	43		8,006	69,903	8,003				49,266	24	135,591	
合計	51,815	71,960	78,214	106,061	121,438	181,512	123,220	63,905	86,905	72,737	153,187	58,482		1,169,436	

平成30年 魚種・月・海區別生産量 (大島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
魚種名														
魚	さば		5	30	1,144	490	688	1,289						3,646
	とびうお				19	696	1,294	1,019						3,028
	むろあじ			6	34	25	88	149						302
	まあじ							104	1		1			106
	しまあじ	3	20	17	17	5	59	64	34	3	36	70		328
	たかべ				1,083	678	952	83	3					2,799
	いさき	209	298	523	470	3,895	3,339	3,357	2,198	992	798	752	342	17,173
	かつお類				109	2,372	25	246	3					2,755
	まぐろ類				36	54	114	507	21			29	490	1,251
	かじき類													
	きんめだい	489	336	529	454	156	975	182	356	39	226	345	61	4,148
	ひめだい				5	56	82	36	34	3	2			218
	はまだい			4	7	1	8	6	18	4	14	5		67
	あおだい													
	めだい	295	962	478	497	331	469	466	300	171	480	648	268	5,365
	あこうだい	217	218	136	50	44	24	68	20	97	37	63	59	1,033
	むつ類	168	50	55	70	103	120	48	173	22	130	268	102	1,309
	まだい	1	8	6	33	35	35	44	34	1	36	10		243
	その他のたい							1	4			3	4	12
	ひらまさ			71	33	78	258	236		1		7		684
	かんばち	1	5	12	11	413	1,670	567	131	342	70	267	14	3,503
	さわら													
	めじな	45	87	93	110	150	140	151	29	2	15	56	41	919
	いすずみ	1	3	3		1						5		13
	さめ類				23	102	7	90					6	228
	さんま													
	ぶり類		7	52		21	22	45	11	2	18		3	181
	ひらめ			16	38	29	15	2				3	15	118
	かれい類													
	ぼら類													
すずき											2		2	
あなご														
このしろ														
はぜ														
その他の魚類	321	187	458	999	1,033	1,124	637	455	200	797	908	608	7,727	
計	1,750	2,186	2,489	5,242	10,768	11,509	9,400	3,821	1,879	2,660	3,441	2,013	57,158	
水産動物	いか類		74	62	461	147	37	23						804
	いせえび	1,043	293	90	1,493	1,426				1,800	2,123	2,038		10,306
	その他のえび類													
	かめ													
	さんご													
その他			22									5	27	
計	1,043	367	174	1,954	1,573	37	23			1,800	2,123	2,043	11,137	
貝類	さざえ	310	428	400	261	430	416	8		577	272	52	360	3,514
	あわび類	139	116	42	66	58	67	83	59	19	10			659
	とこぶし	327	421	385	925	855	559	969	821			458	900	6,620
	ひろせかい													
	くぼがい	32	155	193	187	377	328	53	208	304	103	33	49	2,022
	あさり類													
	その他	5	28	25	13	150	286	64	34	62		5	14	686
計	813	1,148	1,045	1,452	1,870	1,656	1,177	1,122	962	385	548	1,323	13,501	
藻類	てんぐさ						49,507						28,286	77,793
	とさかのり													
	いわのり													
	その他													
計						49,507						28,286	77,793	
合計	3,606	3,701	3,708	8,648	14,211	62,709	10,600	4,943	2,841	4,845	34,398	5,379	159,589	

平成30年 魚種・月・海区別生産量 (利島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚	さば													0	
	とびうお													0	
	むろあじ													0	
	まあじ							5						5	
	しまあじ													0	
	たかべ							193	218	174	299				884
	いさき										5				5
	かつお類					29	6	19			17	26		22	119
	まぐろ類														0
	かじき類														0
	きんめだい														0
	ひめだい														0
	はまだい														0
	あおだい														0
	めだい														0
	あこうだい														0
	むつ類														0
	まだい														0
	その他のたい														0
	ひらまさ										2	19			21
	かんばち	2				1			31	5	4	5	3	3	54
	さわら													5	5
	めじな														0
	いすずみ														0
	さめ類														0
	さんま														0
	ぶり類														0
	ひらめ					6									6
	かれい類														0
	ぼら類														0
すずき														0	
あなご														0	
このしろ														0	
はぜ														0	
その他の魚類					7			1		10	6	12	9	45	
計	2	0	0	13	30	6	249	223	207	360	15	39		1,144	
水産動物	いか類				85	87	7							179	
	いせえび	2,929	1,116	364	2,136	182			1		590	301	722	8,341	
	その他のえび類													0	
	かめ													0	
	さんご													0	
	その他	15	34	67	6										122
計	2,944	1,150	431	2,227	269	7	0	1	0	590	301	722		8,642	
貝類	さざえ	1,115	1,201	889	979	889	711			392	407	651	970	8,204	
	あわび類	12	1					2	1			3			19
	とこぶし						11	57							68
	ひろせかい														0
	くぼがい	11		5	16	140	269	293	118	21					873
	あさり類														0
その他														0	
計	1,138	1,202	894	995	1,029	991	352	119	413	410	651	970		9,164	
藻類	てんぐさ													0	
	とさかのり					8,006	3,351							11,357	
	いわのり													0	
	その他	59	287	43									24	413	
計	59	287	43	0	8,006	3,351	0	0	0	0	0	24		11,770	
合計	4,143	2,639	1,368	3,235	9,334	4,355	601	343	620	1,360	967	1,755		30,720	

平成30年 魚種・月・海区別生産量 (新島・式根島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚種名															
魚	さば													0	
	とびうお								778					778	
	むろあじ								189					189	
	まあじ													0	
	しまあじ		9	19	1	14	5	7	2	13	100	7		177	
	たかべ				2,320	2,700	10,387	12,742	5,729	6,092					39,970
	いさき			12	17	35	162	329	293	113		28	17		1,006
	かつお類	7	3	41	191	65	69		4	139		4		346	869
	まぐろ類	3,175		974	585	21	185			8	53	172	181	425	5,779
	かじき類														0
	きんめだい	2,614	5,588	2,584	590	244	1,028	3,258	1,580	1,363	3,258	5,208	2,157		29,472
	ひめだい					4	13	12							29
	はまだい														0
	あおだい									5					5
	めだい	44	262	136	1,019	1,049	760	992	142	82	38	41	45		4,610
	あこうだい	45	144	30	33	7	27	69	23	14	93	39	14		538
	むつ類	62		9	3,532	4,786	964	311	1			2	22	10	9,699
	まだい					4	5	14	25	23	2	6			79
	その他のたい														0
	ひらまさ					25	1	17	4		15	20			82
	かんばち					1	115	684	478	102	287	617			2,284
	さわら									50					50
	めじな					2	5	2	6						15
	いすずみ														0
	さめ類														0
	さんま														0
	ぶり類							11	15				3		29
	ひらめ										5			20	25
	かれい類														0
	ぼら類														0
すずき														0	
あなご														0	
このしろ														0	
はぜ														0	
その他の魚類	397	143	6	53	1	11	87	33	13	18	54	112		928	
計	6,344	6,149	3,811	8,341	8,958	13,748	18,539	9,300	8,062	3,989	6,226	3,146		96,613	
水産動物	いか類				3,123	6,860	1,997	279						12,259	
	いせえび	628	580		340						231	905	2,981	5,665	
	その他のえび類													0	
	かめ													0	
	さんご													0	
	その他	73	189	111											373
計	701	769	111	3,463	6,860	1,997	279	0	0	231	905	2,981	18,297		
貝類	さざえ				280									280	
	あわび類													0	
	とこぶし				63									63	
	ひろせかい													0	
	くぼがい													0	
	あさり類													0	
	その他													0	
計	0	0	0	343	0	0	0	0	0	0	0	0	343		
藻類	てんぐさ						7,455					14,938		22,393	
	とさかのり													0	
	いわのり													0	
	その他													0	
計	0	0	0	0	0	7,455	0	0	0	0	14,938	0	22,393		
合計	7,045	6,918	3,922	12,147	15,818	23,200	18,818	9,300	8,062	4,220	22,069	6,127	137,646		

平成30年 魚種・月・海區別生産量 (神津島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚種名															
魚	さば		313	176	104	79	20	28			1	55	11	787	
	とびうお				89									89	
	むろあじ													0	
	まあじ													0	
	しまあじ	1	14	26	7	18	25	32	53	27	20	37	14	274	
	たかべ						287		383	426				1,096	
	いさき	3			2	56	137	152	2	13	23	8	6	402	
	かつお類	4		303	848	44	20	263			30	66		1,593	
	まぐろ類	1,612	1,960	2,972	2,703	2,124	258	553	53	54	2,210	5,222	3,621	23,342	
	かじき類	372	1,345	1,080	740				412		13,827	79	312	675	18,842
	きんめだい	28,885	49,658	56,570	54,875	43,086	55,007	61,736	35,560	45,630	45,044	64,816	35,940	576,807	
	ひめだい				13	24	120	227	108	25	47	12	2	578	
	はまだい	40	10	32	20	3	45	6	53	48	34	118	1	410	
	あおだい				143	270	280	1,652	610	851	345	165	179	4,495	
	めだい	3,820	3,597	5,499	9,568	7,038	12,793	12,699	8,065	6,056	8,051	10,553	2,899	90,638	
	あこうだい	39	74	18	132	542	227	47	9	38	46	60	16	1,248	
	むつ類	672	157	975	7,996	1,870	3,638	4,083	2,694	6,053	4,974	4,648	720	38,480	
	まだい	4		1	33	40	49	13		3	2	4	5	154	
	その他のたい													0	
	ひらまさ	3			49	84	51	15						202	
	かんぼち			5	72	499	1,186	588	27	53	78	79	22	2,609	
	さわら									33	40	30		103	
	めじな							5						5	
	いすずみ													0	
	さめ類	22						22		156	25	78		303	
	さんま													0	
	ぶり類	34						1	8		16	5	21	85	
	ひらめ	1				3	1							5	
	かれい類													0	
	ぼら類													0	
すずき													0		
あなご													0		
このしろ													0		
はぜ													0		
その他の魚類	971	848	929	1,093	2,543	1,724	1,677	1,702	2,043	1,222	2,298	878	17,928		
計	36,483	57,976	68,586	78,487	58,323	75,891	84,196	49,319	75,382	62,312	88,516	45,004	780,475		
水産動物	いか類				3,544	23,654	5,767	1,002						33,967	
	いせえび	538	726	630								1,186	217	3,297	
	その他のえび類													0	
	かめ													0	
	さんご													0	
	その他													0	
計	538	726	630	3,544	23,654	5,767	1,002	0	0	0	1,186	217	37,264		
貝類	さざえ													0	
	あわび類					1						9		10	
	とこぶし					97								97	
	ひろせかい													0	
	くぼがい													0	
	あさり類													0	
	その他													0	
計	0	0	0	0	98	0	0	0	0	0	9	0	107		
藻類	てんぐさ							8,003				6,042		14,045	
	とさかのり						9,590							9,590	
	いわのり													0	
	その他													0	
計	0	0	0	0	0	9,590	8,003	0	0	0	6,042	0	23,635		
合計	37,021	58,702	69,216	82,031	82,075	91,248	93,201	49,319	75,382	62,312	95,753	45,221	841,481		

平成30年 魚種・月・海區別生産量 (三宅島・御蔵島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚種名															
魚	さば		469	104	97	42	29	17					31	789	
	とびうお			312	1,651	104	76							2,143	
	むろあじ		2		329	710	445	38		2			4	1,530	
	まあじ														
	しまあじ	36	17	7	10	62	27	189	28	16	62	63	56	573	
	たかべ				4	1	383	1,452	486	35	61			2,422	
	いさき			1	5	2	3	1	1					1	14
	かつお類	36	29	519	6,205	1,828	2,728	1,787	3,175	2,190	3,031	622	126	22,276	
	まぐろ類	4,893	5,161	12,457	24,915	17,714	8,270	3,570	466	226	496	4,790	2,780	85,738	
	かじき類	298	557	1,074	573						80	271	249	3,102	
	きんめだい	7,595	7,027	6,850	7,010	10,546	10,904	12,938	9,667	11,934	12,667	13,268	4,199	114,605	
	ひめだい			1	1	16	33	32	6		19	13	1	122	
	はまだい							106						106	
	あおだい		41		6	156	78	510	101	18	174	255	52	1,391	
	めだい	193	797	686	815	6,407	563	7,449	2,282	587	246	218	343	20,586	
	あこうだい	36	64	21	24	142	36	31	38	43	25	49	35	544	
	むつ類	40		84	721	644	38	69	28	81	112	86	103	2,006	
	まだい					12		13					1	1	27
	その他のたい					7		1	1					1	10
	ひらまさ	38			134	168	149	15	24	199	108	36			871
	かんばち	60	42	15	80	656	940	1,592	193	986	1,079	675	78	6,396	
	さわら	5			39	67	9	9	8	77	148	408	226	996	
	めじな	23	110	129	3	1	1	6	8	3	2			6	292
	いすずみ														
	類	さめ類													
		さんま													
		ぶり類				6		3	7		4				20
		ひらめ				3							5		8
		かれい類													
		ぼら類					2								2
すずき															
あなご															
このしろ															
はぜ															
その他の魚類		356	131	211	350	1,050	848	963	705	732	819	1,177	313	7,655	
計		13,609	14,447	22,471	42,981	40,337	25,563	30,795	17,217	17,133	19,129	21,937	8,605	274,224	
水産動物	いか類			25	107	492	164	4	2					794	
	いせえび	13	19	24	117	149				21		356	451	1,150	
	その他のえび類														
	かめ														
	さんご														
その他				18		32			49		1	8	108		
計	13	19	49	242	641	196	4	2	70		357	459	2,052		
貝類	さざえ									126	46			172	
	あわび類														
	とこぶし						281	260						541	
	ひろせかい														
	くぼがい				11	50		24		22	1	1		109	
	あさり類														
その他				26			4		55			40	125		
計				37	50		309	260	203	47	1	40	947		
藻類	てんぐさ						8	3,661		3,493				7,162	
	とさかのり														
	いわのり		1		215								1	217	
	その他			42	177								1	220	
計		1	42	392		8	3,661		3,493			2	7,599		
合計	37,021	58,702	69,216	82,031	82,075	91,248	93,201	49,319	75,382	62,312	95,753	45,221	841,481		

平成30年 魚種・月・海區別生産量（八丈島・青ヶ島）

（単位：kg）

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
魚種名															
魚	さば												59	59	
	とびうお	421	60,037	75,705	6,897									143,060	
	むろあじ		2	4	1				9,665	21,464	16,469	21,944	13,090	82,639	
	まあじ														
	しまあじ				5						24	255	29	313	
	たかべ														
	いさき														
	かつお類	613	6,077	12,887	26,052	9,473	1,799	4,034	2,962	1,880	695	672	277	67,421	
	まぐろ類	2,272	2,783	14,412	19,542	7,762	515	239	1,073	1,496	4,040	4,100	4,190	62,424	
	かじき類	1,349	2,033	3,509	1,150									278	8,319
	きんめだい	14,506	35,000	68,873	67,530	71,995	30,153	105,810	31,200	42,994	26,148	22,942	10,708	527,859	
	ひめだい	19		2	137	199	59	346	117	158	45	112	48	1,242	
	はまだい	36	105	53	970	616		557	117	34	74	777	78	3,417	
	あおだい	121	16	44	147	373	883	1,672	618	2,099	685	1,354	616	8,628	
	めだい	1,629	8,296	9,238	10,108	14,931	4,927	18,058	4,222	5,019	2,974	7,572	2,416	89,390	
	あこうだい		1	4	12			2		1	7	8	7	1	43
	むつ類	108	411	282	397	284	227	547	174	93	148	286	631	3,588	
	まだい		3		2			7		2	1	6	6	27	
	その他のたい							40		60					100
	ひらまさ	20	36	25	107	81	32	39	20	22	16	32	55	485	
	かんばち	64	23	20	272	189	97	703	712	1,065	705	1,255	497	5,602	
	さわら	163		72	343	189	6		71	2,177	2,293	1,710	765	7,789	
	めじな	15		12	2	8	2	16	2	3	1	9		70	
	いすずみ		20	7	240	200		9			83			559	
	類	さめ類													
		さんま													
		ぶり類			4								4		8
		ひらめ													
		かれい類													
		ぼら類													
すずき										1				1	
あなご															
このしろ															
はぜ															
その他の魚類		593	893	2,156	1,619	1,432	916	2,810	2,047	2,043	1,355	2,224	738	18,826	
計		21,929	115,736	187,309	135,533	107,732	39,625	134,880	53,003	80,616	55,769	65,261	34,476	1,031,869	
水産動物	いか類				28	84								112	
	いせえび	2			3	14					109	40	16	184	
	その他のえび類					4						1		5	
	かめ														
	さんご														
	その他						3	4	5	116	131	184	9	452	
計	2			31	102	3	4	5	116	240	225	25	753		
貝類	さざえ														
	あわび類														
	とこぶし								70					70	
	ひろせかい														
	くぼがい														
	あさり類														
その他															
計								70					70		
藻類	てんぐさ														
	とさかのり				65									65	
	いわのり														
	その他			5										5	
計			5	65									70		
合計	21,931	115,736	187,314	135,629	107,834	39,628	134,884	53,078	80,732	56,009	65,486	34,501	1,032,762		

平成30年 魚種・月・海区別生産量 (小笠原父島・母島)

(単位: kg)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
魚種名														
魚	さば													
	とびうお			2										2
	むろあじ	1	3	2	4		5	5	28	3	1		4	56
	まあじ													
	しまあじ	22	3	11		12		45		2	12	6	37	150
	たかべ													
	いさき	3	5	6	18	9	11	6	1	13	8	1	9	90
	かつお類		15	9	12	41	46	89	172	48	7	21	7	467
	まぐろ類	1,532	1,868	1,253	2,476	2,276	2,022	1,478	1,093	2,808	4,884	4,154	3,462	29,306
	かじき類	2,050	4,148	5,709	14,093	41,452	61,542	21,798	12,734	24,664	22,478	9,285	7,308	227,261
	きんめだい							7			1			8
	ひめだい	1,512	629	890	1,849	1,829	2,311	982	1,266	2,282	2,058	785	2,109	18,502
	はまだい	3,614	4,088	5,255	15,615	10,581	9,225	3,259	2,755	6,979	4,643	4,604	9,202	79,820
	あおだい	56		2	11	10	1		3	36	21	7	212	359
	めだい	21	25	45	82	81	59	53	39	90	23	23	32	573
	あこうだい													
	むつ類	301	626	693	1,893	1,977	1,208	230	197	551	630	315	579	9,200
	まだい													
	その他のたい	128	152	200	509	517	490	179	70	250	305	247	336	3,383
	ひらまさ	53			16	20		86		37	34		32	278
	かんばち	659	657	945	1,762	1,826	966	777	600	1,192	668	691	1,079	11,822
	さわら	1,075	1,079	2,082	1,199	111	42	38	93	504	596	734	515	8,068
	めじな													
	いすずみ													
	さめ類		52		68	47			77		36		58	338
	さんま													
	ぶり類													
ひらめ														
かれい類														
ぼら類														
すずき														
あなご														
このしろ														
はぜ														
その他の魚類	934	1,886	2,660	4,757	5,027	3,794	1,910	2,875	2,723	2,024	1,355	2,107	32,052	
計	11,961	15,236	19,764	44,364	65,816	81,722	30,942	22,003	42,182	38,429	22,228	27,088	421,735	
水産動物	いか類	8,581	27,714	12,447	6,019	434	11	15	61	841	4,603	11,785	9,148	81,659
	いせえび					21	4			28	475	1,295		1,823
	その他のえび類									7	6			13
	かめ			2,805	7,727	1,077	250							11,859
	さんご	23				38					47	8		116
	その他	110	2		25			160		30			4	331
計	8,714	27,716	15,252	13,771	1,570	265	175	61	899	5,132	13,094	9,152	95,801	
貝類	さざえ													
	あわび類													
	とこぶし													
	ひろせかい													
	くぼがい													
	あさり類													
その他														
計														
藻類	てんぐさ													
	とさかのり													
	いわのり													
	その他													
計														
合計	20,675	42,952	35,016	58,135	67,386	81,987	31,117	22,064	43,081	43,561	35,322	36,240	517,536	

内湾域の生産量・生産額の推移

単位 生産量：トン、生産額：百万円

区分		年				
		26年	27年	28年	29年	30年
魚類	生産量	225	262	214	204	227
	生産額	159	268	276	253	276
その他の水産動物	生産量	0	0	1	1	1
	生産額	1	0	1	1	1
貝類	生産量	204	67	66	60	60
	生産額	85	27	26	23	26
合計	生産量	430	329	281	265	288
	生産額	245	295	303	277	303

島しょ地域の生産量・生産額の推移

単位 生産量：トン、生産額：百万円

区分		年				
		26年	27年	28年	29年	30年
魚類	生産量	2,749	2,561	2,730	2,496	2,663
	生産額	2,794	2,951	2,912	2,999	3,069
その他の水産動物	生産量	144	97	149	96	174
	生産額	361	438	488	406	493
貝類	生産量	32	27	36	42	24
	生産額	44	38	24	57	35
藻類	生産量	218	175	205	171	143
	生産額	97	103	128	131	106
合計	生産量	3,142	2,860	3,120	2,805	3,004
	生産額	3,295	3,530	3,552	3,593	3,703

主要魚種別生産量の推移

単位：トン

年 魚種	26年	27年	28年	29年	30年
さば類	14	12	12	10	6
とびうお	275	145	201	102	149
あじ類	172	188	147	80	87
かつお類	80	31	129	53	96
まぐろ・かじき類	399	424	405	392	465
たかべ	50	51	78	55	47
あなご	8	11	13	8	10
貝類	236	94	102	103	84
えび・いか類	125	80	132	84	161
てんぐさ等の藻類	218	156	205	171	143
その他の魚類	1,995	1,997	1,976	2,012	2,045
合計	3,572	3,189	3,400	3,070	3,293

内水面養殖生産量

単位：kg

年 魚種	26年	27年	28年	29年	30年
あゆ	3,590	3,300	2,717	3,470	3,750
にじます	35,910	34,234	32,678	25,136	33,538
その他のます類	28,137	28,881	27,286	21,428	23,989
その他	0	0	0	0	0
計	67,637	66,415	62,681	50,034	61,277

資料：水産課調べ

金魚類養殖生産量

単位：尾

年 種類	26年	27年	28年	29年	30年
琉金	133,401	76,189	72,337	70,744	81,685
出目金	55,984	32,472	30,522	74,440	46,404
朱文金	56,408	49,352	52,123	71,890	49,481
和金	40,234	25,024	22,994	16,368	13,319
コメット	91,625	127,338	137,980	109,579	80,484
色鯉	3,836	4,995	2,325	12,935	1,471
ひめだか	55,687	55,877	61,274	100,104	257,142
その他	595,163	502,988	532,372	430,228	500,528
計	1,032,338	874,235	911,927	886,288	1,030,514

資料：東京都淡水魚養殖漁業協同組合調べ

平成30年 魚種・地区別単価表

(単位：円/kg)

地区名		大島	利島	新島	神津島	三宅島	八丈島	小笠原	内湾	平均
魚種名										
魚	さば	68			198	400	305		95	133
	とびうお	264		334	248	515	425	260		423
	むろあじ	548		216		272	317	342		316
	まあじ	402	555						194	249
	しまあじ	3,756		3,053	3,202	2,592	1,775	1,717		2,726
	たかべ	888	1,715	1,431	1,891	1,212				1,403
	いさき	727	690	920	407	969		419		729
	かつお類	195	1,536	792	632	519	596	605		570
	まぐろ類	1,449		1,086	2,845	1,141	839	1,442		1,284
	かじき類				1,026	1,036	880	1,100		1,086
	きんめだい	1,613		1,471	1,329	1,354	1,468	690		1,394
	ひめだい	1,482		1,331	1,275	1,293	1,283	836		885
	はまだい	2,544			2,352	1,725	1,952	1,297		1,331
	あおだい			2,192	1,245	1,397	1,664	1,071		1,499
	めだい	1,130		871	735	753	688	740		730
	あこうだい	2,287		2,002	1,440	1,944	1,573			1,868
	むつ類	2,423		2,012	1,806	1,652	1,904	733		1,697
	まだい	1,154		796	370	733	875		1,000	837
	その他のたい	976				469	1,068	606	747	654
	ひらまさ	956	1,447	986	769	643	698	634		761
	かんばち	1,188	1,645	1,353	1,022	1,103	1,220	619		967
	さわら		1,210	546	361	394	293	451	443	377
	めじな	701		802	254	728	1,083			727
	いすずみ	620					451			454
	さめ類	126			284			201		210
	さんま									
	ぶり類	476		432	387	440	712		200	446
	ひらめ	1,717	2,833	1,423	1,749	1,785			1,500	1,715
	かれい類								1,620	1,620
	ぼら類					324				324
	すずき	778					518		1,200	1,200
	あなご								2,550	2,550
	このしろ								507	507
はぜ										
その他の魚類	1,149	1,698	1,102	636	1,073	769	1,148	997	967	
水産物の	いか類	1,625	1,835	1,806	1,287	1,379	1,348	820		1,046
	いせえび	3,401	3,336	5,007	4,987	5,683	4,799	2,831		3,909
	その他のえび類						4,838	3,241		3,685
	かめ							655		655
	さんご							1,959,701		1,959,701
	その他水産動物	1,755	415	659		2,152	1,309	1,386	1,516	1,288
貝類	さざえ	819	1,085	1,063		1,201				1,009
	あわび類	3,769	10,442		9,737					4,045
	とこぶし	2,057	3,355	3,750	3,158	3,702	4,357			2,238
	ひろせかい									
	くぼがい	712	1,564			1,139				975
	あさり類								327	327
	その他の貝類	666				1,695			1,135	1,105
藻類	てんぐさ	735		842	1,004	888				795
	とさかのり		349		315		648			335
	いわのり					3,463				3,463
	その他の藻類		3,149			2,895	1,000		771	2,491

3 漁船

(1) 漁船の推移

(平成30年12月末現在)

年度等	項目		内		湾		島			会社・官庁・その他			計		
	隻数	総トン数	隻数	馬力数	隻数	馬力数	隻数	総トン数	馬力数	隻数	総トン数	馬力数	隻数	総トン数	馬力数
平成25	212	590.08	828	14,065	828	3,771.94	43	30,736.98	43,926	1,083	35,099.00	147,102	1,083	35,099.00	147,102
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成26	210	564.11	814	13,698	814	3,735.56	40	31,289.38	47,405	1,064	35,589.05	153,023	1,064	35,589.05	153,023
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成27	208	551.74	790	13,742	790	3,660.70	41	37,115.38	50,943	1,039	41,327.82	156,759	1,039	41,327.82	156,759
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成28	208	551.30	774	14,115	774	3,626.52	43	38,600.38	56,199	1,025	42,778.20	161,933	1,025	42,778.20	161,933
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成29	198	526.42	741	13,676	741	3,550.78	40	38,206.47	55,549	979	42,283.67	163,919	979	42,283.67	163,919
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成30	188	495.95	729	13,792	729	3,505.19	43	47,914.87	68,557	960	51,916.01	181,350	960	51,916.01	181,350
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 漁船登録事務取扱い件数

(平成30年4月～平成31年3月)

項目	船級	総数	1級		2級		3級	4・5級		6級	7級
			15t以上	15t未満	15t以上	15t未満					
総数		459	91	18	89	261	0	0	0	0	0
新規登録	建造	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0
	転用	8	0	0	1	7	0	0	0	0	0
	その他	51	4	1	11	35	0	0	0	0	0
	計	63	7	1	12	43	0	0	0	0	0
変更登録		58	5	4	20	29	0	0	0	0	0
再交付		11	0	1	2	8	0	0	0	0	0
謄本交付		120	74	5	5	36	0	0	0	0	0
抹消登録	失効	59	1	3	9	46	0	0	0	0	0
	取消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	59	1	3	9	46	0	0	0	0	0
検認	合格	148	4	4	41	99	0	0	0	0	0
	不合格	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	148	4	4	41	99	0	0	0	0	0

(3) 建造・改造・転用許可(漁船)

(平成30年4月～平成31年3月)

許可の種類	隻数	総トン数	馬力数	摘要
建造	0	0.00	0	0
	1	9.10	450	450
	1	9.10	450	450
改造	2	9.20	569	569
	11	103.98	4,481	4,481
	13	113.18	5,050	5,050
転用	0	0.00	0	0
	0	0.00	0	0
	0	0.00	0	0

(4) 等級別登録漁船状況 (平成30年12月末現在)

等級	隻数	総トン数	馬力数				
				5 ^ト ～9 ^ト	10 ^ト ～14 ^ト	15 ^ト ～19 ^ト	20 ^ト ～29 ^ト
TK6	0	0.00	0				
TK3	181	116.15	7,913				
	306	503.69	17,432				
	141	591.19	15,197				
TK2	197	1,526.26	43,398				
	67	809.61	17,398				
	29	497.41	11,905				
	0	0.00	0				
	1	44.00	1,167				
	1	87.00	1,030				
TK1	3	515.00	2,432				
	34	47,225.70	63,478				
総計	960	51,916.01	181,350				

(TK6とTK3兼用船は、TK3に含める)

(5) 島しょ組合別登録漁船（官公庁船除く）

平成30年12月末現在

区分 漁協名	動 力									漁 船											
	20トン以上			20トン未満 10トン以上			10トン未満 5トン以上			5トン未満 3トン以上			3トン未満 1トン以上			1トン未満			計		
	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数
岡田				1	7.30	330	14	55.26	1,601	14	21.33	763	16	10.64	990	45	94.53	3,684			
							1	3.36	70	9	13.98	728	7	5.10	385	17	22.44	1,183			
伊豆大島				1	6.60	90	5	20.50	758	5	8.76	360	10	6.60	450	21	42.46	1,658			
				1	7.90	90	7	29.66	510	14	23.99	665	5	2.50	180	28	76.05	1,565			
差木地				2	14.10	190	3	12.54	230	3	3.91	90	8	4.50	287	18	65.05	1,077			
				2	16.40	210	2	9.53	338	8	13.05	425	13	9.30	690	26	65.28	2,302			
波浮港				2	13.79	160	6	25.20	846	10	19.10	545	1	0.60	60	19	58.69	1,611			
				2	45.44	1,682	7	28.07	732	9	18.41	781	3	2.10	90	30	163.38	5,246			
元 町				6	22.03	260	6	27.19	440	3	3.98	100				17	126.20	2,723			
				3	56.54	975	6	25.20	831	22	35.39	1,276	8	6.90	420	47	170.29	4,244			
利 島 村				8	330.05	9,272	8	31.09	776	38	79.47	2,031	1	0.60	25	131	984.93	27,253			
				20	161.86	3,106	15	65.55	1,607	37	57.24	2,045	30	20.33	1,003	114	463.01	10,631			
新 島				1	5.66	110				22	27.60	1,339	10	7.80	487	33	41.06	1,936			
				34	256.07	7,808	1	4.00	70	2	2.30	80	16	7.33	628	60	378.87	10,006			
にいじま 若 郷				25	205.41	9,584	9	39.62	1,305	1	1.70	77	1	0.81	30	38	270.07	11,236			
				14	111.53	4,734	6	27.50	784	1	2.67	50	1	0.40	60	22	142.10	5,628			
式根島				185	1,437.50	41,753	108	453.56	11,887	202	342.49	11,562	147	93.12	6,515	729	3,505.19	99,001			
				43	330.05	9,272	8	31.09	776	38	79.47	2,031	1	0.60	25	131	984.93	27,253			
神 津 島				20	161.86	3,106	15	65.55	1,607	37	57.24	2,045	30	20.33	1,003	114	463.01	10,631			
				2	5.66	110				22	27.60	1,339	10	7.80	487	33	41.06	1,936			
三 宅 島				7	109.17	1,420	1	4.00	70	2	2.30	80	16	7.33	628	60	378.87	10,006			
				22	176.82	3,152	7	30.59	520	1	2.21	17	17	7.61	730	55	314.68	6,359			
御 蔵 島 村				5	18.7	469	5	18.7	469	3	7.4	190				8	26.10	659			
				25	205.41	9,584	9	39.62	1,305	1	1.70	77	1	0.81	30	38	270.07	11,236			
八丈島				14	111.53	4,734	6	27.50	784	1	2.67	50	1	0.40	60	22	142.10	5,628			
				2	22.53	240	9	39.62	1,305	1	1.70	77	1	0.81	30	38	270.07	11,236			
青ヶ島村																					
				2	22.53	240	9	39.62	1,305	1	1.70	77	1	0.81	30	38	270.07	11,236			
小笠原島																					
				14	111.53	4,734	6	27.50	784	1	2.67	50	1	0.40	60	22	142.10	5,628			
小笠原母島				185	1,437.50	41,753	108	453.56	11,887	202	342.49	11,562	147	93.12	6,515	729	3,505.19	99,001			
				0	0.00	0	87	1,178.52	27,284												
計	0	0.00	0	87	1,178.52	27,284	108	453.56	11,887	202	342.49	11,562	147	93.12	6,515	729	3,505.19	99,001			

4 漁業制度と都の漁業

東京都の海域においては、大小様々な操業形態の漁業が営まれている。それらの漁業は、水産動植物の繁殖保護又は漁業調整のために、漁業法や水産資源保護法といった国の制度による規制の外、東京都漁業調整規則等、東京都が独自に定めた規則において、漁業許可や漁具・漁法の制限などが規定され、操業が規制されている。

○ 漁業の制度

§ 1 大臣許可漁業等

(1) 指定漁業

水産動植物の繁殖保護又は漁業調整のため、漁業者及びその使用する船舶について制限措置を講ずる必要があり、かつ、政府間の取決め、漁場の位置その他の関係上当該措置を統一して講ずることが適当と認められる漁業について、漁業法第 52 条の規定に基づき、政令で定められた漁業である。

- ① 沖合底びき網漁業 ② 以西底びき網漁業 ③ 遠洋底びき網漁業 ④ 大中型まき網漁業
- ⑤ 大型捕鯨業 ⑥ 小型捕鯨業 ⑦ 母船式捕鯨業 ⑧ 遠洋かつお・まぐろ漁業
- ⑨ 近海かつお・まぐろ漁業 ⑩ 中型さけ・ます流し網漁業 ⑪ 北太平洋さんま漁業
- ⑫ 日本海べにずわいがに漁業 ⑬ いか釣り漁業

(2) 特定大臣許可漁業

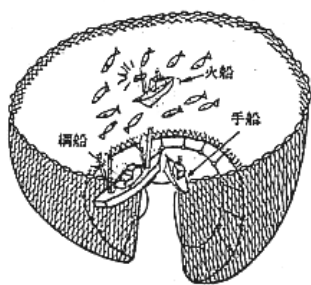
漁業法第 65 条及び水産資源保護法第 4 条の規定に基づく特定大臣許可漁業等の取締りに関する省令第 1 条第 2 項で定められた漁業である。

- ① ずわいがに漁業 ② 東シナ海等かじき等流し網漁業 ③ かじき等流し網漁業
- ④ 東シナ海はえ縄漁業 ⑤ 大西洋はえ縄等漁業 ⑥ 太平洋底刺し網等漁業

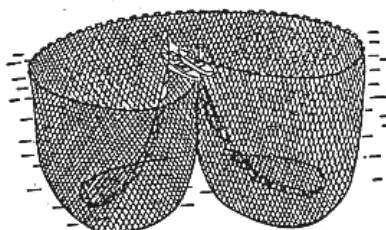
(3) 届出漁業

特定大臣許可漁業等の取締りに関する省令第 1 条第 3 項で定められた漁業である。

- ① 沿岸まぐろはえ縄漁業 ② 小型するめいか釣り漁業 ③ 暫定措置水域沿岸漁業等

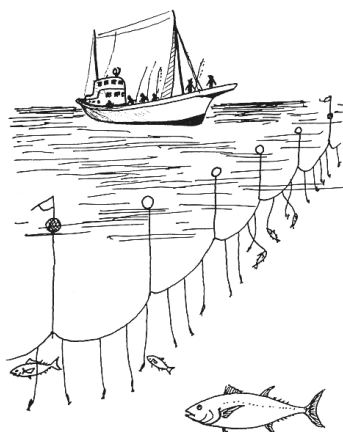


1 ほうまき網



2 ほうまき網

指定漁業（大中型まき網漁業）



指定漁業（遠洋かつお・まぐろ漁業）

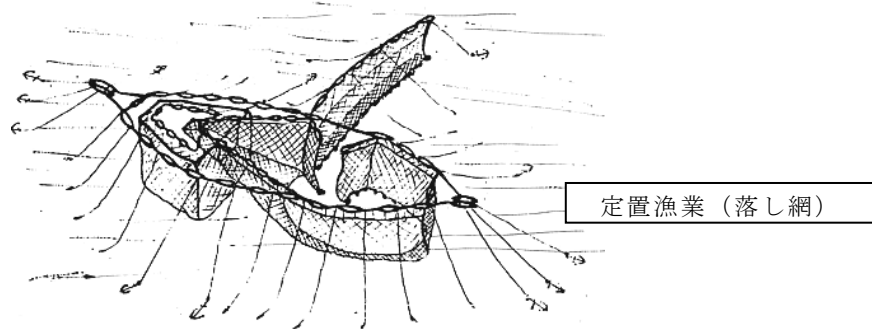
§ 2 知事免許漁業

漁業法第 10 条の規定により、都道府県知事の免許を受けて営む漁業であり、いわゆる漁業権に基づいて営まれる漁業である。

漁業権は、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利であり、次の 3 種類の漁業権が規定されている。

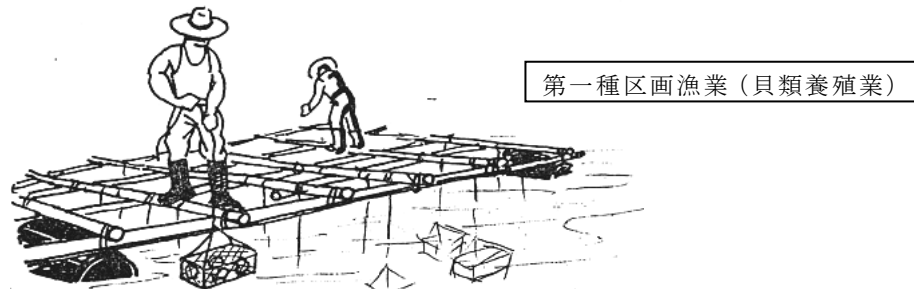
(1) 定置漁業権

一定の水面に漁具を定置して営む漁業で、主として、水深 27m 以深に漁具を設置する漁業である。



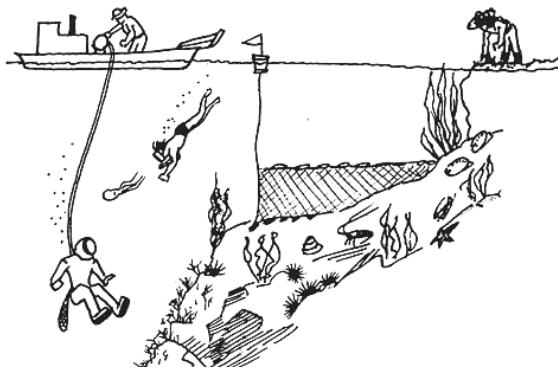
(2) 区画漁業権（第一種～第三種区画漁業、特定区画漁業）

一定の区域内で養殖業を営む権利で、その形態等によって 4 種類に区分されている。

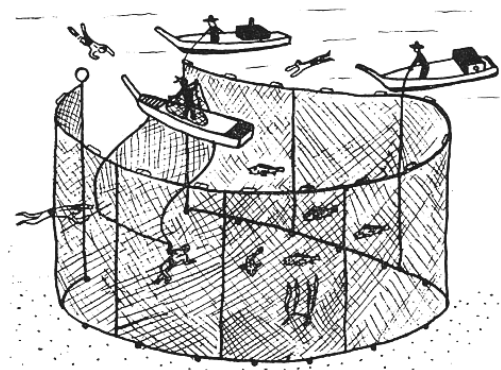


(3) 共同漁業権（第一種～第五種共同漁業）

一定の水面を共同に利用して行う漁業を営む権利である。共同漁業権は、本来自由に行われるべき漁業を、漁業者に自ら漁場を管理させるために、漁業協同組合を対象として免許されるものである。共同漁業権は、その形態等によって 5 種類に区分されている。



第一種共同漁業（採貝藻漁業）



第二種共同漁業（建切網漁業）

§ 3 法定知事許可漁業

都道府県間にまたがる漁業調整の関係等により、統一的に規制する必要がある漁業として、漁業法第 66 条に規定されている漁業である。

(1) 法定知事許可漁業

- ① 中型まき網漁業
- ② 小型機船底びき網漁業
- ③ 瀬戸内海機船船びき網漁業
- ④ 小型さけ・ます流し網漁業

(2) 都における法定知事許可漁業

中型まき網漁業（総トン数 5 トン以上 40 トン未満）

§ 4 知事許可漁業

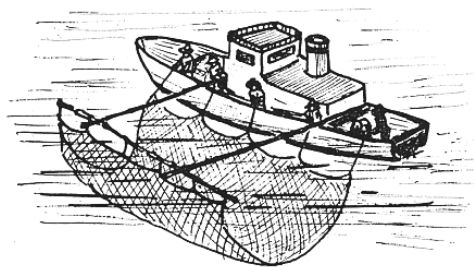
都道府県知事は、漁業法第 65 条の漁業調整に関する命令の規定に基づき、各都道府県毎の実情に応じて、それぞれ漁業調整規則を定めている。東京都における知事許可漁業は、海面においては東京都漁業調整規則第 7 条に、内水面においては東京都内水面漁業調整規則第 6 条にそれぞれ規定されている。

(1) 海面の許可漁業

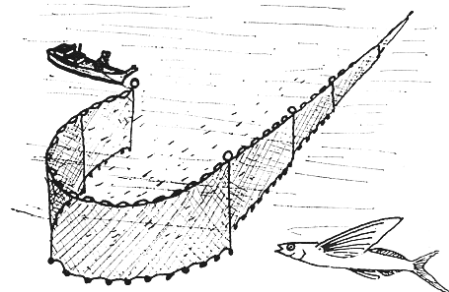
- ① さんご
 - ② かめ（あおうみがめ対象）
 - ③ 棒受け網漁業（総トン数 5 トン以上）
 - ④ 火光利用さば漁業（総トン数 5 トン以上）
 - ⑤ 小型まき網漁業（総トン数 5 トン未満）
 - ⑥ 機船船びき網漁業
 - ⑦ とびうお流し刺し網漁業
 - ⑧ とびうお流しまき網漁業
 - ⑨ 刺し網漁業（内湾を除く。）
 - ⑩ 潜水器漁業
 - ⑪ いそ魚寄せ網漁業
 - ⑫ 建て切り網漁業（方言建て網漁業を含む。）
 - ⑬ 固定式刺し網漁業（三枚網、重ね網を含み、内湾を除く。）
 - ⑭ 四そう張り網漁業
 - ⑮ 地びき網漁業
 - ⑯ 小型定置漁業（小笠原に限る）
 - ⑰ 底はえ縄漁業
 - ⑱ 底魚一本釣り漁業
 - ⑲ ひき縄漁業
 - ⑳ まぐろはえ縄漁業
 - ㉑ かつお・まぐろ釣り漁業
 - ㉒ 底立てはえ縄漁業
- （⑱～㉒は総トン数 5 トン以上、小笠原に限る）

(2) 内水面の許可漁業

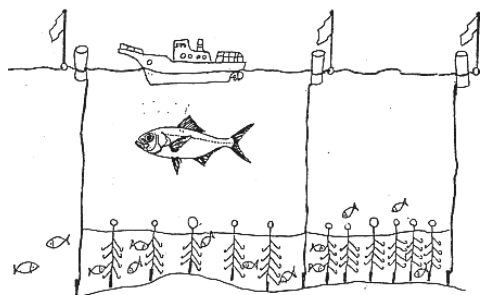
- ① さし網
- ② 建干網
- ③ 四手網（方言あじ網を含む。）
- ④ ふくろ網
- ⑤ 地びき網
- ⑥ あゆ瀬張網



知事許可漁業（棒受け網漁業）



知事許可漁業（とびうお流し刺し網漁業）



知事許可漁業（底立てはえ縄漁業）

§ 5 海区漁業調整委員会の指示

海区漁業調整委員会等は、水産動植物の繁殖保護、漁場の使用に関する紛争の防止又は解決のために必要があると認めるときは、漁業法第 67 条の規定に基づき、関係者に対し、水産動植物の採捕に関する制限等、必要な指示をすることができる。

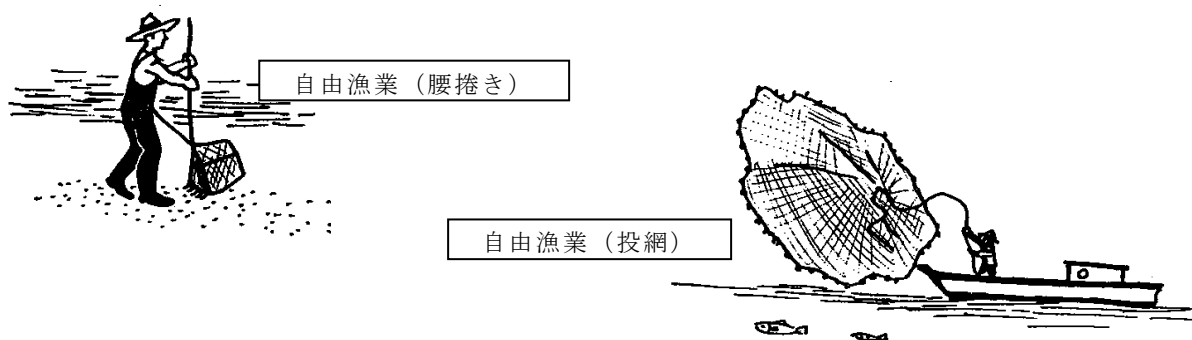
- ①はご釣り漁業 ②うみがめの採捕 ③かにかご漁業 ④浮きはえ縄漁業 ⑤いか釣り漁業
⑥そでいか漁業 ⑦火光利用とびうお漁業 ⑧浮魚礁における漁業の制限（八丈海域）
⑨釣漁法の制限（いきえさの使用禁止） ⑩底魚・かつお及びまぐろの採捕の制限（小笠原）
⑪木更津人工島（通称海ほたる）周辺海域の採捕及び遊漁案内の禁止
⑫遊漁者のひき縄釣による採捕の制限 *②、⑨～⑫は遊漁者にも適用される。

また、広域漁業調整委員会は、広域的な見地から水産動植物の繁殖保護等漁業調整上の必要があると認めるときは、漁業法第 68 条の規定に基づき、関係者に対し必要な指示をすることができる。

太平洋広域漁業調整委員会指示①沿岸くろまぐろ漁業

§ 6 自由漁業

漁業関係法令（漁業法、政令、省令、規則、告示、知事規則、委員会指示、水産資源保護法等）により規制されない漁業で、上記 § 1～§ 5（漁業権漁業及び許可漁業等）に記載されている漁業以外をいう。



§ 7 禁止漁業等

漁業調整規則で禁止されている漁業等

- (1) 都の禁止漁業 ①沖縄式追込網漁業 ②潜水器漁業（小笠原村地先海面に限る。）
(2) 都の禁止漁具・漁法

ア 海面

- ①はぜびき網（方言だぼ網） ②張切網 ③水中銃（発射装置を有する刺突具類であって水中で使用するもの） ④掛なわこぎ（文鎮こぎ及び朝鮮けたを含む。） ⑤ころばし ⑥水中に電流を通じてする漁法 ⑦集魚燈を使用してする漁法（火光利用さば漁業、いか釣り漁業、棒受け網漁業（4月1日～12月31日の期間で銭洲及び大室出しの海域に限る。）及び火光利用とびうお漁業（たも網又は敷網を使用してとびうおを採捕する。）を除く。）

イ 内水面

- ①やな ②張切網 ③なで網 ④押網 ⑤三枚網 ⑥びんど又はこれに類似する漁具
⑦かい堀 ⑧瀬干 ⑨火光を利用する漁具又は漁法 ⑩水中に電流を通じてする漁具又は漁法 ⑪水中銃その他弾力を利用して発射する漁具 ⑫がちゃ網（4月1日～6月30日の期間）

- (3) その他の禁止行為

都の海面及び内水面における有害物の遺棄漏せつの禁止

§ 8 遊漁者等が使用できる漁具及び漁法

下記の漁具及び漁法以外で水産動植物を採捕してはならない。

- ①竿釣及び手釣（まき餌釣を除く。） ②たも網及びさ手網
③投網（船を使用しないものに限る。） ④やす及びは具（貝まきを除く。） ⑤徒手採捕
⑥ひき縄釣（ただし、海区漁業調整委員会の承認を受けた大会に限る。）

また、第五種共同漁業権が免許された内水面（河川）においては、知事が認可した遊漁規則に基づいて、遊漁を行うことができる。

東京都の水産
(令和元年版)

令和 2 年 度
登録番号 ((2) 105)

令和 2 年 9 月 発 行

編集・発行 東京都産業労働局農林水産部水産課
(所在地) 新宿区西新宿 2-8-1
(電 話) 03 (5321) 1111
(内線) 37-421

印 刷 会社名 シンソー印刷株式会社
(所在地) 新宿区西新宿 1-6-8
(電 話) 03 (3950) 7221 (代表)



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。